

子どもが芸術文化に親しむようになるという効果を
把握するための指標に関する調査研究
報 告 書

平成 20 年 3 月

株式会社三菱総合研究所

－ 目 次 －

1. 対象政策の内容・実績の把握・整理.....	1
2. 国内外の評価事例の収集・整理.....	5
3. 対象政策のロジックツリー及び評価指標体系の検討.....	7
4. 評価指標の試行的開発.....	13
5. 類似事業への応用.....	55
6. 「体験型学習」の効果測定マニュアルの作成.....	56

参考. 調査票及び集計表

1. 対象政策の内容・実績の把握・整理

本調査において、「子どもが芸術文化に親しむようになるという効果」を把握する対象の施策・事業は「本物の舞台芸術体験事業」とする。対象政策の目的・目標、関連施策の内容、既に設定されている指標、過年度の実績等について、以下に整理した。

1-1 本物の舞台芸術体験事業の内容

「本物の舞台芸術体験事業（以下、当該事業）」は、子どもたちに本物の舞台芸術に触れる機会を提供して、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的として、文化庁が実施している事業である。開催地の体育館等を用いて、芸術文化団体等による舞台芸術を鑑賞するだけでなく、事前に実演指導やワークショップも実施して、子どもたちが本物の芸術文化をより身近に体験できる機会を提供していることが大きな特徴でもある。

図表Ⅱ－ 1 事業の内容

項目	内容
目的	子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うこと
実施内容	子どもたちが、 1) 優れた舞台芸術を鑑賞し、 2) 芸術文化団体等による実演指導、ワークショップやこれらの団体等との共演に参加し、 本物の舞台芸術に身近に触れる機会を提供する
種目	合唱、オーケストラ、オペラ、邦楽、音楽劇、演劇、歌舞伎、能楽、文楽、洋舞、邦舞
主催者	文化庁、開催地の都道府県・市区町村教育委員会、開催校 必要に応じて、開催地の都道府県知事又は市区町村長を追加可能
開催場所	原則として開催校の体育館
位置づけ	特別活動の中の学校行事又は総合的な学習の時間
参加者	原則として、開催校の児童・生徒、教職員、児童・生徒の保護者
経費負担	文化庁：(予算の範囲内で)公演費、派遣費、プログラム作成費 開催地の主催者：文化庁負担経費以外の必要経費
実施報告	開催校：都道府県教育委員会を通じて、事業実施報告書を文化庁長官に提出 公演団体：公演完了報告書を文化庁に提出

(出典)「本物の舞台芸術体験事業実施要項(平成14年4月1日文化庁長官決定/平成19年4月1日一部改正)」

1-2 当該事業の位置づけとこれまでの評価結果

当該事業は、文部科学省の政策目標 8「文化による心豊かな社会の実現」 - 施策目標 8-1「芸術文化活動の振興」 - 達成目標 8-1-3「子どもの優れた芸術文化に触れる機会の確保」を実現するための具体的な取組として位置づけられている。なお、本調査の対象外であるが、同じ達成目標を実現する取組として、「文化芸術による創造のまち」支援事業、及び、文化体験プログラム支援事業（平成 18 年度で廃止）も位置づけられている。

平成 18 年度の実績評価書において、当該事業は、最上位の「S」ランクに評価をされている。但し、判断基準は開催件数に基づくものであり、今後の課題として「学校からの報告書等の指標化の検討」が挙げられている。

また、平成 20 年度拡充事業としての事前評価においては、目標値として、全ての子どもが優れた芸術文化に触れる機会を義務教育期間中に 2 回提供する（平成 23 年度時点）ことが示されており、当該事業がきっかけとなって、各学校や家庭、地域において、子どもたちの体験機会が継続的に提供されていくことが期待されていることが分かる。さらに、事業アウトカム目標として、「子どもたちの豊かな心や感性、創造性やコミュニケーション能力を育む」が挙げられており、芸術文化への親しみや関心を高めることにとどまらず、豊かな心や感性、創造性、コミュニケーション能力を育むことまで、企図されていることが分かる。

図表Ⅱ－ 2 「文部科学省の使命と政策目標」における位置づけ

政策目標 8 文化による心豊かな社会の実現	
優れた芸術文化の振興を図るとともに、我が国固有の伝統文化を継承・発展させることにより、文化による心豊かな社会を実現する。	
施策目標 8-1 芸術文化活動の振興	
優れた文化芸術への支援、新進芸術家の人材育成、子どもの文化芸術普及活動、地域における文化芸術活動の推進等を通じて、わが国の芸術文化活動水準の向上を図るとともに、国民全体が、芸術文化活動に参加できる環境を整備する。	
達成目標 8-1-3 子どもの優れた芸術文化に触れる機会の確保	
子どものための学校等における芸術文化に触れる機会を提供することによって豊かな心や感性を育むとともに地域文化の活性化に資する。	

図表Ⅱ－ 3 関連する施策・事業

	概要	実施状況
「文化芸術による創造のまち」支援事業	次世代を担う子どもたちが参加する文化活動の活性化を図るため、地域の指導者、芸術団体の育成、発信交流事業に対して支援する。	平成 13 年度より継続 平成 20 年度予算要求
文化体験プログラム支援事業	子どもたちが、地域の特色ある文化を活かした芸術文化、伝統文化及び文化財に触れることのできるプログラムを実施。	平成 18 年度で廃止

（出典）「文部科学省実績評価書-平成 18 年度実績-（平成 19 年 8 月）文部科学省」

図表Ⅱ－４ 平成 18 年度評価結果

項目	内容
判断基準	過去 4 年間（H14-17 年度）の平均開催実績 628 件を基準に S = 690 件以上（基準値 110%以上） A = 628 件以上～690 件未満（基準値 100%以上 110%未満） B = 565 件以上～628 件未満（基準値 90%以上 100%未満） C = 565 件未満（基準値 90%以上）
評価結果	S（平成 18 年度開催実績 866 件）
参考	（事業実施校からの報告の一例） 地域柄、生の演劇に触れる機会が少ない児童にとって、すぐ手が届きそうなほどの近い距離での鑑賞は、役者の生の声や動作に触れられただけでなく、大掛かりな舞台の仕掛けや音楽、照明等を間近に見たり感じたりすることができて、貴重な体験となった。また、劇に引き込まれるにつれて、「楽しい」「おもしろい」などの感情を抑制することなく、素直に表出することができるようになった。
今後の課題	・施策の効果を正確に把握し、施策に反映するため、本物の舞台芸術体験事業については、当該事業だけでなく、地域・学校等が主体的に行っている取組についても把握するよう検討する。 ・同事業を行った学校からの報告書等を指標化することについて検討する。

（出典）「文部科学省実績評価書-平成 18 年度実績-（平成 19 年 8 月）文部科学省」

図表Ⅱ－５ 事業の過年度の実績実績

開催場所	H14 年度	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
公立文化施設（箇所）	146	119	114	114	126
学校（校）	438	406	588	590	740
合計	584	525	702	704	866

（出典）「文部科学省実績評価書-平成 18 年度実績-（平成 19 年 8 月）文部科学省」

図表Ⅱ－６ 平成 20 年度拡充事業としての事前評価結果

項目	内容
目標値	平成 23 年度において全ての子どもたちに、優れた芸術文化に触れる機会を義務教育期間中に 2 回提供する。 当該事業を体験した子どもを対象にアンケートを実施し、事業を通じて芸術文化を身近に感じるようになった子どもの割合を前年度と比べて増加させる。
事業概要	【本物の舞台芸術体験事業】 子どもたちが、オーケストラ、歌舞伎などの本物の舞台芸術に直に触れる機会が少ないことから、学校の総合的な学習の時間などを利用して体育館等において優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供し、感受性豊かな人間の育成を図る。

	<p>【学校への芸術家等派遣事業】 芸術家や伝統芸能の保持者等を学校へ派遣し、講演、実技披露等を行い、子どもたちの芸術への関心を高める。</p>
必要性	<p>「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第二次基本方針）平成 19 年 2 月閣議決定」において、「3.文化芸術の振興に当たって重点的に取り組むべき事項」の一つとして「v)子どもの文化芸術活動の充実」が位置づけられている。「アジア・ゲートウェイ構想」「日本文化産業戦略」（平成 19 年 5 月策定）において、「子どもの創作活動や感受性を育む活動の推進」「小中学校などの学校教育における子どもたちの創造性を育む体験活動の充実」が位置づけられている。</p>
効率性	<p>【事業アウトプット】 本物の舞台芸術体験事業と学校への芸術家等派遣事業あわせて 2126 公演 【事業アウトカム】 子どもたちの豊かな心や感性、創造性やコミュニケーション能力を育む 子どもたちの文化活動参加意欲が向上する</p>
上位目的に対する有効性	<p>子どもたちが学校において芸術文化に触れる機会が提供され、豊かな心や感性を育むことにより、芸術文化の担い手が育成され、よって、芸術文化の振興に資する。</p>

（出典）「文部科学省事業評価書-平成 20 年度新規・拡充事業等-（平成 19 年 8 月）文部科学省」

1-3 当該事業の平成 19 年度の実施状況

当該事業は、平成 19 年度に 1,331 校で実施されている。

図表Ⅱ－7 種目別実績・予定

	学校数
合唱	135
オーケストラ	306
音楽劇	45
児童劇	263
演劇	224
ミュージカル	227
歌舞伎	11
能楽	34
人形浄瑠璃	35
洋舞	25
邦楽・邦舞	26
	1,331

（出典）文化庁資料

2. 国内外の評価事例の収集・整理

当該事業において「子どもが芸術文化に親しむようになるという効果」を把握するためのロジックツリーや指標開発の検討するにあたり、参考となる事例を以下に整理した。

図表Ⅱ－8 類似事例一覧表①

主体	調査名	概要																	
英国・文化・メディア・スポーツ省	Inspiration, Identity, Learning : The Value of Museums (2004,6)	<ul style="list-style-type: none"> ・2003年から2004年にかけて実施された博物館等を活用した12の教育プログラムについての評価が実施されている。 ・評価の範囲として、学校の先生及び生徒の2つが設定されている。 ・以下のアウトカム体系に基づき、先生、生徒に対してアンケートがなされている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>帰着先</th> <th>アウトカム分類</th> <th>評価項目例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">生徒へのアウトカム</td> <td>知識・理解</td> <td>知識の増加等</td> </tr> <tr> <td>スキル</td> <td>他の人との共同作業の対向上等</td> </tr> <tr> <td>取組姿勢・価値観</td> <td>自尊心の向上、他人への尊敬・忍耐等</td> </tr> <tr> <td>楽しさ・インスピレーション・創造性</td> <td>物事を作り上げる満足感等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">先生へのアウトカム</td> <td>活動・行動・進歩</td> <td>クラスや地域行事参加への積極性等</td> </tr> <tr> <td>取組姿勢・価値観</td> <td>取り組みに対する前向きさ等</td> </tr> </tbody> </table>	帰着先	アウトカム分類	評価項目例	生徒へのアウトカム	知識・理解	知識の増加等	スキル	他の人との共同作業の対向上等	取組姿勢・価値観	自尊心の向上、他人への尊敬・忍耐等	楽しさ・インスピレーション・創造性	物事を作り上げる満足感等	先生へのアウトカム	活動・行動・進歩	クラスや地域行事参加への積極性等	取組姿勢・価値観	取り組みに対する前向きさ等
帰着先	アウトカム分類	評価項目例																	
生徒へのアウトカム	知識・理解	知識の増加等																	
	スキル	他の人との共同作業の対向上等																	
	取組姿勢・価値観	自尊心の向上、他人への尊敬・忍耐等																	
	楽しさ・インスピレーション・創造性	物事を作り上げる満足感等																	
先生へのアウトカム	活動・行動・進歩	クラスや地域行事参加への積極性等																	
	取組姿勢・価値観	取り組みに対する前向きさ等																	
米国・スミソニアン機構	Evaluation of the Future Female Scientists Program at the National Museum of the Natural History (2007,5)	「Future Female Scientists Program」に対する政策評価。アウトカム評価の視点としては、「科学博物館におけるキャリア学習」、「女性が科学研究者になるノウハウの習得」、「キャリアについて考えることに対する有用性」、「大学で学習することについて考えることに対する有用性」の4点について、プロジェクトがどの程度寄与したかについて、参加者の主観評価が実施されている。																	
米国・教育省	Arts Education Assessment Framework (1997)	芸術教育の評価に求められる視点や属性等が整理されている。生徒のサンプル、内容の確実性、生徒の反応、ファシリテータの評価、倫理的責任、等。また、生徒の達成レベルを評価する項目として、ダンス、音楽、演劇、ビジュアルアーツの4分野ごとの創造性、パフォーマンス、反応の3つの観点についてやや詳細な項目が示されている。																	
日本・北海道造形教育連盟 / 札幌市造形教育連盟	「楽しさあふれ、確かな表現を実感する造形教育」実践研究のまとめ (2007)	<ul style="list-style-type: none"> ・造形教育の効用を大きく「楽しさの実感」「身につくこと」に分類し、前者を“先生・仲間との関わりを通じた楽しさ”“確かな表現を通じた楽しさ”、後者を“造形的な力(表現、発想/構想、創造、鑑賞)”“人間的な力(自分自身、関わり)”に分類して評価 ・また、アンケートの集計手法として、選択肢制ではなく、子どもの自由回答を分析者が解釈し、上記分類に応じた評価を実施している。 																	
日本・聖徳大学遠藤友麗教授		美術教育の教科性を、大きく「感性・情操、心の教育」、「表現・創造の教育(表現力、ビジュアルコミュニケーション能力、生活造形能力)」、「文化・人間理解の教育」に分類。																	

ロジックツリーや指標開発の検討の直接の参考にはしなかったが、上記の他、下記主体の事例を調査した。

図表Ⅱ－9 類似事例一覧表②

主体		取り組み概要
NPO/NGO	子どもの美術教育をサポートする会	「すべての子どもたちに本物の文化・芸術・伝統に触れる機会をつくりこくことで、豊かな感性と心を育てる」を理念に、平成12年度より、それまで難しいとされてきた学校と美術館・芸術家との連携を、文化ボランティアが双方の意向や要望を調整することで、全国的にも先駆的な連携授業を実現。これまで小・中・養護学校30校、延べ参加生徒数1万7千人に実施。
	芸術家と子どもたち	子どもたちとアーティストが会う場づくりを実施。子どもたちにとっては<潜在的な力を存分に発揮する機会>、アーティストにとっては<子どもたちと関わり、表現を深める機会>になると考え、アートとの幸福な出会いを目的に以下の大きく二つの活動に取り組んでいる。 1) ASIAS* (エイジラス、Artist's Studio In A School の略): アーティストが小学校へ出かけていって、先生と協力しながらワークショップ型の授業を実施する活動。 2) ACTION! : 「にしすがも創造舎」を拠点にした地域住民参加型の活動。アートを通して、普段は会える機会のない人たちが、出会い、交流する場を創ることを目指している。
	子ども NPO 子ども劇場全国センター	芸術作品の招聘&フェスティバルの開催: 子どものための優れた舞台作品を国内外から企画し、全国の子どもたちに提供。また、“子ども文化交流フェスティバル(主催: 子どもの未来を考える議員連盟、特定非営利活動法人子ども劇場全国センター、独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター)”“キッズ&アーツ”などを企画。
企業	NEC(日本電気株式会社)NECアート教育プログラム	NPO 法人芸術家と子どもたちや(社)日本オーケストラ連盟とのパートナーシップにより、アート(音楽・美術・舞台芸術など)がもつさまざまな可能性を最大限に活用して子どもたちの創造力を引き出し、表現力・コミュニケーション能力を養うことを目標に活動を実施。
	TOA 株式会社	社会貢献・メセナ活動の一環として、小中学生を対象に2005年度より展開する、音楽を主とした体験型のプログラムで、音楽を自由に聴き、感じ、体で表現する体験を通じ、子どもたちの感性を刺激し、創造力を高めて新たな価値観を得る機会の提供を目的としている。芸術家によるワークショップ形式の授業は、一般的には少人数、長時間で行うことが主となっている。

3. 対象政策のロジックツリー及び評価指標体系の検討

対象政策の効果を的確に捉えるために、当該事業に関するロジックツリーを構築した上で、ロジックに従って評価指標の体系の検討を行った。

3-1 ロジックツリーの検討

(1) ロジックツリー作成の必要性

「本物の舞台芸術体験事業」の効果については、人間の内面に係るものや、また効果の発現に長期間を要するものなどが主となるため、それらの効果測定に関しては、例えば物理的なインフラ整備事業のような定量的な評価の実施は困難である。「本物の舞台芸術体験事業」実施の最上位目標の定量指標を直接定義し、“定量的に”把握することができれば最も好ましいが、現実的には、その評価は“質的に”行なわざるを得ない。

また、「本物の舞台芸術体験事業」により期待される効果は、「本物の舞台芸術体験事業」を契機として、その後様々な外的環境や周囲の人たちとの関わりの中で、多様な価値（アウトカム）の相互作用・複合化を通じて達成される点にも留意が必要である。

以上より、「本物の舞台芸術体験事業」の“質的な”評価においては、事業が目指す最上位目標と、その最上位目標達成に至る効果波及過程の把握が必須となる。事業の最上位目標達成の過程で、事業に関係する様々な主体に帰着する価値（アウトカム）を、一つずつ位置付けて評価する方が、評価結果、ひいては事業の意義に対する理解度が高くなる。

この認識に基づき、本検討では、まず、事業の最上位目標達成の過程で、中間的に発現する価値（アウトカム）の構造化・可視化を行い、その上で、それら価値（アウトカム）を適切に評価できる指標を検討する。

(2) ロジックツリーの作成

事業の実施手段（アウトプット）を「ワークショップの実施」と「本公演の開催」、事業の最上位目標は「子どものための学校等における芸術文化に触れる機会を提供することによって“豊かな心”や“感性”を育むとともに“地域文化の活性化”に資する」とし、実施手段と最上位目標とを繋ぐ過程をロジックツリーとして表現した。但し、ここで、多少曖昧な表現である“豊かな心”については、「創造性」「コミュニケーション能力」とし、また効果の捕捉が困難と考えられる“地域文化の活性化”については、文部科学省と協議の上、今回の検討の範囲外とすることとした。

以上の前提の下、子どもの「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」が高まるまでのステップを、以下のように、大きく「意識レベル」と「行動レベル」の2段階、さらに、～の4段階に分類した。

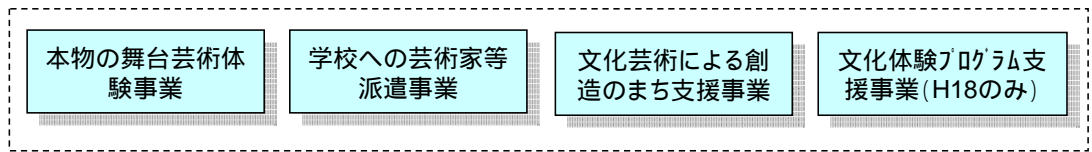
<意識レベル> 芸術文化に触れる機会の増加
芸術文化に対する関心の向上

<行動レベル> 「自分のアイデアを表現し、他人とコミュニケーションしたい」という欲求の増進
「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮

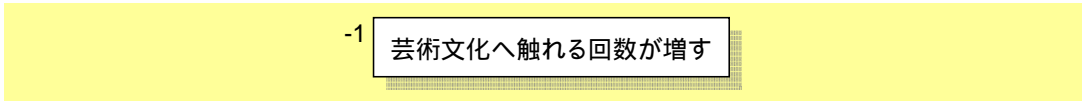
上記4分類に基づいて、前掲の過去の類似評価事例も参考に、子どもの創造性等が高まるロジックツリーの一次案を以下のように検討した。

図表Ⅱ－10 ロジックツリー（一次案）

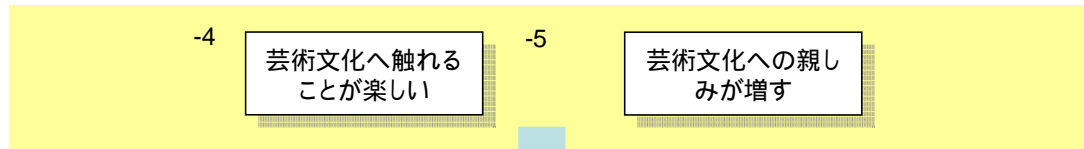
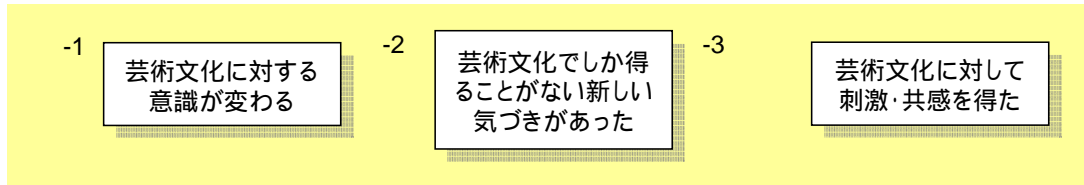
対象施策の実現手段



芸術文化に触れる機会の増加



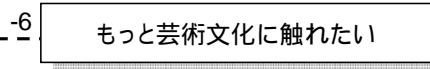
芸術文化に対する関心の向上



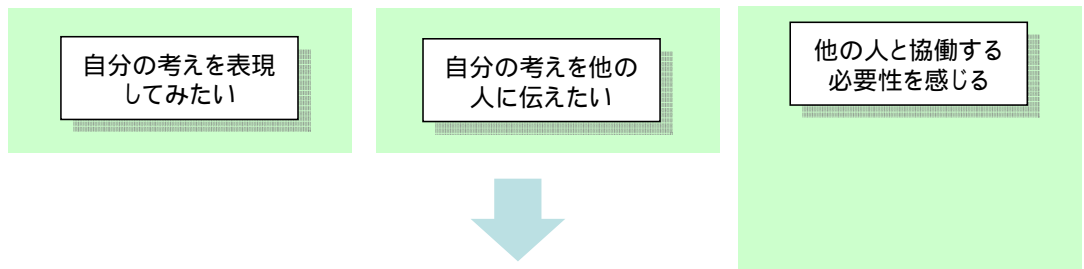
意識レベル



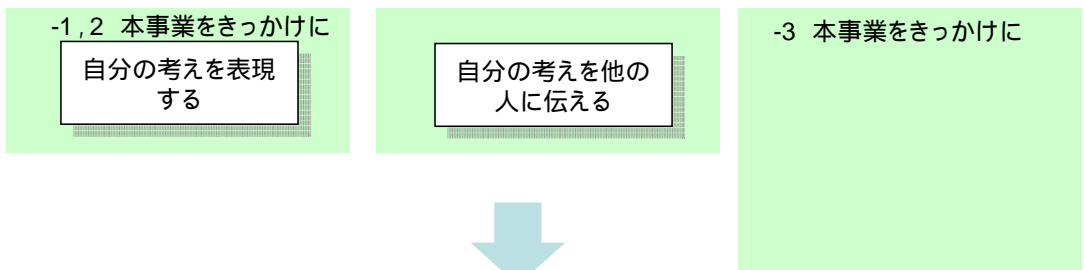
行動レベル



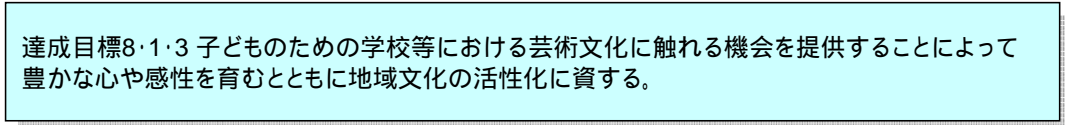
自己表現と他者との関わりに対する欲求



「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮



(スキルの習得が必要)



3-2 評価指標体系及び開発手法の検討

(1) 評価指標体系

ロジックツリーの各プロセスの実現状況を示す指標を以下のように検討した。カッコ内の丸数字は前述のロジックツリーとの対応を示す。

図表Ⅱ－11 評価指標体系表

ロジックにおける位置づけ	指標	
事業の実施(アウトプット)に関する指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該事業を実施した学校数(ワークショップ、本公演) ・ 当該事業に参加した児童生徒数(ワークショップ、本公演) 	
プロセス(芸術文化に触れる機会の増加)に関する指標	文部科学省の事業自体に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該事業対象に選定されるまで同様の取り組みが無かった学校の割合(-1) ・ 1年の間に芸術文化を体験した児童生徒数のうち、当該事業だけで体験した割合(-1)
	子どもの日常の行動面からの評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該事業を体験したことにより、その後、芸術文化に触れる機会が増えた児童生徒の割合(-1)
プロセス(芸術文化に対する関心の向上)に関する指標	文部科学省の事業自体に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップで聞いたことが理解できた児童生徒の割合(-1) ・ 同様の事業を再度受けたいと感じた児童生徒の割合(-2) ・ 当該事業でいつもの授業とは異なる発見や楽しさを発見した児童生徒の割合(-3) ・ 当該事業を楽しかったと感じた児童生徒の割合(-4,5)
	子どもの日常の行動面からの評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該事業を通じて芸術文化への興味が高まった児童生徒の割合(-6) ・ (興味の高まりの程度：芸術文化の楽しみ方[受動的か、能動的か]を聞くことを通じて捕捉)(-6) ・ 当該事業を通じて、芸術文化についてこれから習ったり身につけたいと思うものができたと考える児童生徒の割合(-6)
プロセス(自己表現と他者との関わりに対する欲求・行動)に関する指標	子どもの日常の行動面からの評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該事業を経験して、頭の中で考えていることを、作品などの創作を通じて、他の人に表現したいと思うようになった児童生徒の割合(-1) ・ 当該事業を経験して、頭の中で考えていることを、(表現するだけではなく、)他の人に見てもらったり聞いてもらったりしたいと思うようになった児童生徒の割合(-2) ・ 当該事業を経験して、自分も、他の人と一緒になって、なにか作品を作り上げたいと思うようになった児童生徒の割合(-3) ・ 当該事業を経験したあと、芸術文化に関して、自分から進んで習ったり学んだりし始めたことのある児童生徒の割合(-1,2) ・ 当該事業を経験したあと、家や学校で、友達や先生とよくコミュニケーションをとるようになった児童生徒の割合(-3)
プロセス(「創	子どもの日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該事業を経験したあと、学校や家庭で、自分の考えて

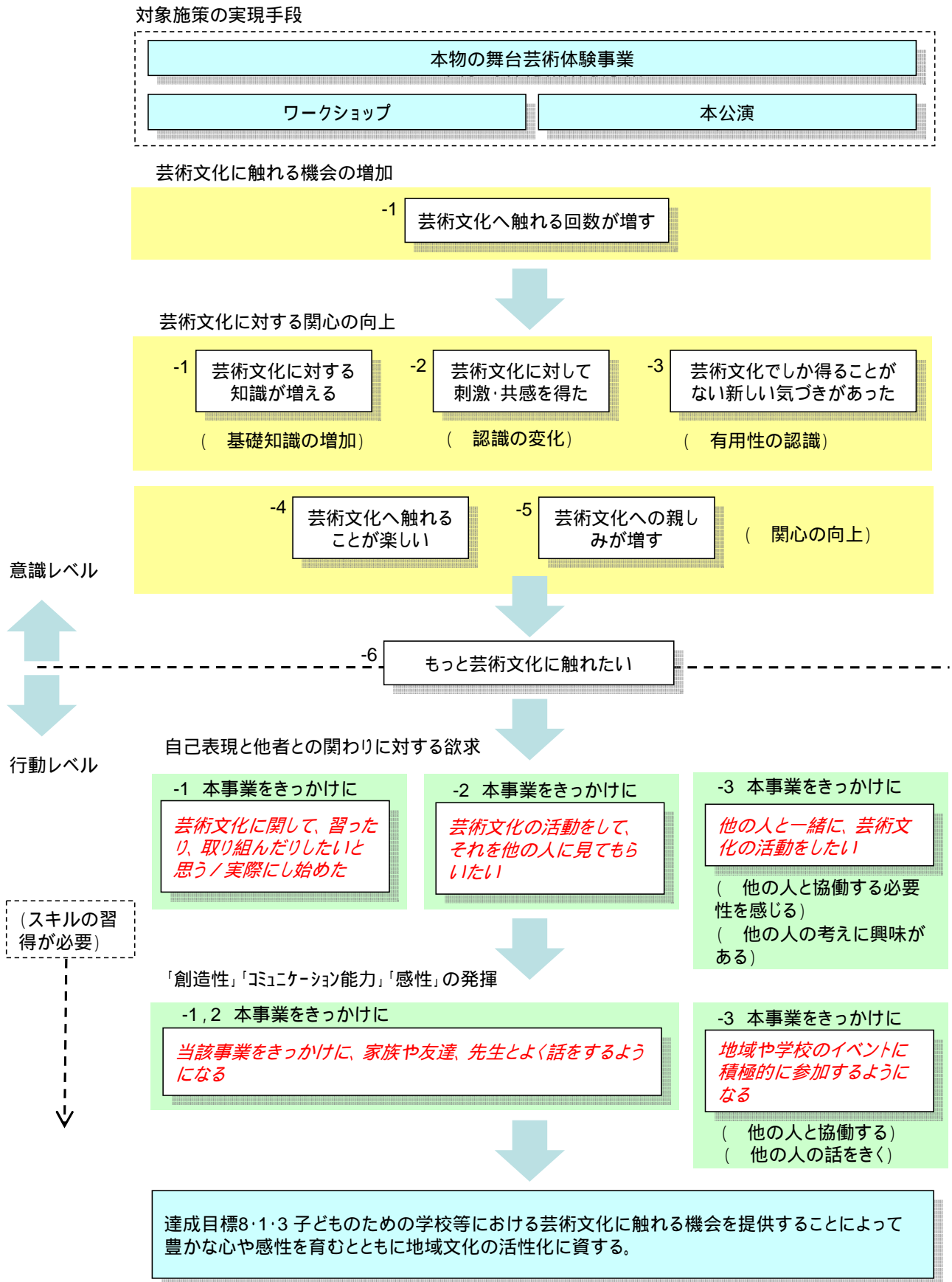
ロジックにおける位置づけ	指標	
造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮)に関する指標	常の行動面からの評価	<p>いることを自分から進んで話すようになった児童生徒の割合(-1, 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該事業を経験したあと、家の近所や学校でのイベント(お祭りや運動会など)に、自分から進んで参加するようになった児童生徒の割合(-3) ・ 当該事業を経験したあと、学校や家庭で、他の人の考えや意見をじっくりと聴くようになった児童生徒の割合(-3)

なお、4章以降に示す、上記評価指標体系に基づいたアンケート調査票の設計の中で、文部科学省、文化庁の当該事業関連部署と協議を実施した結果、次ページのようにロジックツリーを改訂した。改訂箇所を斜字で示している。改訂した理由としては、

- ・ 当該効果(アウトカム)指標値観測が困難(すなわち質問への回答が困難)
- ・ もしくは、観測できたとしても他の外部要因による影響が著しく大きく、当該事業による効果部分が判別できない

と考えられるため、プロセス、に関わるものが多い。これらについては、例えば「(生活全般について)自分の考えを表現してみたい(と思うようになる)」というアウトカムではなく、「芸術文化に関して、習ったり取り組んだりしてみたい/実際にし始めた」とするなど、アウトカムのスコープを絞り込み、指標として観測が可能な(アンケートの質問として答えられる)ものとした。

図表Ⅱ－12 ロジックツリー（確定）



斜字箇所は一次案からの改訂箇所

(2) 指標の開発手法

各指標のデータを把握するにあたっては、アンケート調査が必要なものがほとんどである。アンケート調査を実施する際には、以下のような手法が選択肢として考えられる。

①想定される設問の形式

当該事業による効果(変化)を推定するためには、以下のような設問の形式が想定される。

事業効果限定設問

アンケート調査で「芸術文化の体験によって親しみが増したか」など、「当該事業の効果」に限定した設問とする。

事前事後比較(with/without 比較1)

芸術文化体験の前後に、アンケート調査で、芸術文化に対する親しみや関心度を問う同じ設問を設定し比較する。

事後対統制群比較(with/without 比較2)

芸術文化への親しみや関心度が同水準の2つの学校(あるいは学級)で、芸術文化体験を実施した学校と実施しない学校を対象に、アンケート調査で、芸術文化に対する親しみや関心度を問う同じ設問を設定し比較する。

②想定される調査対象

多くの指標は、子ども自身の意識や行動に関するものであり、それらの変化を推定するためには、調査対象として以下が想定される。

児童生徒本人

児童生徒本人の自己認識によって意識や行動の変化(効果)を計測する。

保護者

児童生徒の主として家庭生活での意識や行動の変化(効果)を保護者の視点で計測する。

教職員

児童生徒の主として学校生活での意識や行動の変化(効果)を教職員の視点で計測する。

4. 評価指標の試行的開発

3章において検討した評価指標体系の一部の指標について、実際にアンケート調査を用いて試行的に開発した。

4-1 対象とする評価指標

以下の2つの方針に基づいて、試行的開発の対象とする評価指標を選定した。

< 選定の方針 >

学校単位のデータや定性的なデータ（教職員や児童生徒の感想等）は既に収集実績があることから、児童生徒一人ひとりの単位で効果を計測する指標を対象とする。
当該事業のアウトカム目標として設定されている「豊かな心や感性、創造性やコミュニケーション能力を育むこと」については、年に1～2回の体験では明確な成果を期待できないが、子どもの成長プロセスのどの辺りまでどの程度の効果を計測可能か検証するために、子ども成長プロセス全般を計測する指標を対象とする。

< 対象とする指標 >

当該事業に参加した児童生徒の、事業後の

- ・芸術文化に触れる機会の変化
- ・芸術文化に対する関心の変化
- ・自己表現やコミュニケーションに関する欲求・行動の変化
- ・「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮状況の変化 等

4-2 アンケート調査の実施方法

4-1で選定した評価指標を試行的に開発するために、以下の方法に基づいて、アンケート調査を実施した。

(1) 実施方針

児童生徒の変化を本人、保護者及び教職員の目で評価することとした。また、事業の実施前・後の2回の比較調査の場合、回答者の負担が大きいことから、既に事業を終えた学校に対する事後アンケート調査を実施する。但し、「芸術文化体験の前と比べて、～ですか?」というような設問によって、事後アンケート調査のみで、事前・事後の変化を把握できるよう工夫する。

さらに、事後対統制群比較設問（同一の設問で、芸術文化体験を行った学校と行わなかった学校で比較）は、適切なサンプルの抽出が困難であるため、実施しないこととした。

(2) 調査対象とサンプリング

①児童生徒

児童生徒のサンプル数は、通常信頼度・誤差率及び90%以上の回収率を前提に400人程度とした（後述の（参考）を参照）。その際、都市部と地方部、小学生と中学生での効果の発現状況を比較するために、児童生徒400人のサンプルは、4つのカテゴリー（都市部・地方部×小学生・中学生）で同数（100人）程度ずつ確保した（本調査での都市部と地方部の定

義は後述の（参考）を参照）。

また、学校ごとに、児童生徒の参加人数が異なるため、4つのカテゴリーごとに学校を4校ずつ無作為抽出し、原則として各学校1学級ずつの児童生徒を調査対象とすることとした。

さらに、学年については、卒業を控える時期であることなどを踏まえて、原則として、小学5年生及び中学2年生を対象とするが、当該事業において、舞台鑑賞の前に開催されるワークショップの効果も設問に含めることから、同ワークショップに参加した学年を優先した。

以上に加えて、本物の舞台芸術体験事業に関する児童生徒の記憶と効果発現の状況を考慮して、平成19年11月下旬～平成20年1月下旬までに、鑑賞機会のあった学校（348校）の中から調査対象を抽出した。

（参考）

子どもが芸術文化に触れる機会を確保した学校の数（文化庁）

H14・438校、H15・406校、H16・588校、H17・590校、H18・740校、H19・1,331校

サンプル調査結果の有意性（児童生徒）

母集団（事業参加人数）の正確な数値が不明のため、仮に5000人とする、信頼度95%で、誤差率（回答率50%の場合）を5%以内するために必要なサンプル数は357人

都市部・地方部の定義と対象市町村

<都市部>

都道府県別に見た人口当たり公演開催件数が高い東京都、愛知県、大阪府、福岡県の都心区域（23区、名古屋市、大阪市、福岡市）と、その外側の第一層、第二層に位置する市町村を都市部とする。第一層とは都心区域に直接隣接する市町村で、第二層とは第一層に直接隣接する市町村のことを指す。（ぴあ総研「エンタテインメント白書2006」の2005年度のデータ。）

<地方部>

都市部以外の市町村。

②保護者

上記で抽出した児童生徒の保護者1名ずつとした。

③学校の教職員

上記で調査対象となった学校の以下の教職員を対象とした。

- (1)調査対象の児童生徒の担任の教員（必須）
- (2)調査対象の児童生徒に音楽や図画工作、美術を教えている教員
- (3)上記(1)(2)以外で、事業に参加した教職員（任意）

④学校

上記で調査対象となった学校に対しても類似事業の実施状況等を問うこととした。

(3) 手順

以下の手順でアンケート調査を実施した

- 文部科学省・文化庁より、調査対象校の設置者（市区町村教委）及び調査対象校に連絡・依頼
- 三菱総研より学校に調査票（４種類）をまとめて送付
- 三菱総研より電話にて学校に依頼・説明
- 調査対象の学校を通じて調査票を児童生徒に配布・回収
- 保護者には学校から児童生徒を通じて配布・回収
- 教職員には学校を通じて調査票を配布・回収
- 学校より三菱総研に回答票をまとめて送付

4-3 調査項目

調査項目については、選定した評価指標のデータを把握できるよう、以下のような設問構成とした。但し、調査票における順番は回答のし易さなどを考慮の上、下表とは異なる順番とした。詳細は、本報告書の参考資料に添付した調査票を参照のこと。

図表Ⅱ－13 設問項目一覧

子どもの成長プロセス	設問	調査対象			
		児童生徒	保護者	教職員	
芸術文化に触れる機会の増加	日常の行動面からの評価	事業を体験する前、授業以外で、文化・芸術を見たり聞いたりしていましたか。			-
		<見たり聞いたりした方に>どのような分野の文化・芸術でしたか。			-
		事業を体験したあと、文化・芸術を見たり聞いたりすることが増えましたか。			-
		<見たり聞いたりすることが増えた方に>どのような分野の文化・芸術が増えましたか。		-	-
		<見たり聞いたりすることが増えた方に>何を通じて見たり聞いたりすることが増えましたか。			-
芸術文化に対する関心の向上	事業自体に対する評価	事業は楽しかったですか。			
		事業は、いつもの授業とは異なる発見や楽しさがありましたか。		-	
		ワークショップで聞いたことは、どの程度理解できましたか。		-	
		ワークショップがあったことで、その後の鑑賞が楽しみになりましたか。		-	
		また同じような授業を受けたいですか。		-	
		また同じような授業を受けさせたいですか。	-	-	
	日常の行動面からの評価	事業を体験したあと、音楽や図画工作、美術などの授業に対する興味が高まりましたか。			
事業を体験したあと、日本の伝統、文化や歴史に対する興味が高まりましたか。					
<高まった方に>どのようなことをするようになりましたか。				-	

子どもの成長プロセス	設問	調査対象			
		児童生徒	保護者	教職員	
		事業を体験して、文化・芸術に関して、習ったり取り組んだりしようと思うようになったものがありますか。		-	-
		<ある方に>それはどのような文化・芸術ですか。		-	-
「自分のアイデアを表現し、他人とコミュニケーションしたい」という意欲の増進	日常の行動面からの評価	事業についてどれぐらい話をしましたか。			-
		事業を体験して、自分も、文化・芸術活動を他の人に見てもらいたいと思うようになりましたか。		-	-
		事業を体験して、自分も、他の人と一緒に協力し合って、文化・芸術活動をしたいと思うようになりましたか。		-	-
		事業を体験して、実際に、自分から進んで習ったり取り組んだりしたことがありますか。			-
		<ある方に>それはどのような分野の文化・芸術ですか。			-
		<ある方に>それはどこで習ったり取り組んだりしていますか。			-
「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮	日常の行動面からの評価	事業を体験したあと、家の近所や学校でのイベント（お祭りや運動会など）に、自分から進んで参加するようになりましたか。			
		事業を体験したことで、自分の考えていることを自分から進んで話すようになりましたか。	-		
		事業を体験したことで、他の人の考えや意見を良く聞くようになりましたか。	-		
		豊かな心や感性、創造性を育てるきっかけになると思えますか。	-		
	自由回答				

4-4 調査結果

(1) 回収結果

前述の方法によって抽出した調査対象 16 校全てから回答を得られた。その回収結果は以下の通りとなった。

図表Ⅱ－14 回収結果一覧表

		児童・生徒（人）		保護者（人）		教職員（人）		学校（校）
校種	小学校	226	48.4%	192	52.7%	97	50.0%	8
	中学校	241	51.6%	172	47.3%	97	50.0%	8
地域	都市部	240	51.4%	182	50.0%	101	52.1%	8
	地方部	227	48.6%	182	50.0%	93	47.9%	8
合計		467	100%	364	100%	194	100%	16

(2) 集計結果

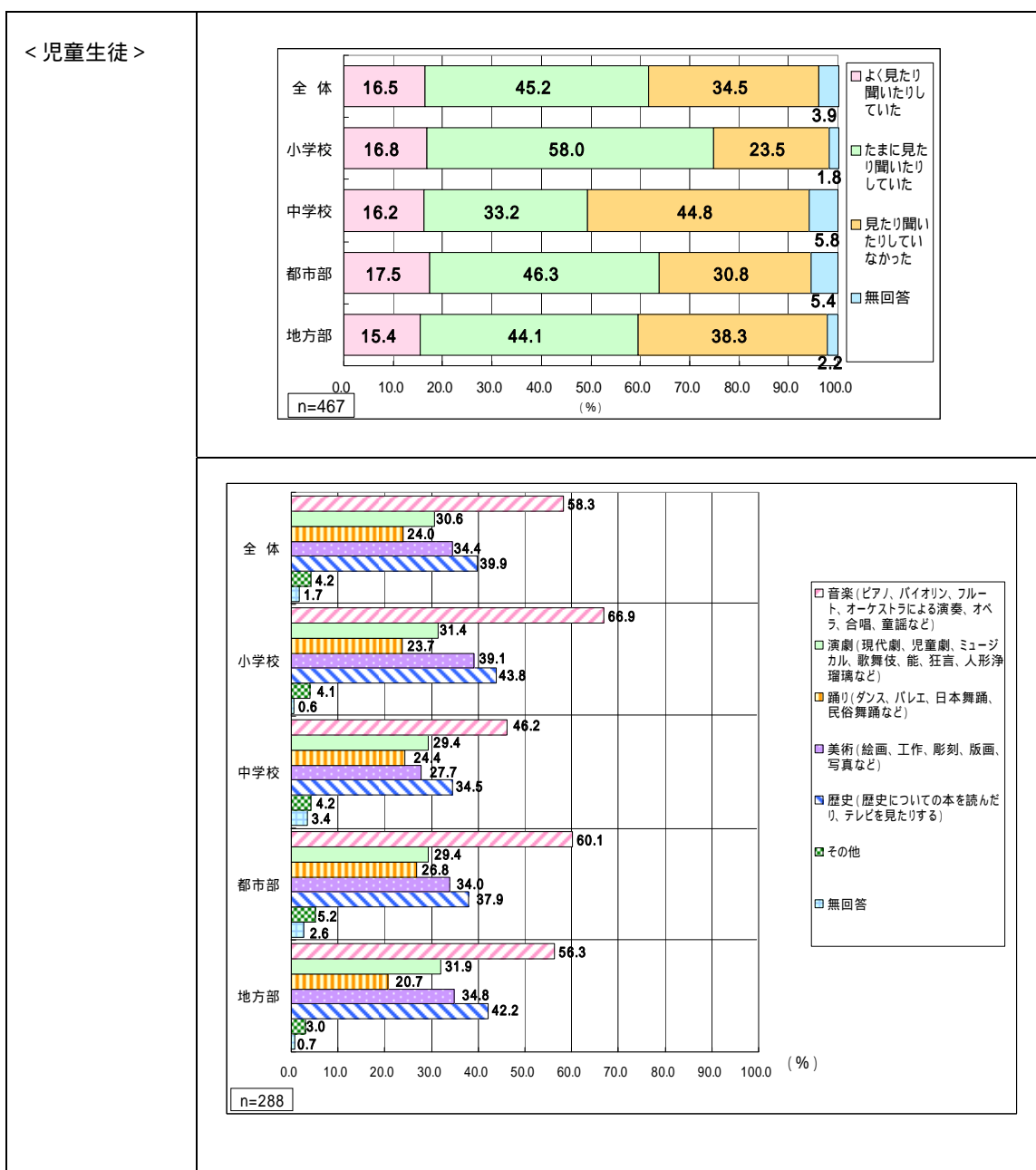
回答の集計結果について以下の通り整理した。

①芸術文化に触れる機会の増加

事業を体験する前の段階で、児童生徒の61.7%が「文化・芸術を見たり聞いたりしていた（「よく」と「たまに」の合計）」と回答しており、保護者から見ると51.1%であった。学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、都市部の方が若干高かった。

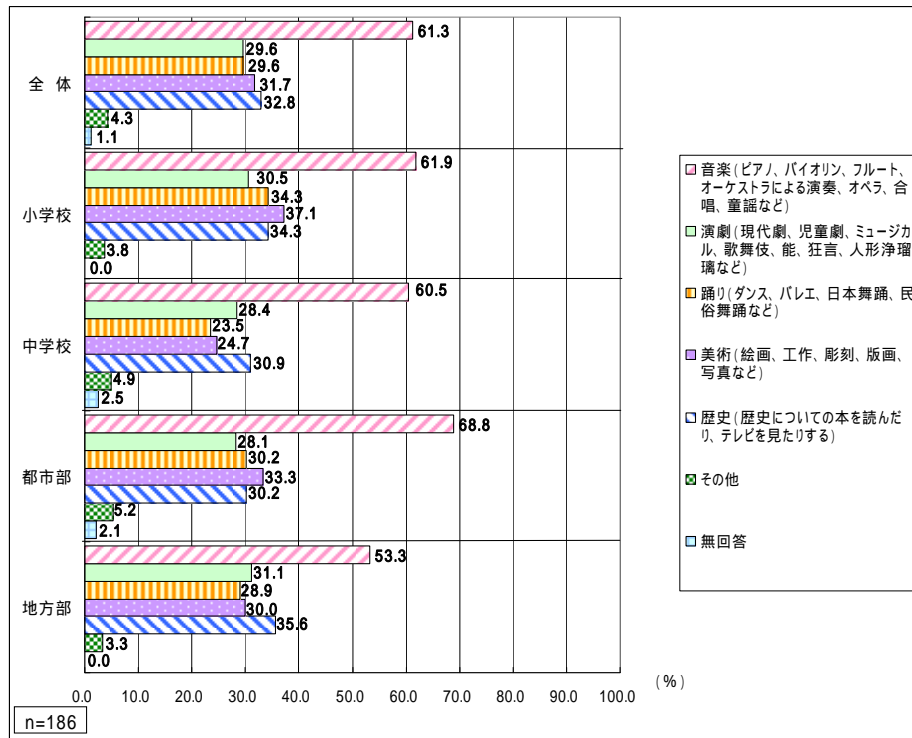
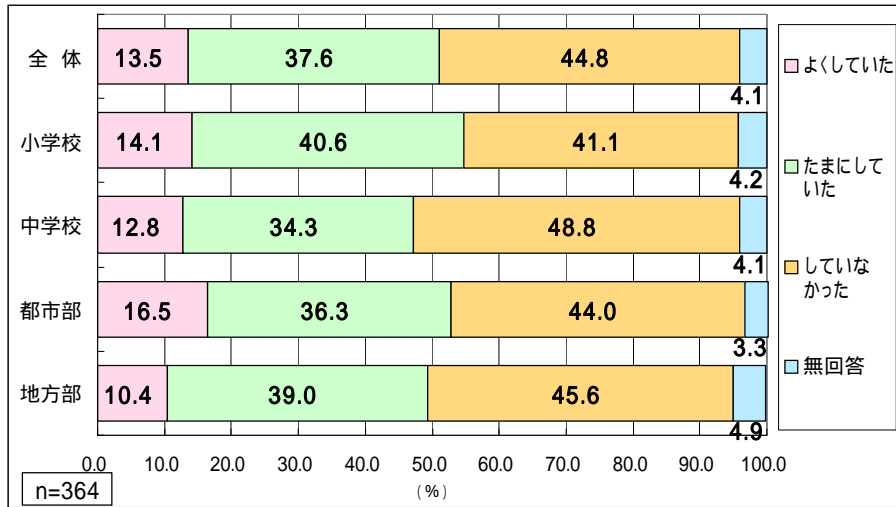
また、見たり聞いたりしていた文化・芸術の内容としては、音楽が58.3%で最も多く、以下、歴史が39.9%、美術が34.4%、演劇が30.6%、踊りが24.0%の順となっている。

図表Ⅱ－15 事業体験前の文化・芸術に触れる機会（児童生徒）



図表Ⅱ－16 事業体験前の文化・芸術に触れる機会（保護者）

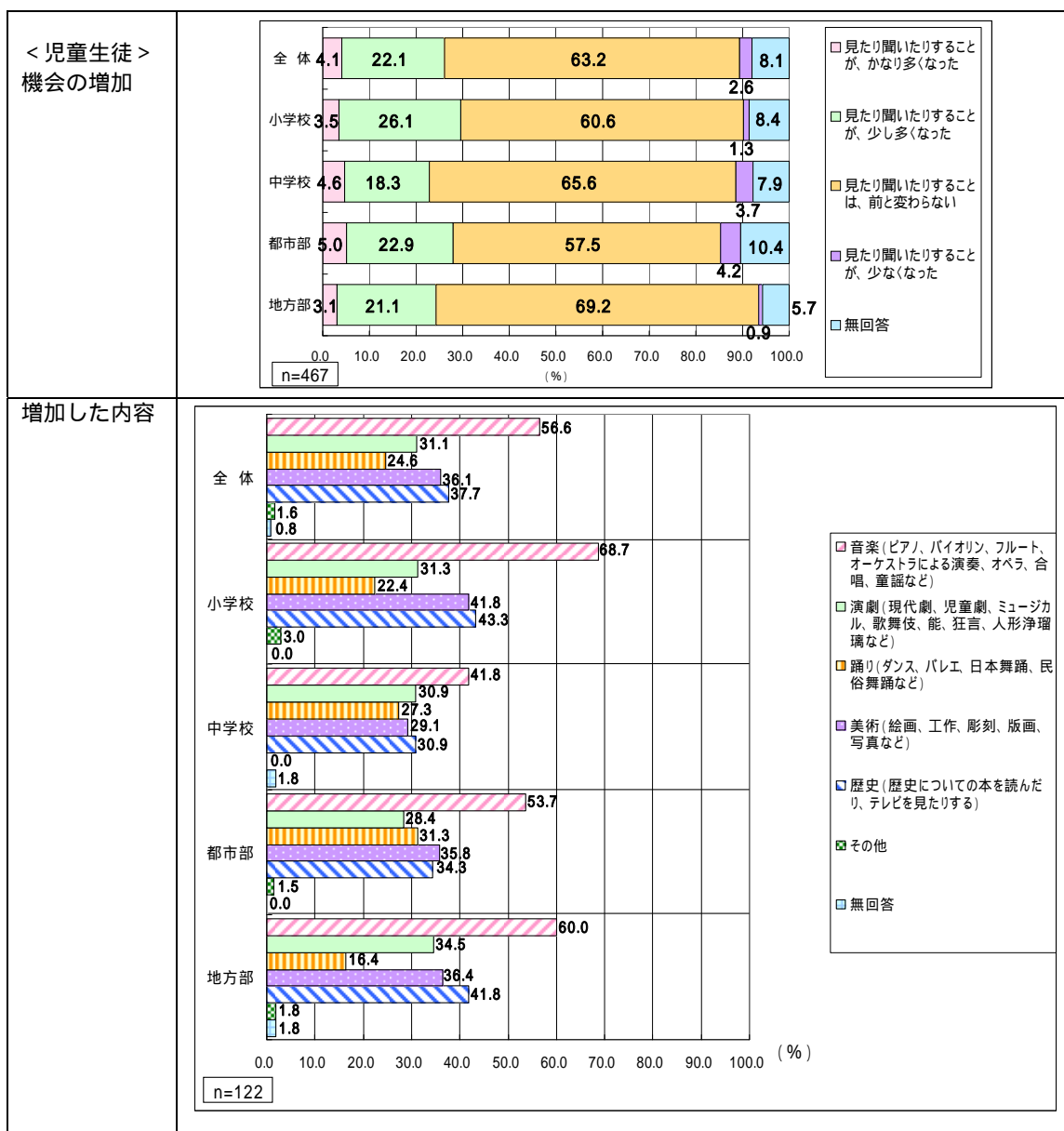
<保護者>

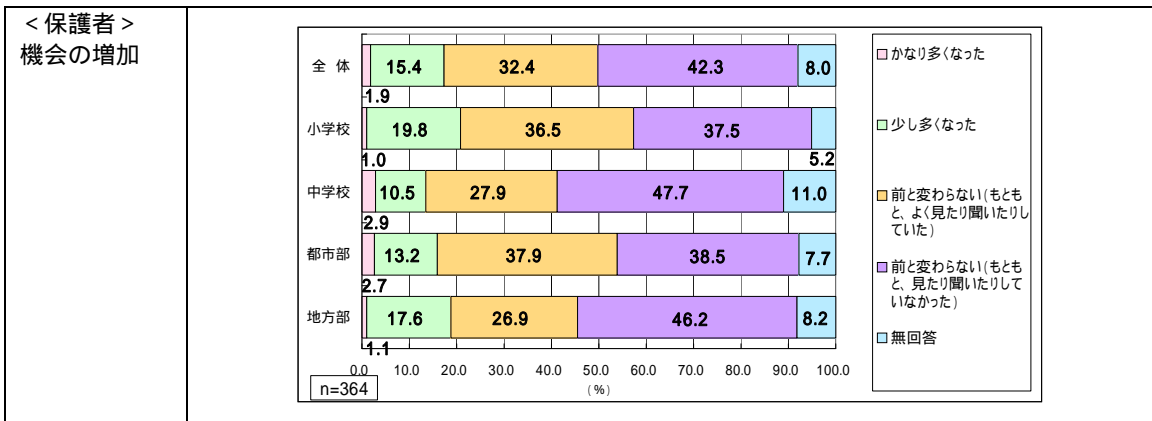


一方、事業を体験した後の段階で、文化・芸術に触れる機会が増えた児童生徒の割合（「かなり多くなった」と「少し多くなった」の合計）は26.2%であり、保護者から見ると17.3%であった。但し、そのほとんどは「少し多くなった」が占めている（児童生徒22.1%、保護者15.4%）。学校種で比較すると、小学校の方が高く、地域で比較すると、都市部の方が若干高い。

また、その内容は、音楽が56.6%で最も多く、以下、歴史が37.7%、美術が36.1%、演劇が31.1%、踊りが24.6%の順となっており、当該事業を体験する前の段階と同じ順番となっている。

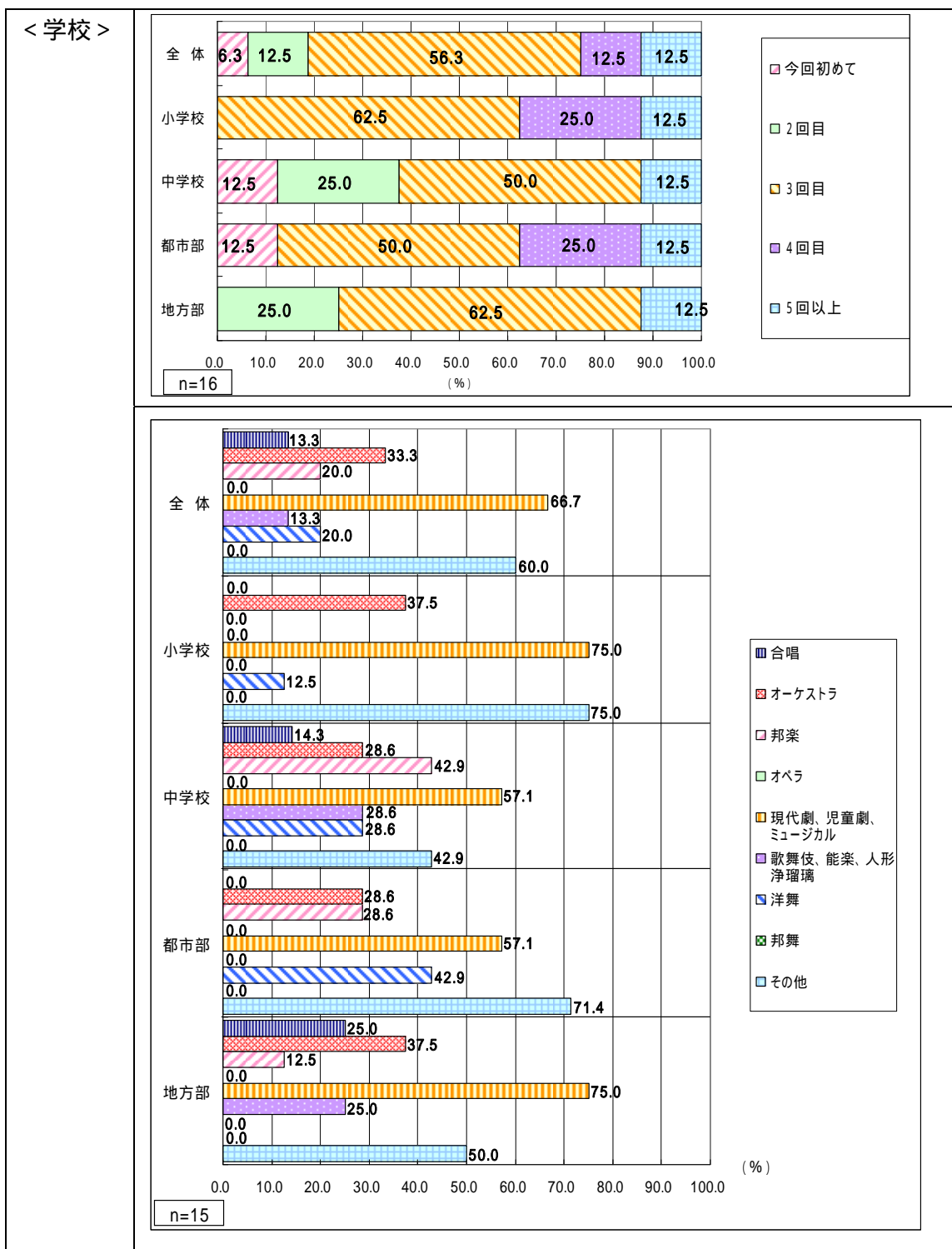
図表Ⅱ－17 事業体験後の文化・芸術に触れる機会の増加（児童生徒）





回答のあった学校 16 校のうち、15 校は過去 3 カ年に同様の取組を行っており、本事業で初めて実施した学校の割合は 6.3% (1 校) と非常に低い。一方、過去 3 カ年に同様の取り組みを行った内容としては、現代劇・児童劇・ミュージカル、その他、オーケストラなどが多い。

図表Ⅱ－18 過去3年間における同様の取組の実施状況（学校）



②芸術文化に対する関心の向上

■当該事業に対する評価

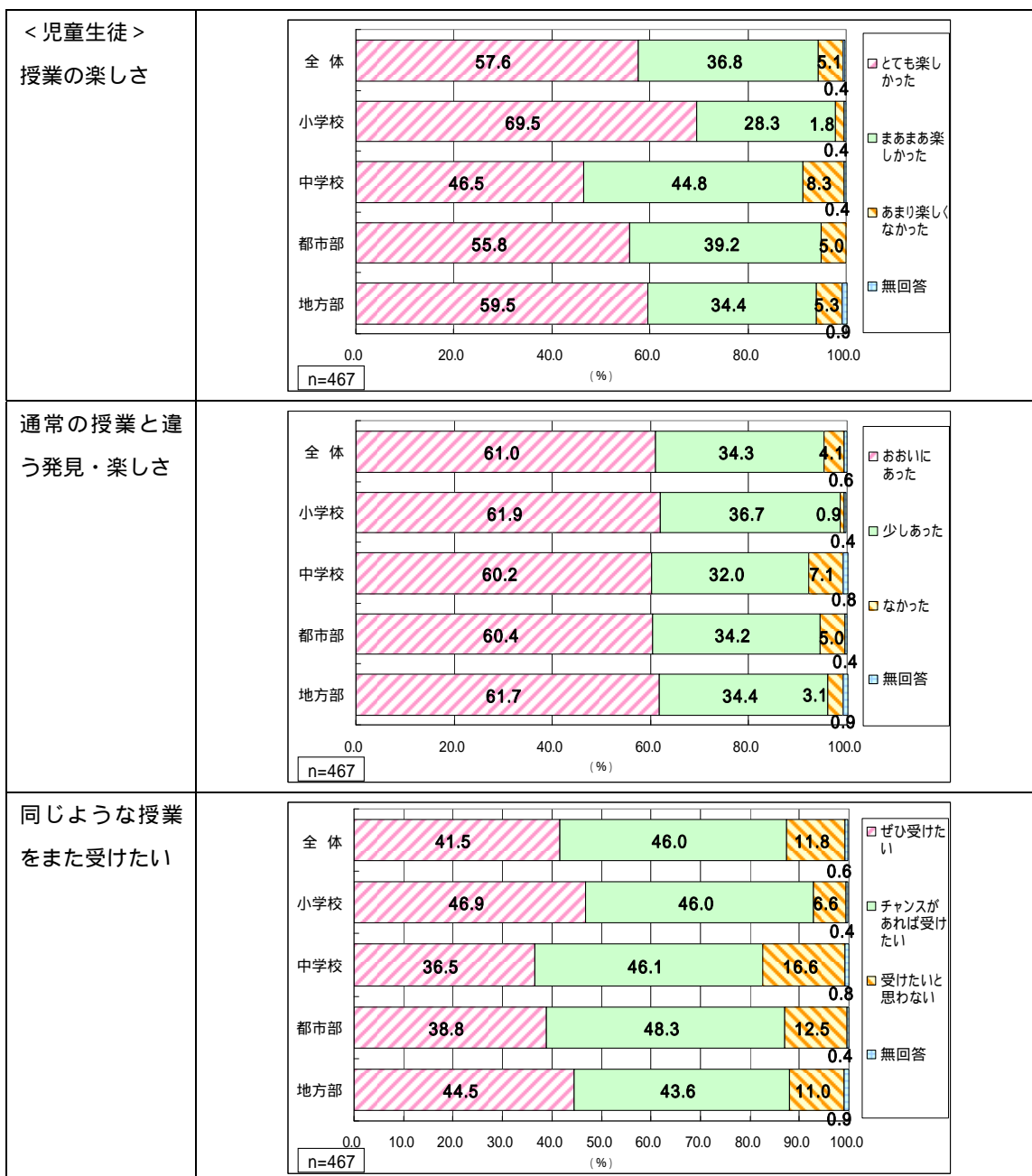
事業が楽しかったと回答した児童生徒の割合（「とても」と「まあまあ」の合計）は94.4%であり、保護者から見ると71.9%であった。そのうち「とても」の割合は、児童生徒が57.6%、保護者が26.6%であり、いずれもかなり高い割合となっているとともに、保護者が感じる以上に児童生徒が楽しさを感じている。また、教職員から見ると、大半の児童生徒が興味を示した割合は77.3%であった。学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、

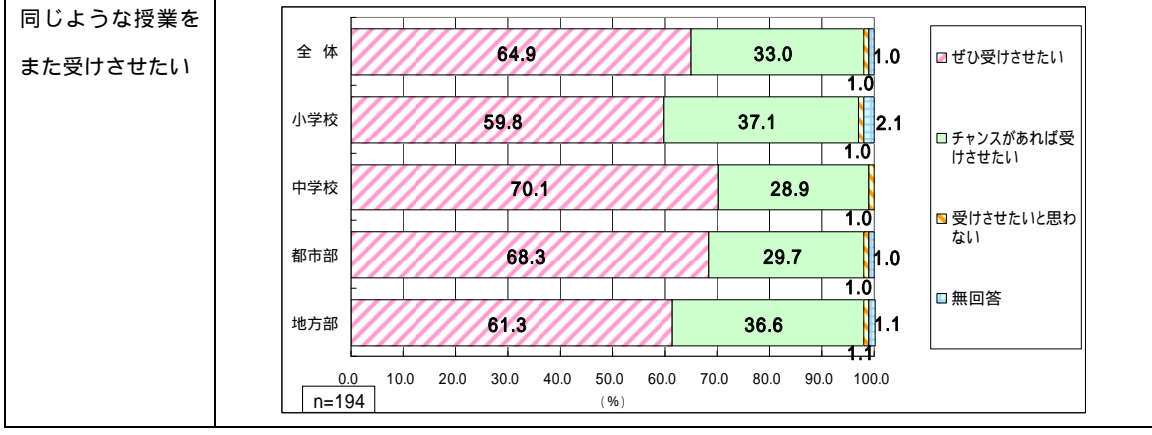
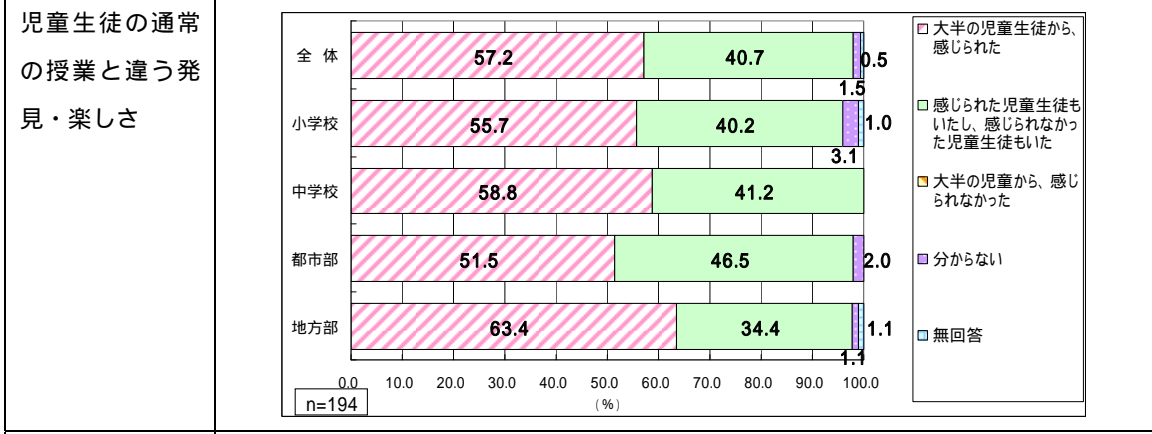
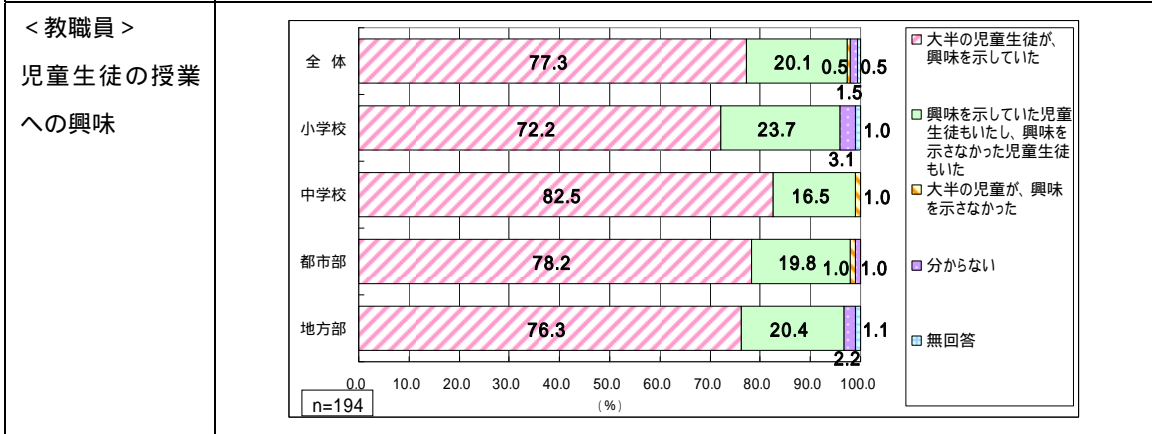
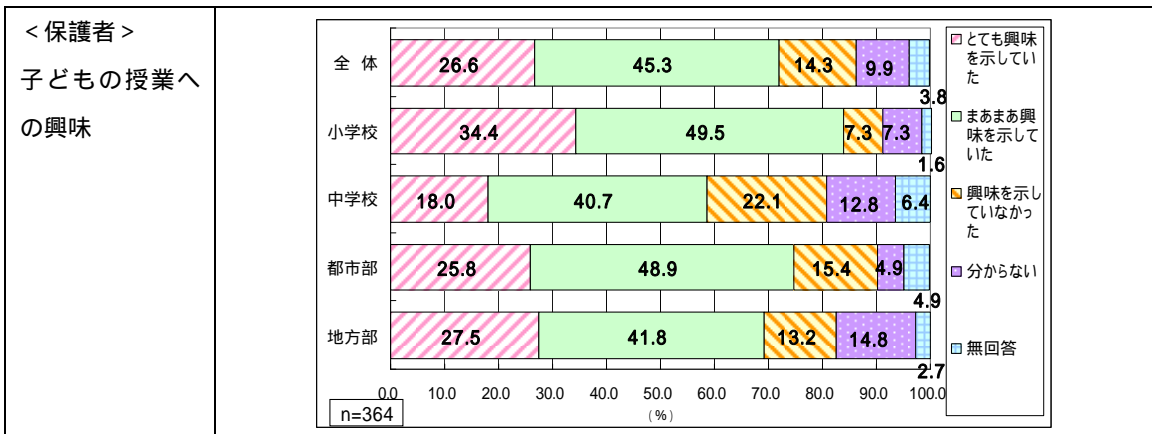
ほぼ同程度であった。

また、いつもの授業と異なる発見や楽しさがあったとする児童生徒の割合（「おおいにあった」と「少しあった」の合計）は95.3%であり、そのうち「おおいにあった」が61.0%を占め、高い比率となっている。また、教職員から見ると、大半の児童生徒から感じられた割合は57.2%であった。学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、ほぼ同程度であった。

さらに、同じような授業をまた受けたいと回答した児童生徒の割合（「ぜひ」と「チャンスがあれば」の合計）は87.5%であり、受けさせたいと回答した教職員の割合は97.9%であった。そのうち「ぜひ」の割合は、児童生徒が41.5%、教職員が64.9%で、いずれも非常に高い割合となっているとともに、児童生徒以上に教職員からの評価が高い。学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、ほぼ同程度であった。

図表Ⅱ－19 事業の評価（児童生徒、保護者、教職員）

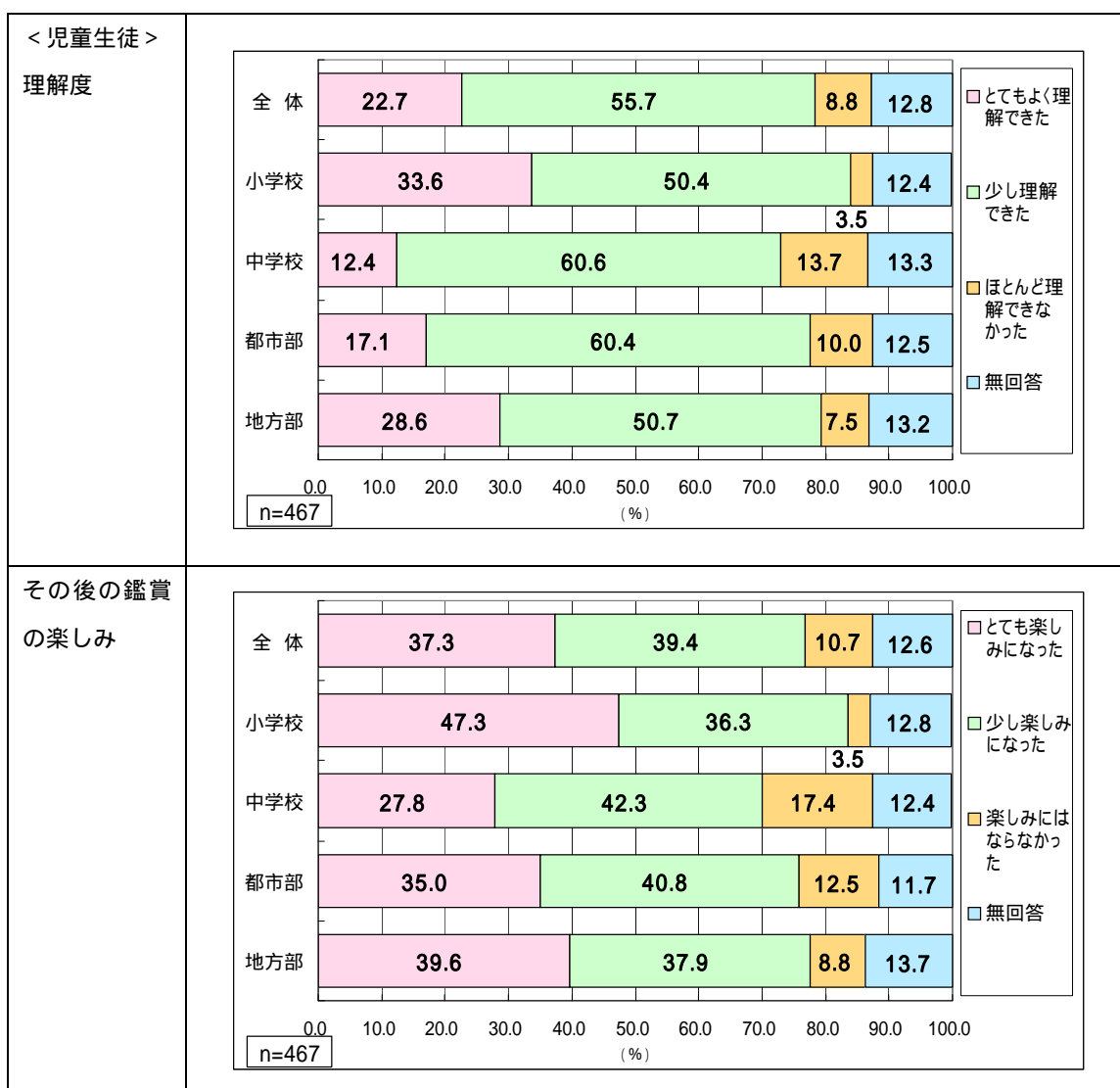


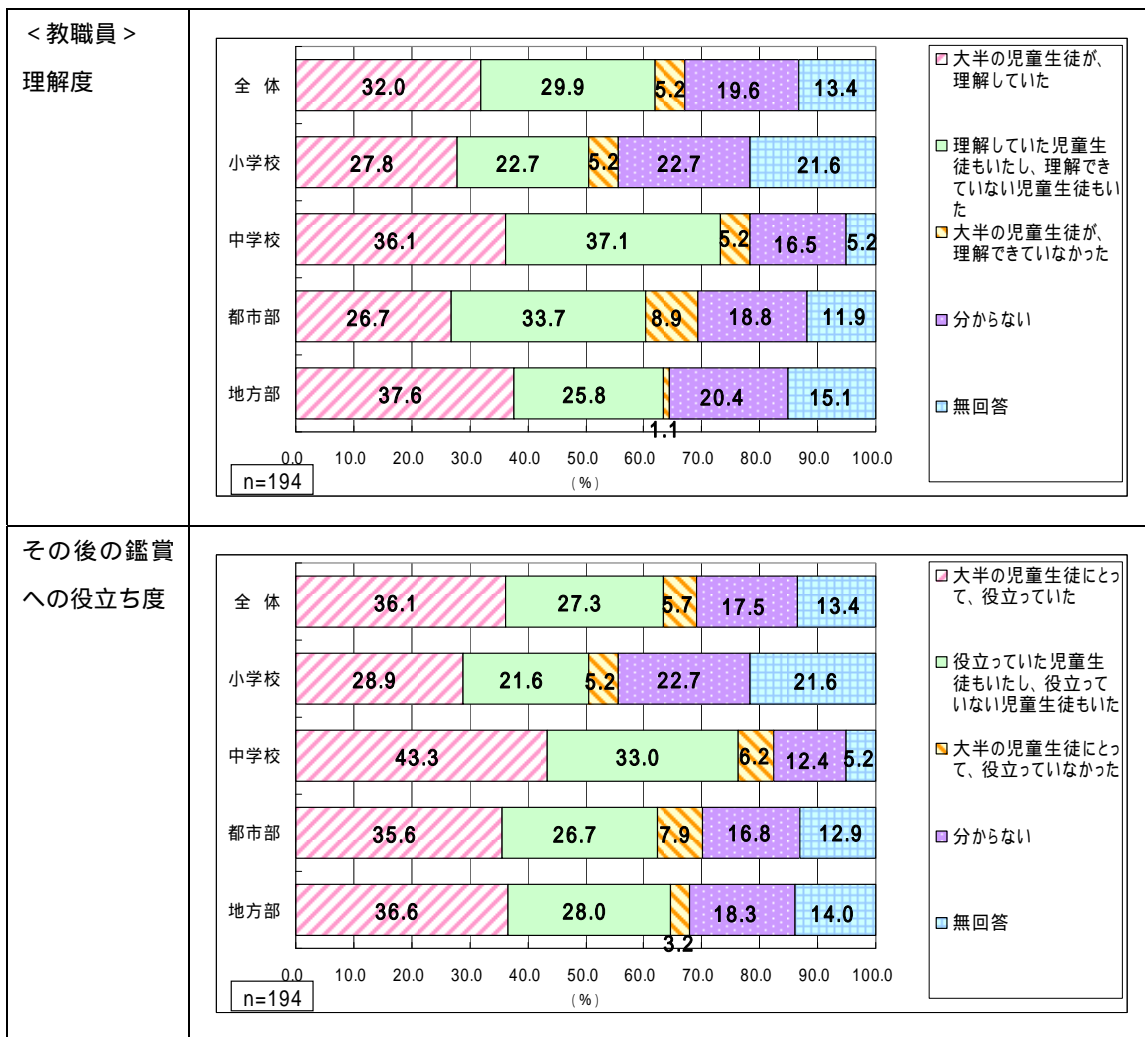


一方、当該事業の特徴の一つであるワークショップに対する評価として、ワークショップをとてよく理解できた児童生徒の割合は22.7%であり、教職員から見ると、大半の児童生徒が理解していたと感じた割合は32.0%であった。学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、同程度であった。

また、ワークショップを受けたことでその後の鑑賞が楽しみになったと回答した児童生徒の割合(「とても」と「少し」の合計)は76.7%であり、教職員から見ると、大半の児童生徒に役立っていたとする割合は36.1%であった。学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、ほぼ同程度であった。

図表Ⅱ－20 ワークショップの評価(児童生徒、教職員)





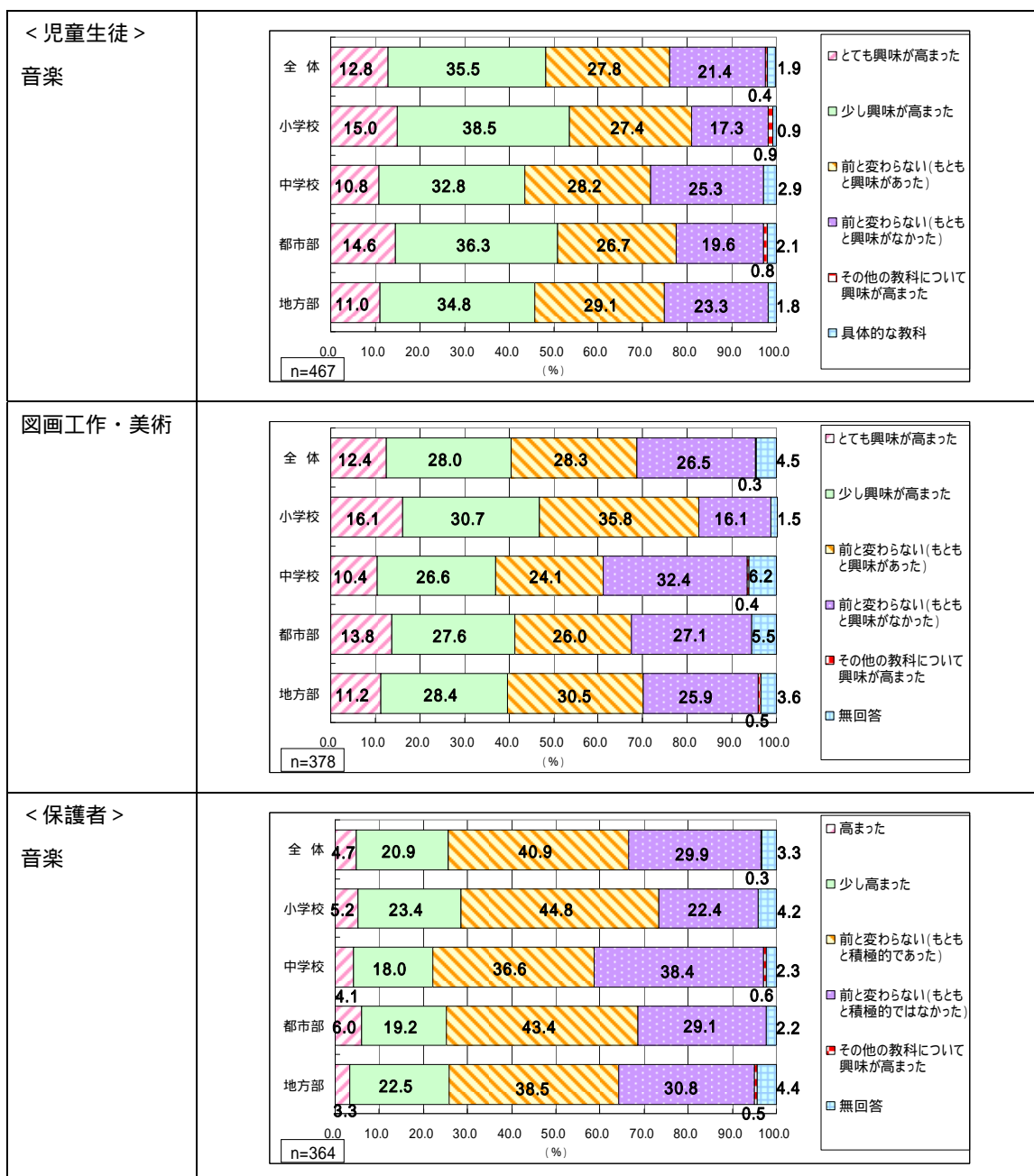
なお、アンケート調査票の自由回答欄には、当該事業に対する評価として、以下のようなコメントも挙げられた。

普通の授業と違って、次に何があるのかワクワクして楽しかった。【児童生徒】
 最初は全然興味が無かったが、やってみると楽しかった。【児童生徒】
 体験をするまでは、狂言がこんなに面白いものだとは知らなかった。【児童生徒】
 ワークショップの説明や体験のお陰で、鑑賞がわかりやすかった。【児童生徒】
 役者の劇に対する思いや役に真剣に取り組んでいる姿が伝わってきた。【児童生徒】
 前日まで「面倒くさい」と言っていたのに、帰ってきたらコンサートの話を楽しそうにしてくれた。【保護者】
 みんなで一つの音楽を作り出すことに少し心が動いたように感じた。【保護者】
 普段は集中力にける場面が見られるが、とても集中して聞いていた。【教職員】
 スピーディーでハイテク化したものだけが面白いのではなく、人が成す伝統芸能にも面白さがあることを実感していた。【教職員】

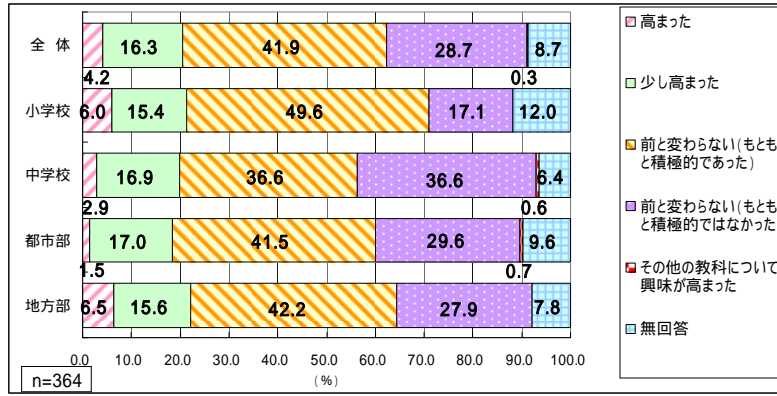
■芸術文化に対する関心の向上の状況

当該事業の体験後に音楽や図画工作、美術などの授業に対する関心が高まったと回答した児童生徒の割合(「とても」と「少し」の合計)は、音楽が48.3%、図画工作又は美術が40.4%であり、保護者から見ると音楽が25.6%、図画工作又は美術が20.5%であった。保護者が感じる以上に、児童生徒の関心が高まっていることがわかる。(教職員は回答者数が少ないため、割合は参考値である。)音楽、図画工作又は美術のいずれも、学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、音楽は都市部の方が高く、図画工作又は美術は同程度であった。

図表Ⅱ－21 音楽・図画工作・美術の授業への関心度の向上(児童生徒、保護者、教職員)

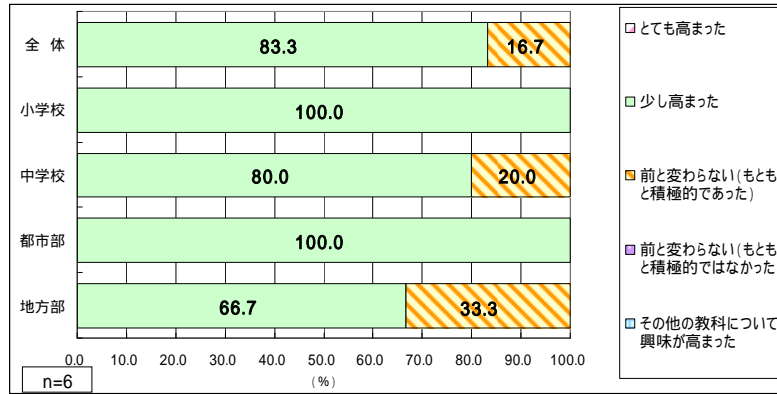


図画工作・美術

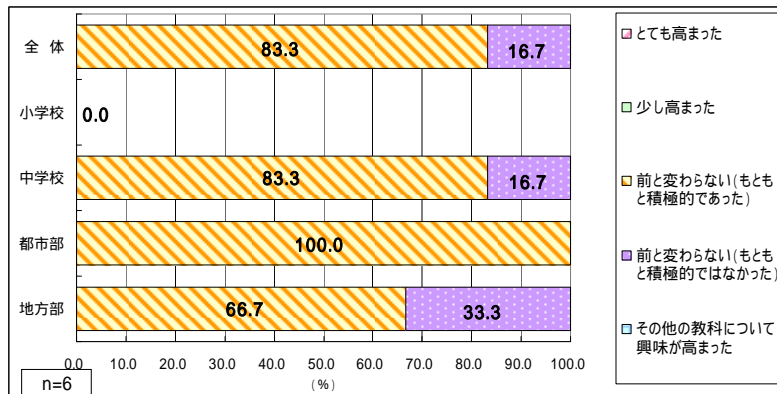


<教職員>

音楽



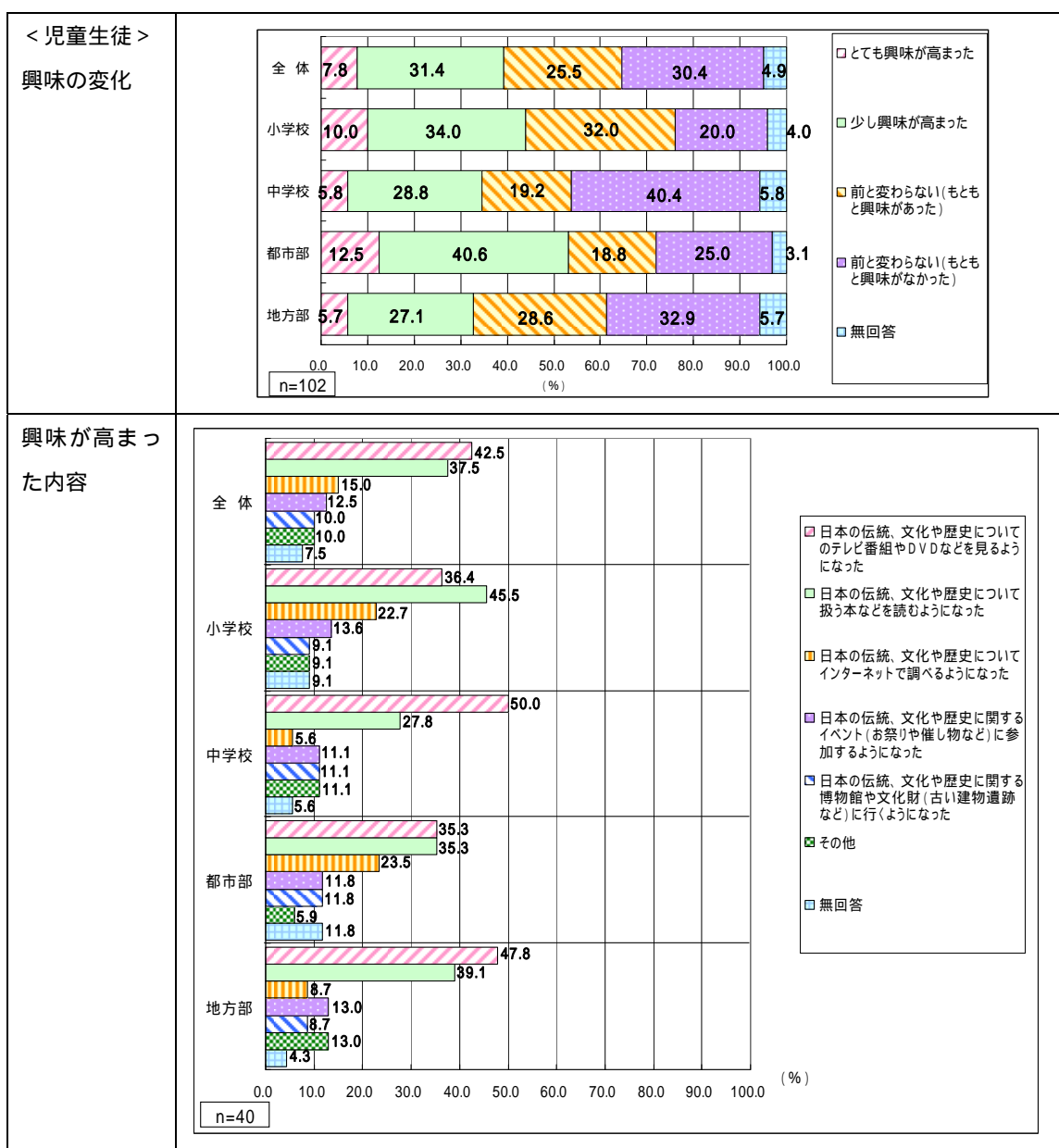
図画工作・美術

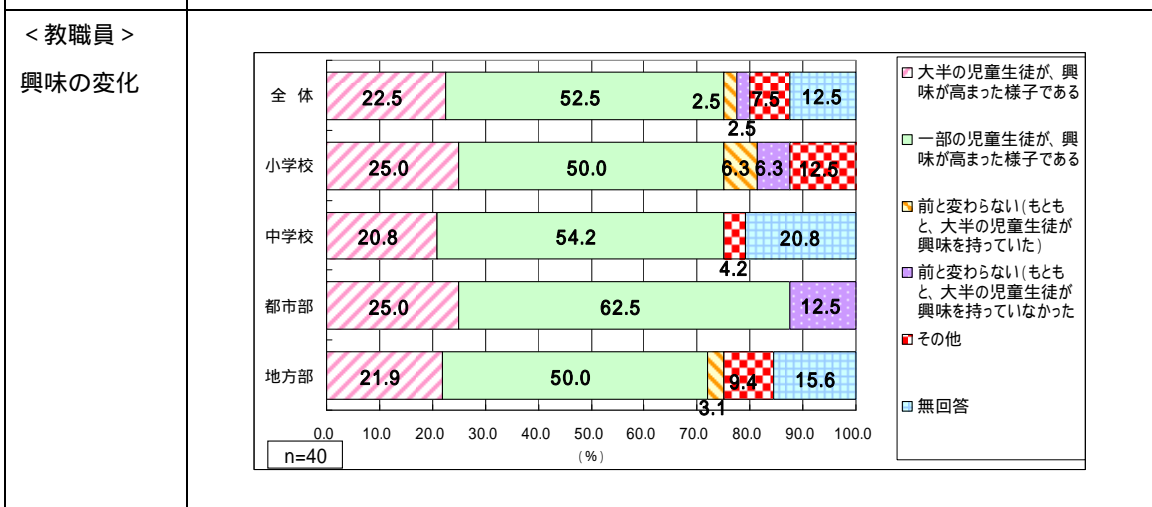
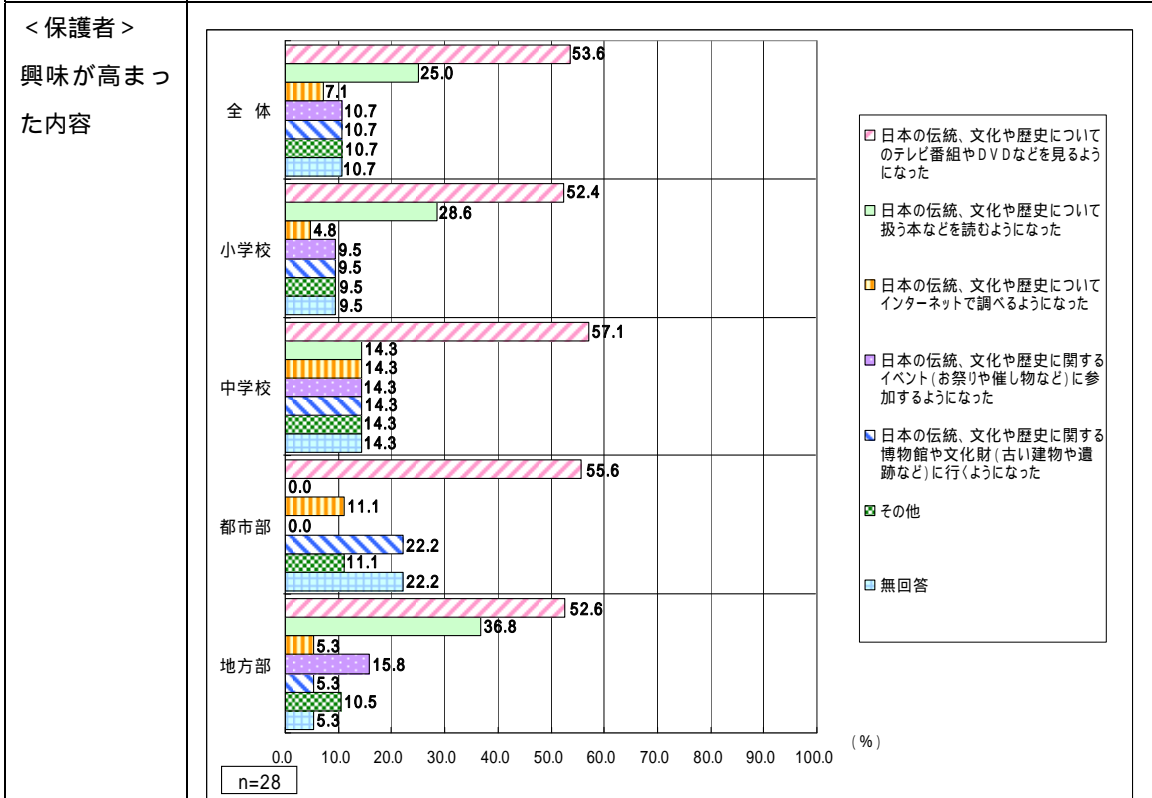
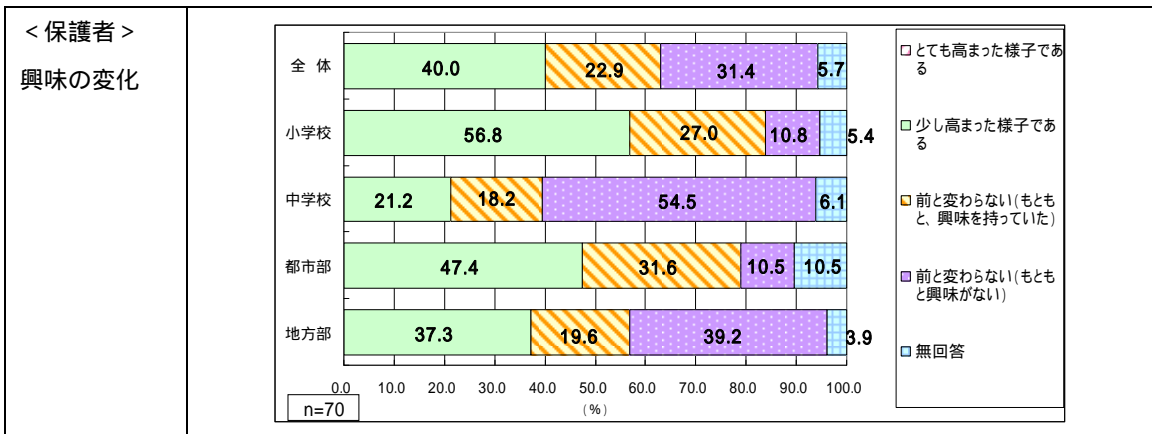


また、日本の伝統芸能を鑑賞した児童生徒のうち、当該事業の体験後に日本の伝統、文化や歴史に対する興味が高まったと回答した割合（「とても」と「少し」の合計）は 39.2%であり、保護者から見ると 40.0%、教職員から見ると 22.5%が大半の児童生徒が興味が高まった様子であるという回答であった。学校種で比較すると、小学校の方が高く、地域で比較すると、都市部の方が高かった。

さらに、日本の伝統、文化や歴史に対する興味が高まったと回答した児童生徒が、具体的に行った取組としては、テレビ・DVD が 42.5%で最も多く、以下、読書が 37.5%、インターネットが 15.0%、イベントに参加が 12.5%、博物館・文化財が 10.0%の順となっている。

図表Ⅱ－ 22 日本の伝統、文化や歴史に対する興味の向上（児童生徒、保護者、教職員）

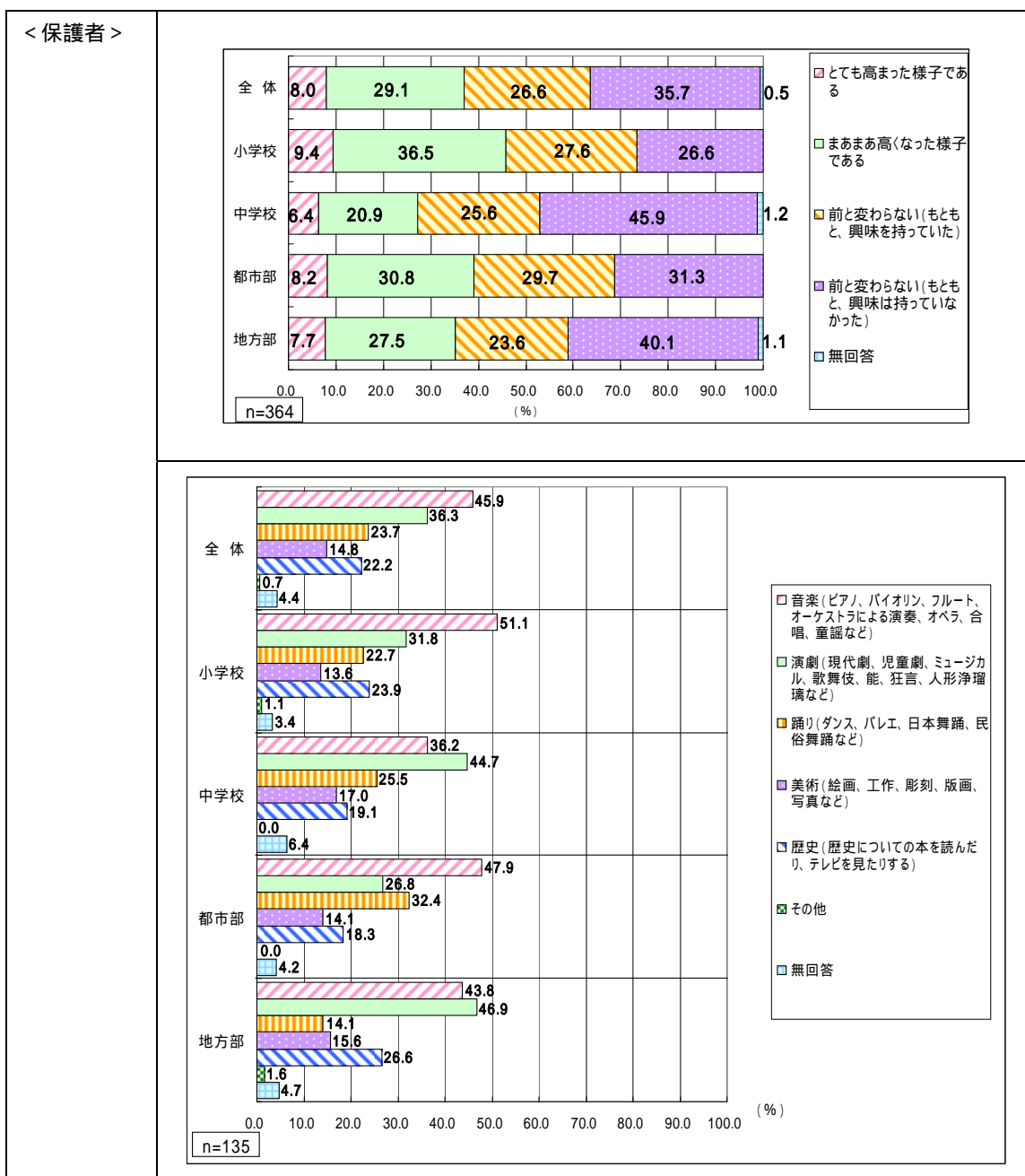




保護者から見て、自分の子どもが、当該事業の体験後に、文化・芸術への関心が高まったと感じた割合(「とても」と「まあまあ」の合計)は、37.1%であった。学校種で比較すると、小学生の保護者の方が高く、地域で比較すると、都市部の保護者の方が若干高かった。

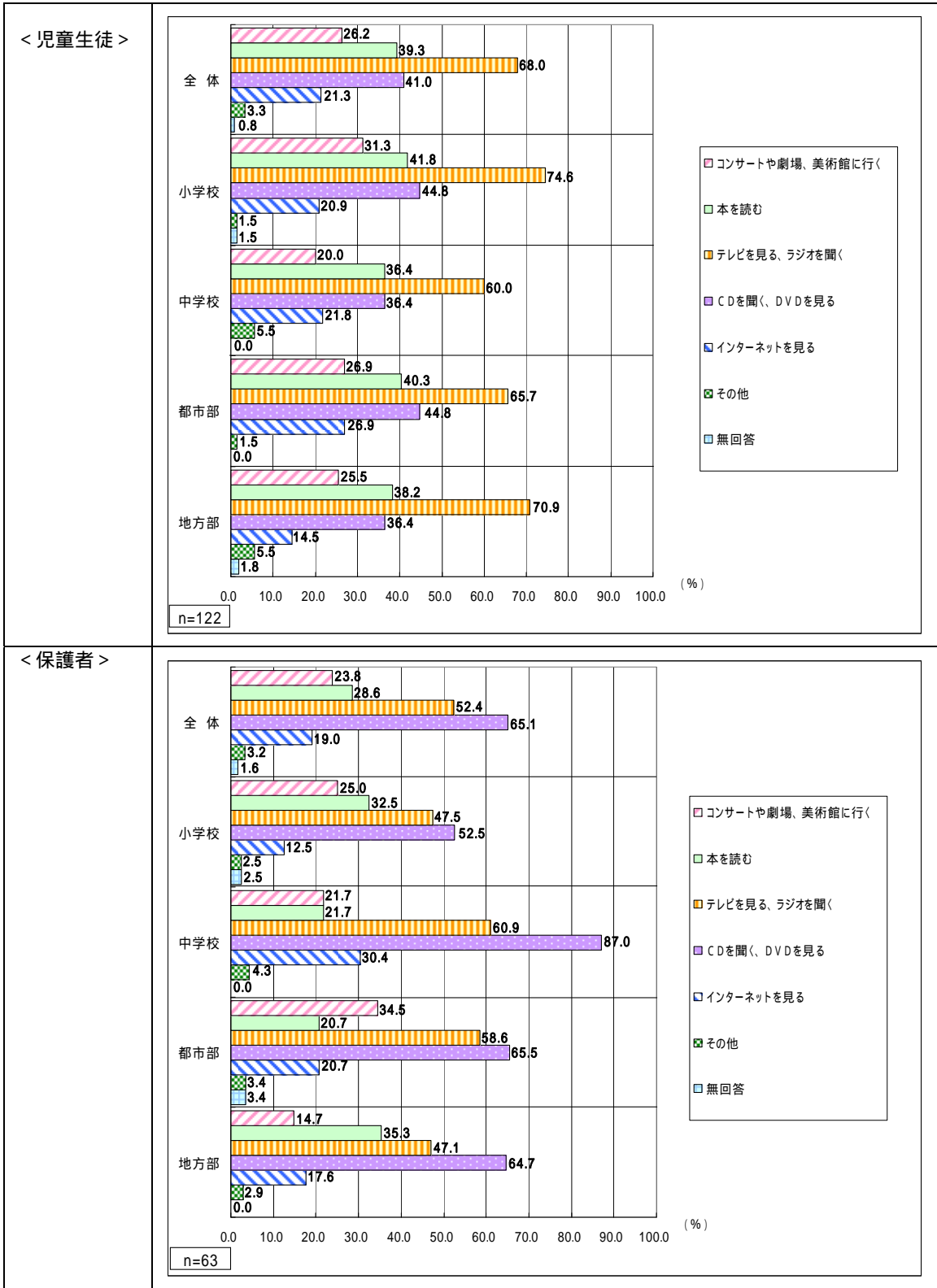
また、その内容については、音楽が45.9%で最も多く、以下、演劇が36.3%、踊りが23.7%、歴史が22.2%、美術が14.8%の順となっている。

図表Ⅱ－23 自分の子どもの文化・芸術への関心が高まったと感じる割合（保護者）



事業体験後に文化・芸術に触れる機会が増えた児童生徒たちについて、その手段を見ると、テレビ・ラジオが68.0%で最も多く、以下、CD・DVDが41.0%、本が39.3%、コンサート・劇場・美術館が26.2%、インターネットが21.3%の順となっている。上位は比較的受身な手法が挙がっているものの、本やコンサート・劇場・美術館、インターネットなど、主体的な手法の割合もそれなりに高く、文化・芸術に対する関心度の高まりが見られる。

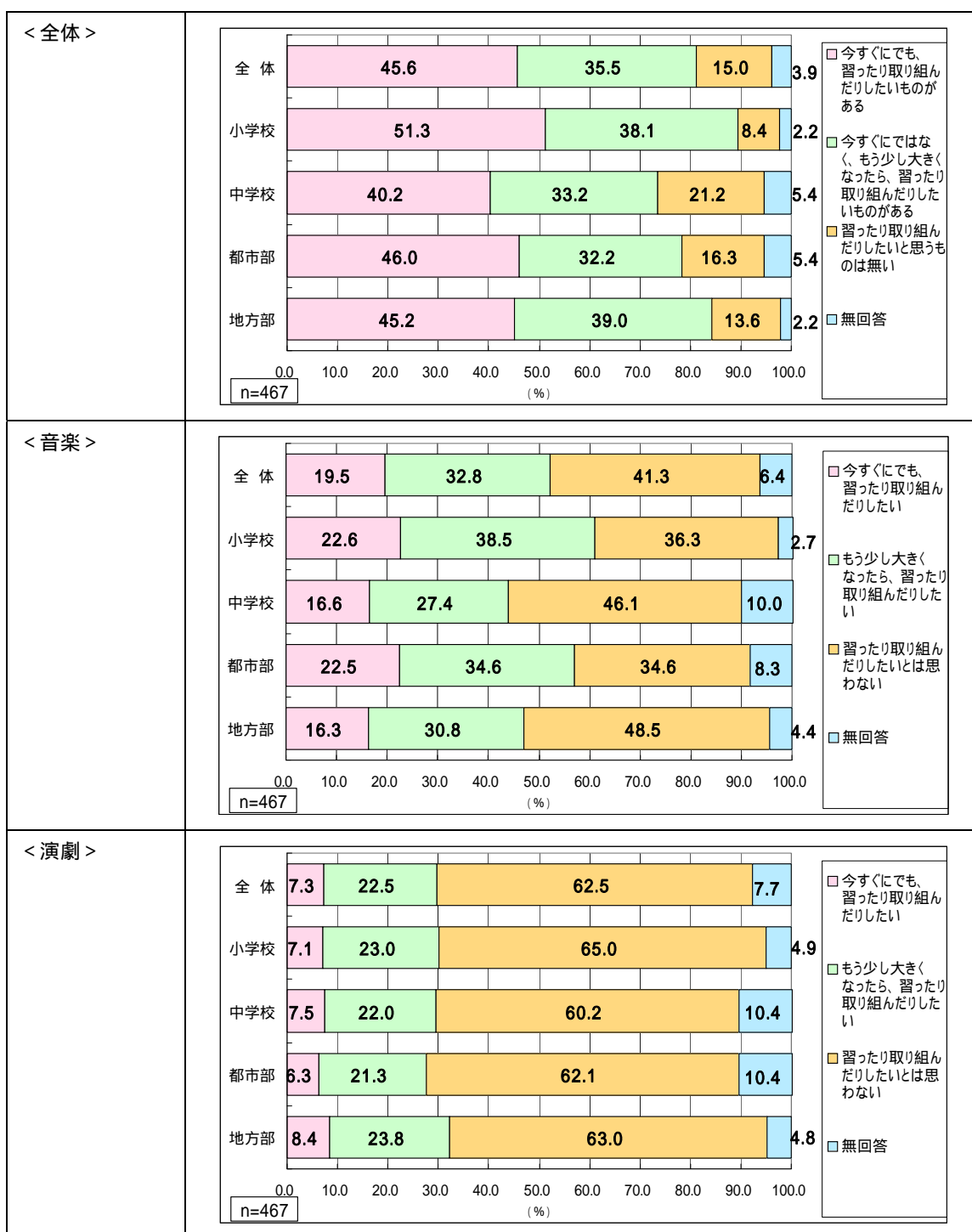
図表Ⅱ－24 事業体験後に増加した文化・芸術に触れる機会の手段（児童生徒・保護者）

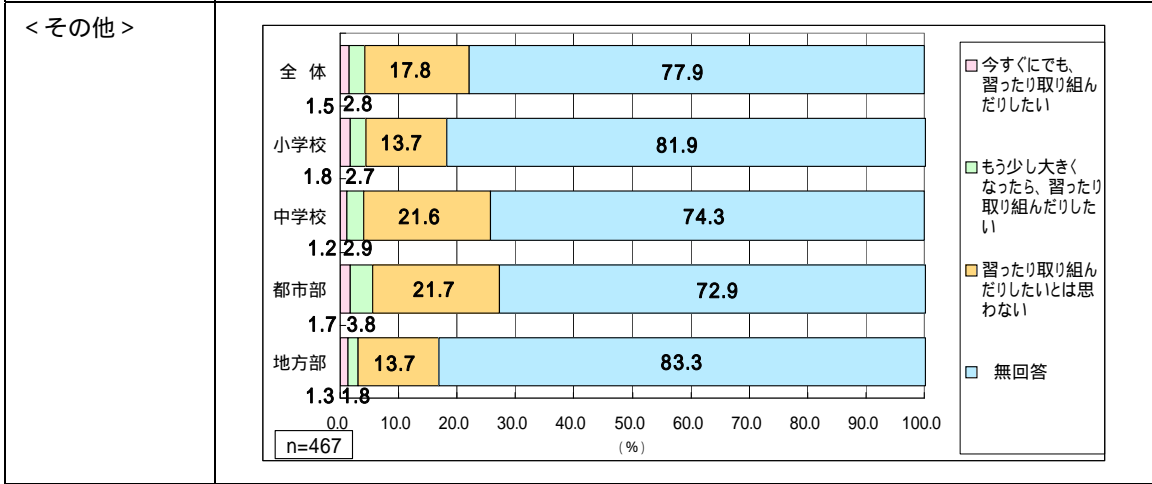
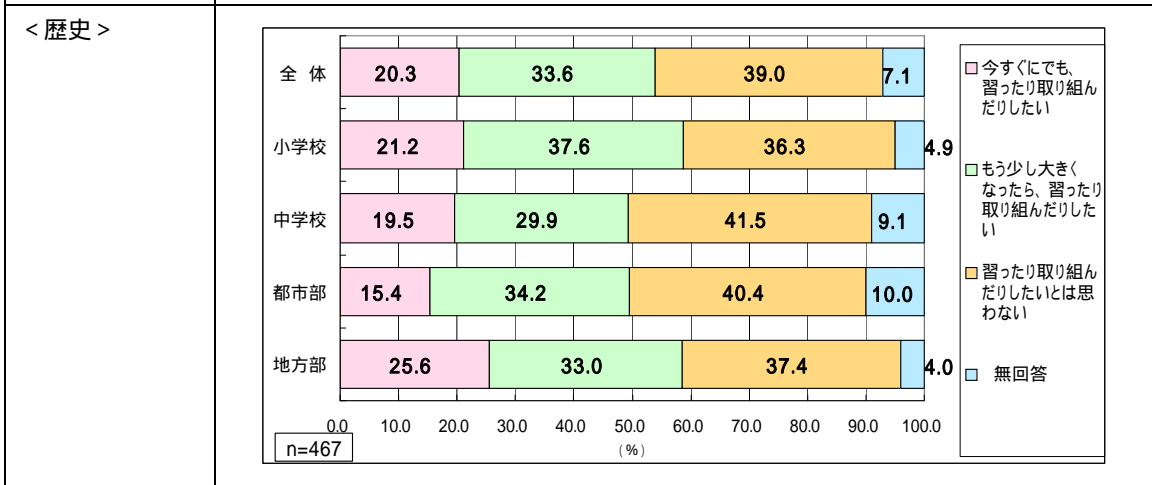
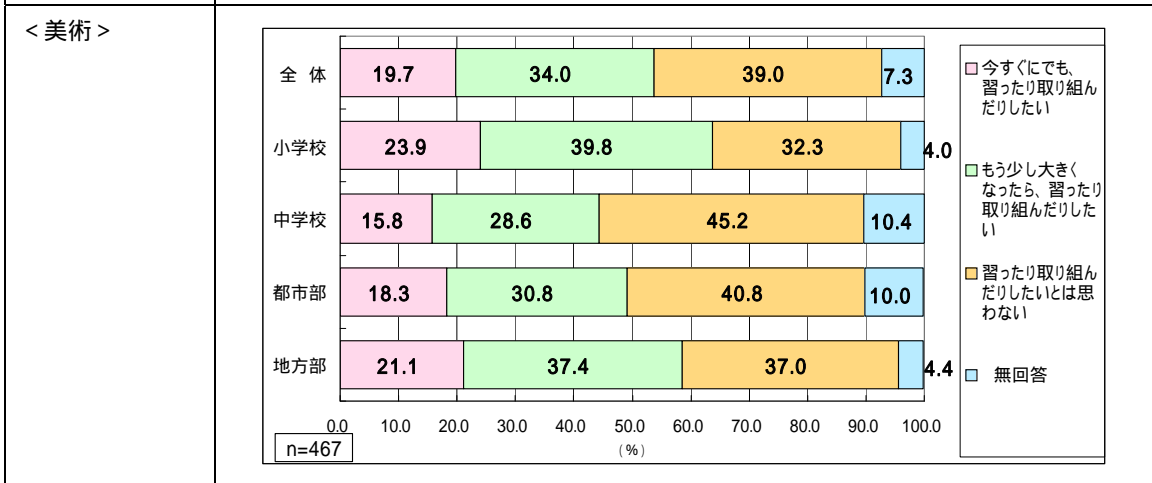
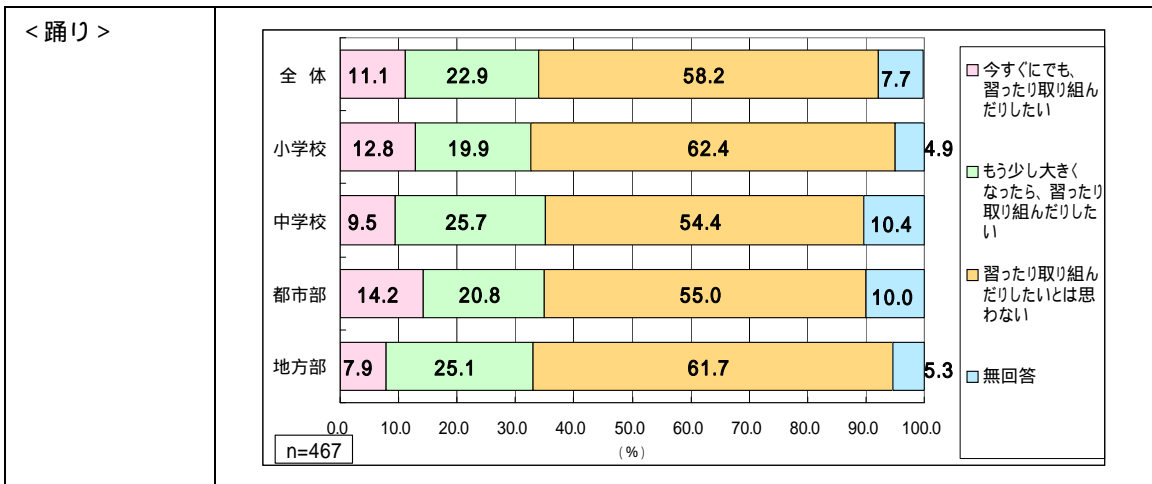


一方、当該事業の体験後に、文化・芸術を習ったり取り組んだりしてみたいと思うようになった児童生徒の割合は、「今すぐにでも」が45.6%、「今すぐにではなく、もう少し大きくなったら」が35.5%であった。学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、ほぼ同程度であった。

また、習ったり取り組んだりしてみたいと思うようになった文化・芸術の内容については、「今すぐに」は、歴史が20.3で最も多く、以下、美術が19.7%、音楽が19.5%、踊りが11.1%、演劇が7.3%の順で、「もう少し大きくなったら」は、美術が34.0%で最も多く、以下、歴史が33.6%、音楽が32.8%、踊りが22.9%、演劇が22.5%の順となっている。

図表Ⅱ－25 文化・芸術を習ったり取り組みたくなった割合（児童生徒）





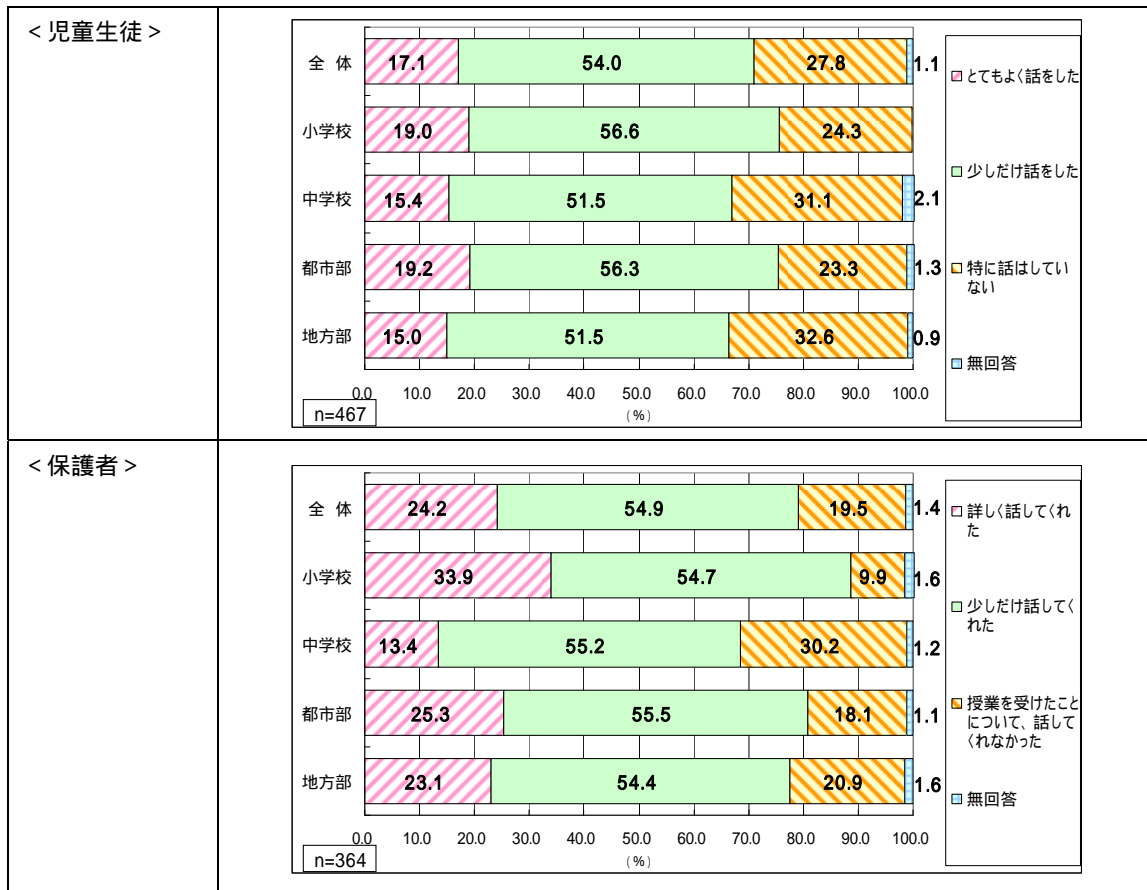
なお、アンケート調査票の自由回答欄には、文化・芸術に対する関心の向上に関して、以下のようなコメントも挙げられた。

オーケストラの演奏や合唱を聴いてから音楽にすごく興味がわいた。【児童生徒】
以前から自分で演奏をしていたが、関心がさらに高まった。【児童生徒】
音楽の授業が前より好きになった。【児童生徒】
人形劇を見て国語の本読みがとても楽しみになった。【児童生徒】
もっとバレエのことを知りたくなった。【児童生徒】
他のテーマの能楽も見たくなった。【児童生徒】
水芸を自分もやってみたいと思った。【児童生徒】
機会があれば、将来劇をやってみたいと思った。【児童生徒】
今まで興味の無かった音楽や踊りなどに、興味を持つことができた。【児童生徒】
演劇に使われていた道具や楽器に興味を持った。【児童生徒】
役者の表現の仕方に興味を持った。【児童生徒】
他の日本の伝統芸能にも関心が広がった。歴史に興味を持つようになった。【保護者】
自分でも演奏をしていて、関心がさらに高まった様子。【保護者】
運動一本やりで、楽器の演奏が得意でなかったのに、家で合奏の練習をするなど、態度に変化が見られた。スポーツだけでなく、音楽もいいかなというようになった。【保護者】
音楽にあまり積極的ではなかった子どもが、少し頑張ってみようかなという気持ちになったように見受けられる。【保護者】
指揮者にも興味を持つようになった。【保護者】
児童演劇鑑賞後、影絵など、人間による工夫や創作で生まれた文化をテレビで見ると興味を示すようになった。【保護者】
自宅でも音楽・ラジオを聴いたり、音楽番組を見るようになった。【保護者】
テレビで能楽が放送されているときなどは熱心に見るようになった。【保護者】
児童演劇鑑賞後、影絵など、人間による工夫や創作で生まれた文化をテレビで見ると興味を示すようになった。【保護者】
後世に、日本の文化を伝えようとする気持ちの芽生えが見られた。【教職員】
伝統文化に関心を深めた子どもが多い。【教職員】
合唱に対する姿勢が前向きになった。【教職員】
声楽家の仕事について考える子もいた。【教職員】
音楽の授業で、楽器の名前が多く出るようになった。授業での音楽鑑賞が熱心・積極的になった。【教職員】
授業で、和楽器が教科書に掲載されているのを見て、鑑賞会の話が出て盛り上がる。【教職員】
それまでの道徳の授業などで考えさせた日本固有の文化の継承を、さらに意識するようになった。【教職員】

③「自分のアイデアを表現し、他人とコミュニケーションしたい」という意欲の増進の状況

当該事業について会話をした児童生徒の割合（「とても／詳しく」と「少し」の合計）は71.1%であり、保護者から見ると79.1%であった。そのうち「とても／詳しく」の割合は、児童生徒が17.1%で、保護者が24.2%であり、2割前後は大きな効果となっている。学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、都市部の方が高かった。

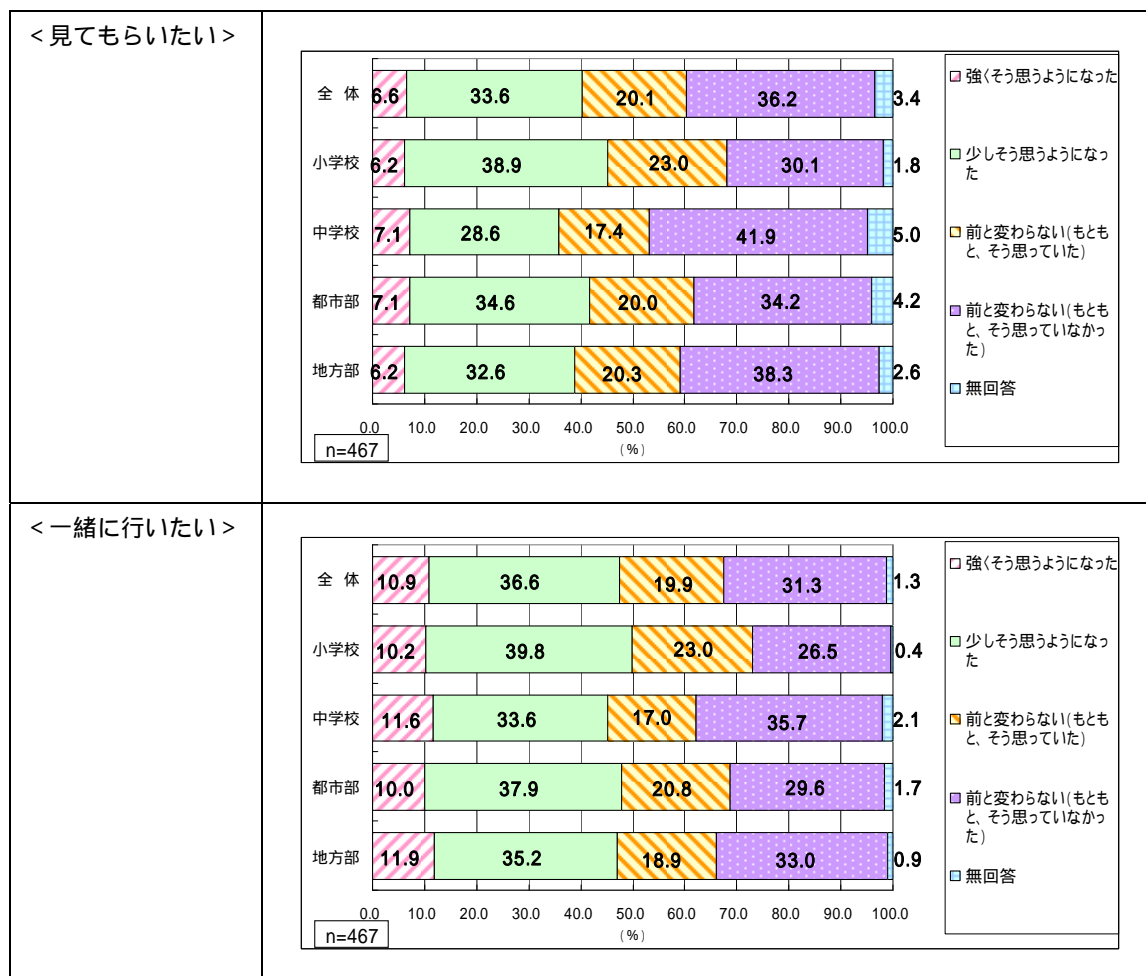
図表Ⅱ－26 当該事業に関する会話（児童生徒、保護者）



また、当該事業の体験後に自分も文化・芸術活動を他の人に見てもらいたいと思うようになったと回答した児童生徒の割合（「強く」と「少し」の合計）は40.2%であった。学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、ほぼ同程度であった。一方で、36.2%の児童生徒は、以前と変わらず他の人に見てもらいたいとは思っていない状況もある。

同じく、当該事業の体験後に自分も他の人と一緒に協力して文化・芸術活動をしたいと思うようになったと回答した児童生徒の割合（「強く」と「少し」の合計）は47.5%であった。学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、ほぼ同程度であった。

図表Ⅱ－27 文化・芸術活動を見てもらいたい・他の人と一緒に行いたい気持ち（児童生徒）

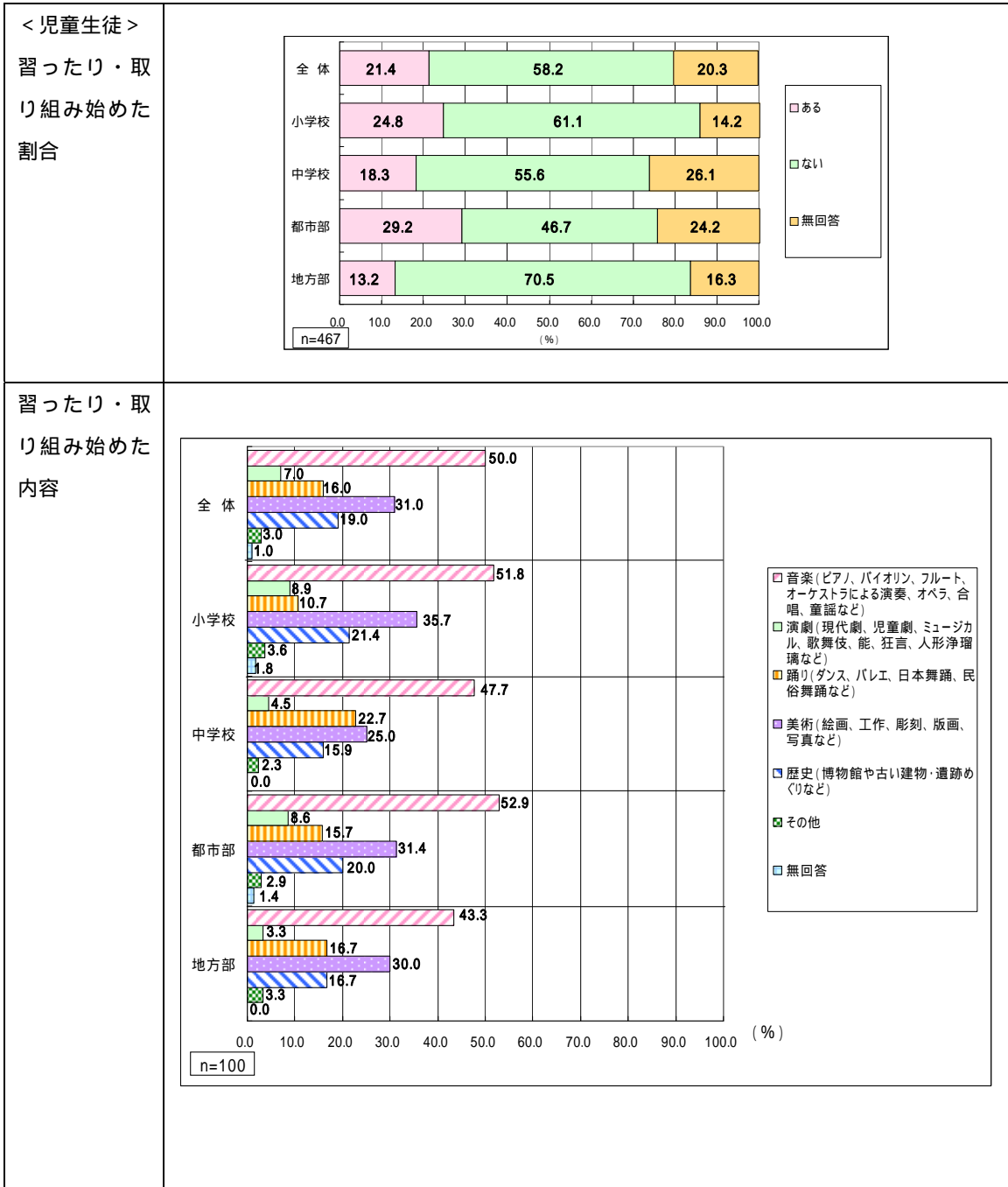


さらに、当該事業の体験後に、実際に文化・芸術を習ったり取組んだりするようになった児童生徒の割合は21.4%、保護者から見ると14.8%であった。学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、都市部の方が高かった。

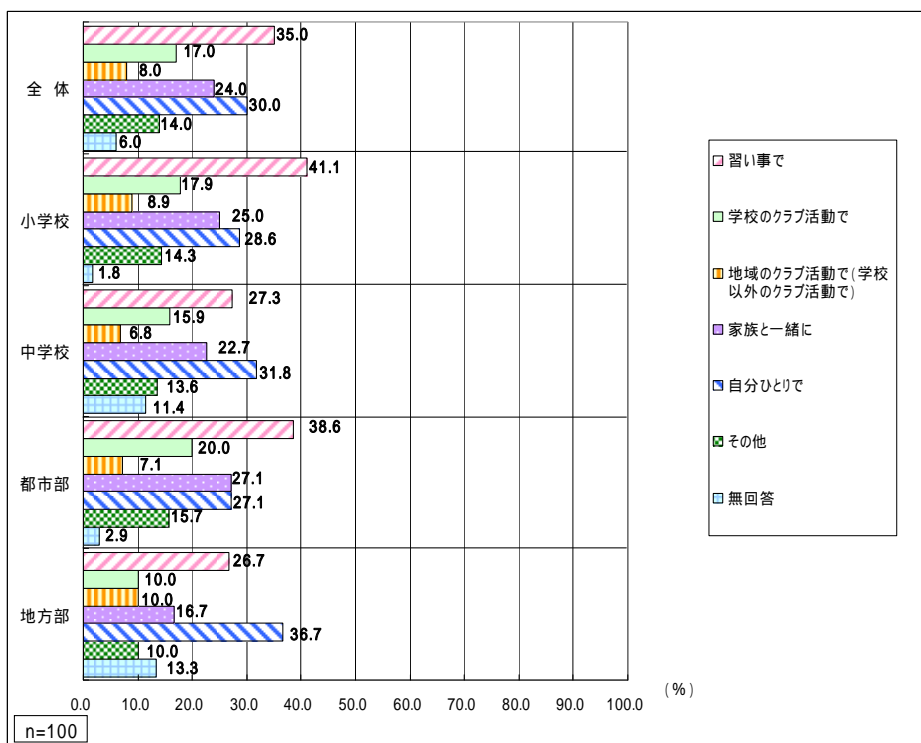
また、習ったり取組んだりするようになった文化・芸術の内容は、音楽が50.0%で最も多く、以下、美術が31.0%、歴史が19.0%、踊りが16.0%、演劇が7.0%の順となっている。

さらに、それらを行っている場所については、習い事が35.0%で最も多く、以下、自分ひとりが30.0%、家族と一緒に24.0%、学校のクラブ活動が17.0%の順となっている。

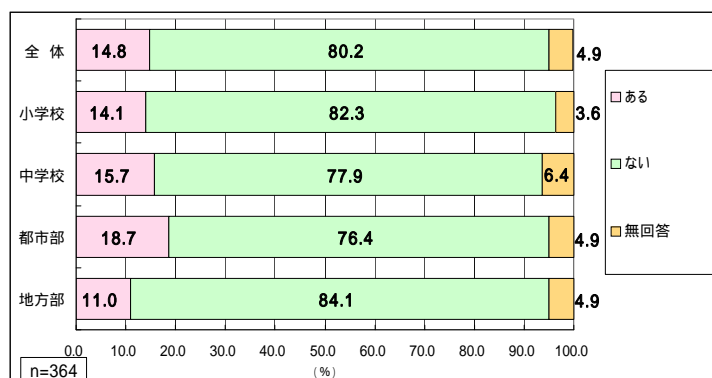
図表Ⅱ－28 実際に文化・芸術を習ったり・取り組み始めた割合（児童生徒、保護者）



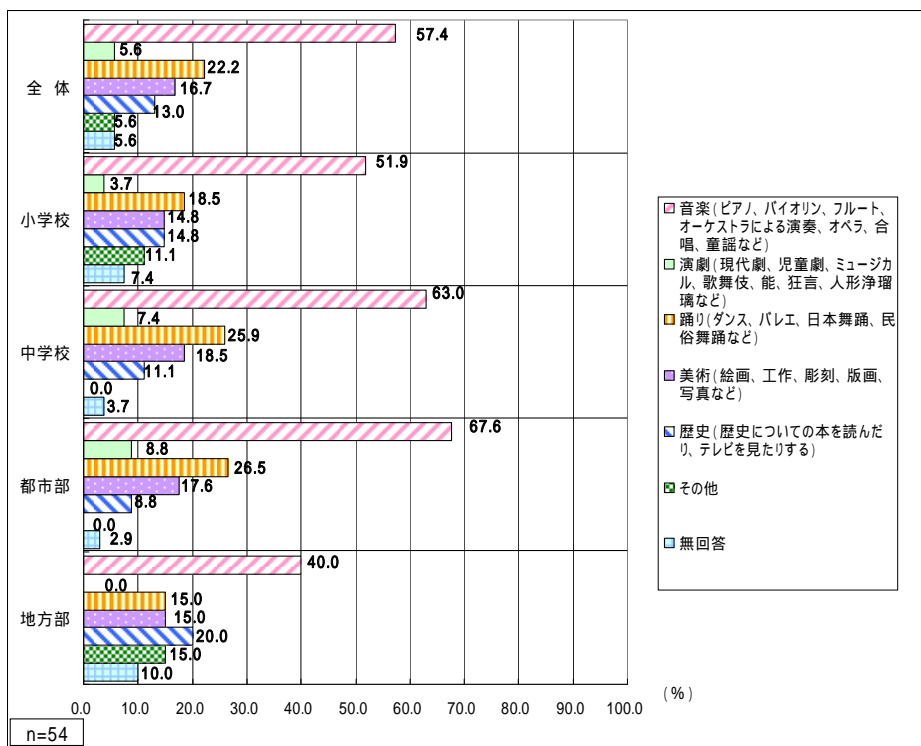
習ったり・取
り組み始めた
場所



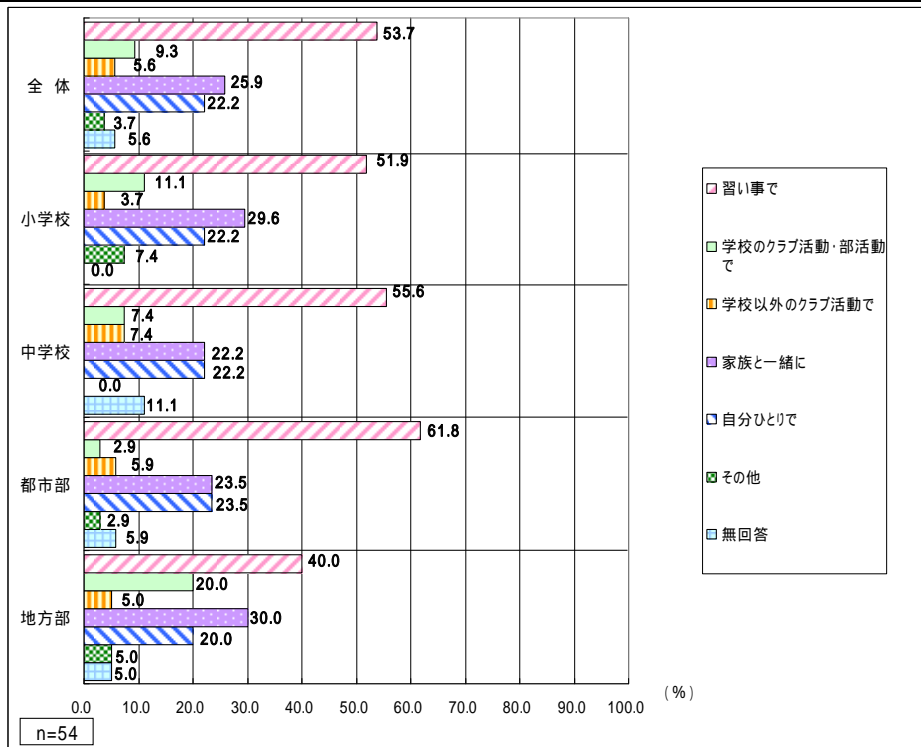
<保護者>
習ったり・取
り組み始めた
割合



習ったり・取
り組み始めた
内容



習ったり・取
り組み始めた
場所



なお、アンケート調査票の自由回答欄には、「自分のアイディアを表現し、他人とコミュニケーションしたい」という意欲の増進に関して、以下のようなコメントも挙げられた。

合唱で聞いた曲を家のオルガンで練習している。【児童生徒】
 お母さんと「今度オペラを見に行こう」という会話をするようになった。【児童生徒】
 みんなで一緒に歌いたいと思った。【児童生徒】
 みんなで一緒に歌って盛り上がった。みんなと協力できて楽しかった。【児童生徒】

実際に人形劇を発表するときには、緊張したけど、うまく行ってよかった。自分で作ったものを劇に出すことができ面白かったし、うれしかった。【児童生徒】

テレビでオペラの話になると、自分の知っていることを話してくれる。【保護者】

歴史にとっても興味を持つようになり、親に対していろいろなことを教えてくれることが多くなった。両親とのコミュニケーションも増えている。【保護者】

美術の授業の話は、ニコニコしながら面白いとうれしそうに話をするようになった。【保護者】

劇の発表会の練習に取り組んでいるところだったので、体験後は、声の大きさをさらに意識するようになった。【教職員】

文化祭での学級の演劇や合唱コンクールが例年に無く盛り上がった。【教職員】

クラス全員参加させてもらったので、学級に一体感が生まれた。【教職員】

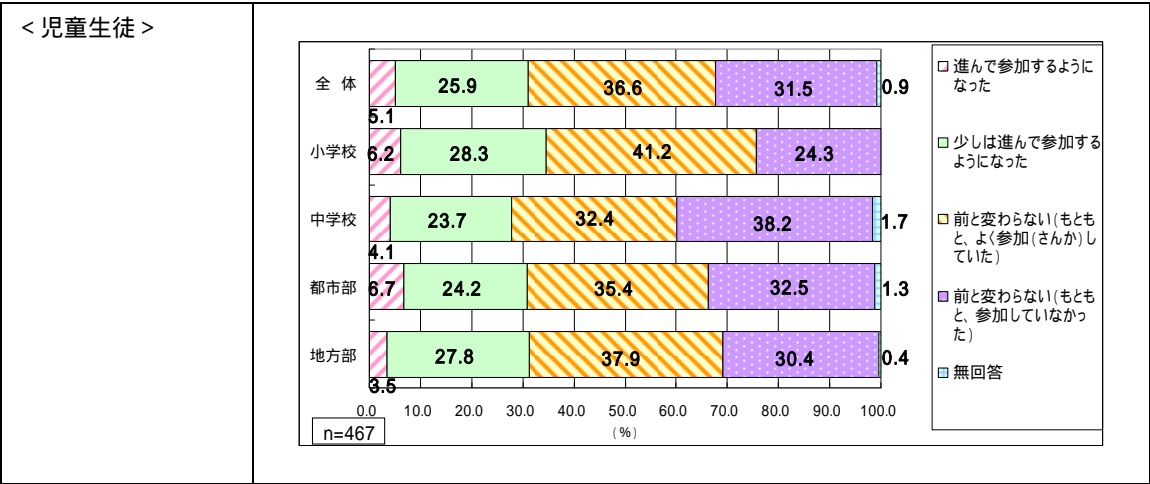
最初はあまり興味を示していなかった子どもが「前でやってみる役に立候補をすればよかった」など積極的な面が見られるようになった。【教職員】

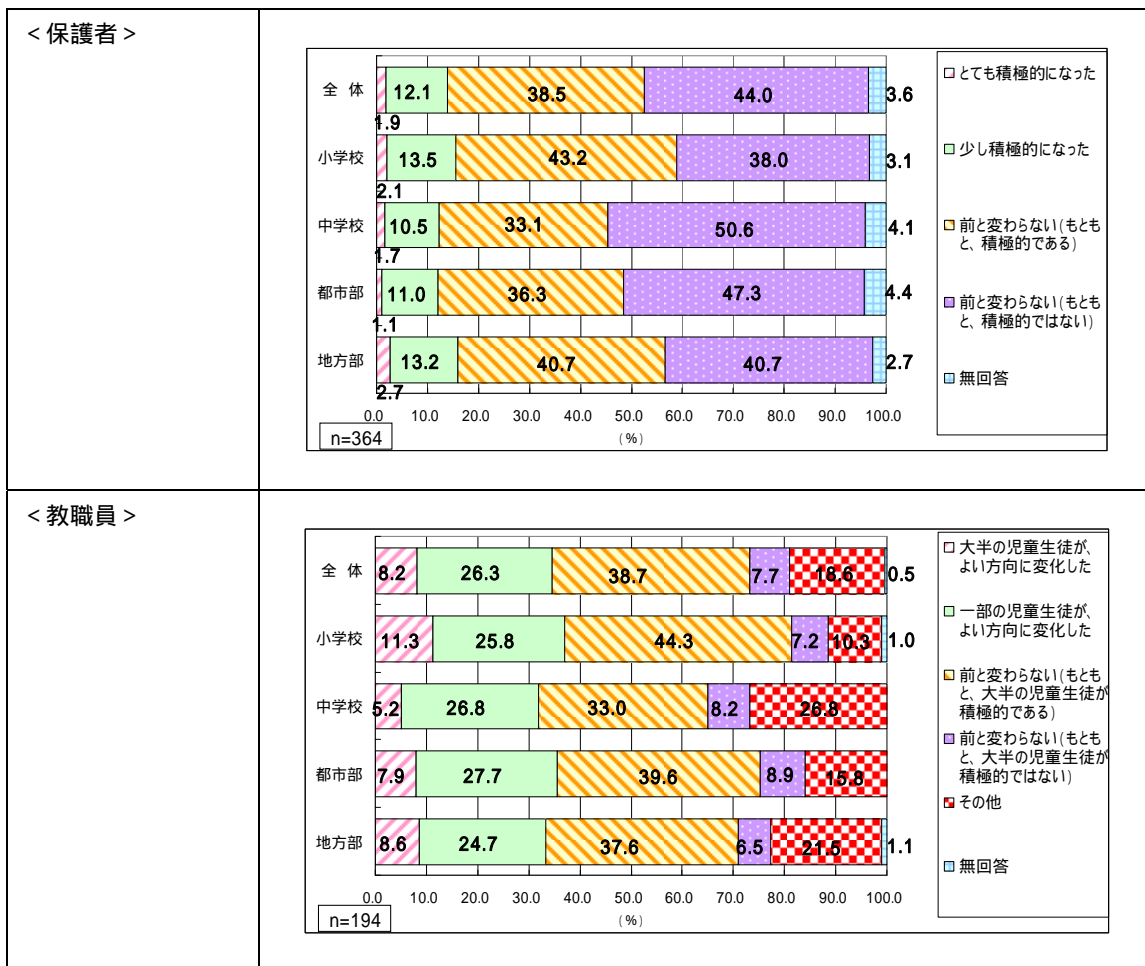
普段あまり話さない生徒が、あの演劇は感動したよと、自ら話しかけてきてくれた。【教職員】

④ 「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮の状況

当該事業の体験後に、家の近所や学校でのイベントに自ら進んで参加するようになった児童生徒の割合（「とても」と「少し」の合計）は 31.0%であり、保護者から見ると 14.0%となっており、児童生徒の参加意欲を一部の保護者が気づいていない状況も見受けられる。また、教職員から見ると、大半又は一部の児童生徒が進んで参加するようになったと回答した割合が 34.5%であった。学校種で比較すると、小学生の方が高く、地域で比較すると、ほぼ同程度であった。

図表Ⅱ－29 行事への積極性の変化（児童生徒、保護者、教職員）

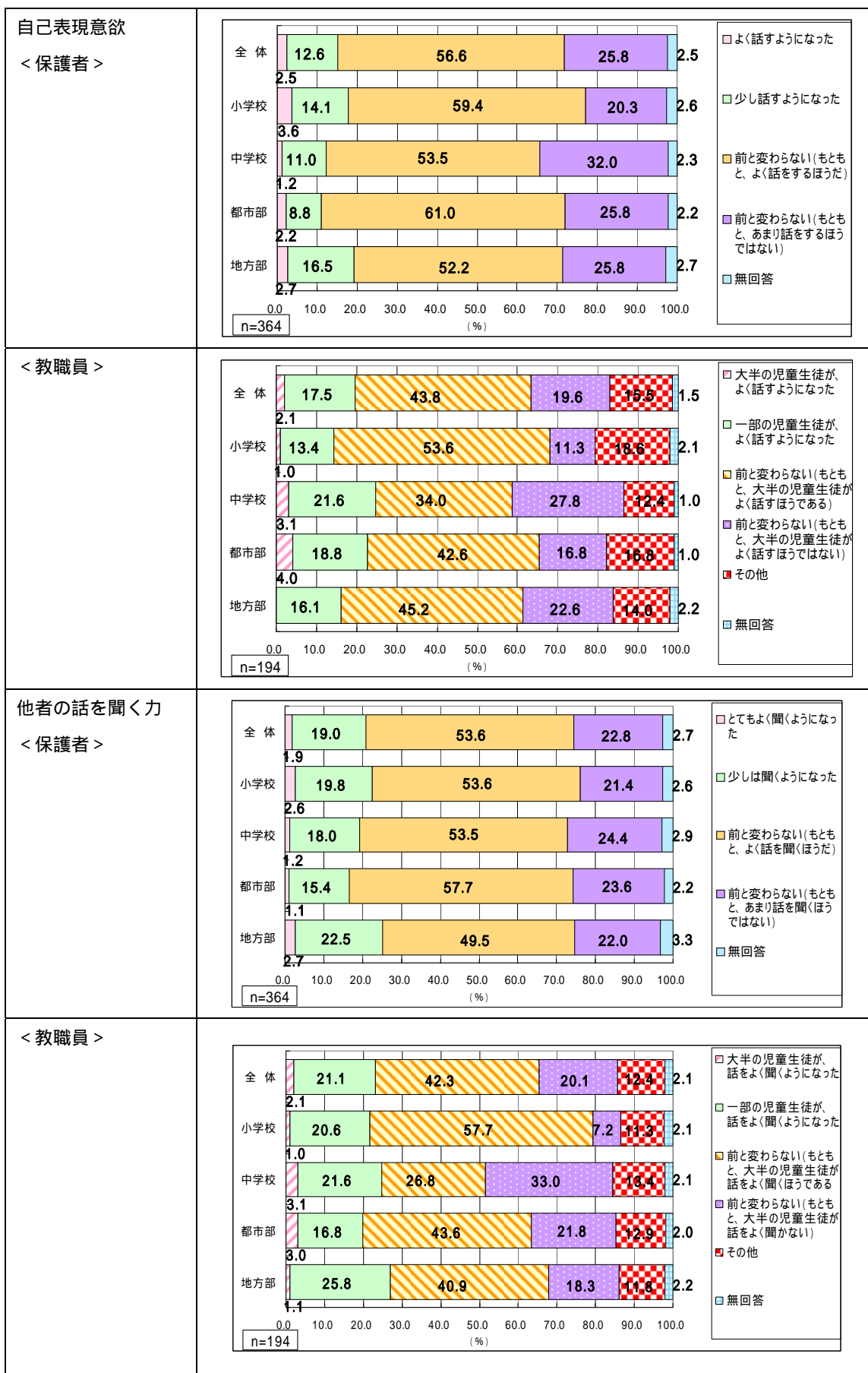




同じく、当該事業の体験後に、児童生徒が、自分の考えていることを自分から進んで話すようになったと感じる割合(「とても」と「少し」の合計)は、保護者から見ると15.1%で、そのうち「とても」の割合は2.5%とごく一部に限られている。一方で、以前と変わらずあまり進んで話をしないという回答も25.8%になっている。また、教職員から見ると、大半又は一部の児童生徒が良く話すようになったと回答した割合は19.6%であり、そのうち「大半」の割合は2.1%とごく一部に限られている。学校種で比較すると、保護者は小学生の方が若干高く、教職員は中学生の方が高くなり、地域で比較すると、保護者は地方部の方が高く、教職員は都市部の方が高くなった。

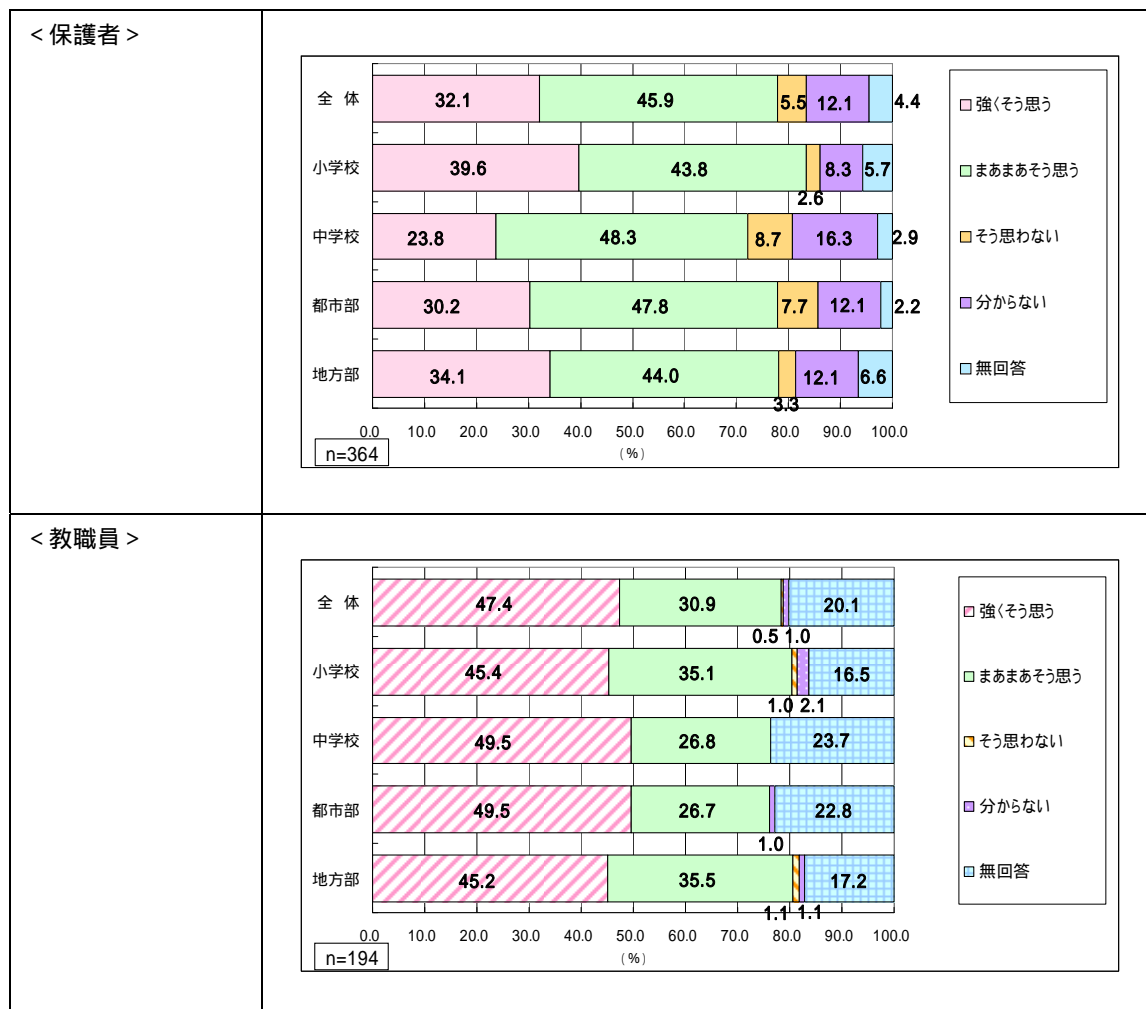
さらに、当該事業の体験後に、児童生徒が、他人の考えや意見を良く聞くようになったと感じる割合(「とても」と「少し」の合計)は、保護者から見ると20.9%で、そのうち「とても」の割合は1.9%とごく一部に限られている。一方で、以前と変わらずあまり話を聞くほうではないという回答も22.8%になっている。また、教職員から見ると、大半又は一部の児童生徒が話を良く聞くようになったと回答した割合は23.2%であり、そのうち「大半」の割合は2.1%とごく一部に限られている。学校種で比較すると、保護者も教職員もほぼ同程度であり、地域で比較すると、保護者も教職員も、中学生の方が高かった。

図表Ⅱ－30 自己表現意欲、他者の話を聞く力の変化（保護者、教職員）



一方、当該事業での体験が、児童生徒の豊かな心や感性、創造性を育てるきっかけになることについて強くそう思うと回答した割合は、保護者が 32.1%、教職員が 47.4%であった。学校種で比較すると、保護者が小学生の方が高く、教職員は中学生の方が若干高い。地域で比較すると、保護者はほぼ同程度、教職員は、都市部の方が若干高くなった。

図表Ⅱ－31 豊かな心や感性、創造性を育てるきっかけ（保護者、教職員）



なお、アンケート調査票の自由回答欄には、「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮に関して、以下のようなコメントも挙げられた。

音楽には何か大きな力があると思った。【児童生徒】
 日本文化に興味を持つようになり、伝統的な地域の行事にも熱心になった。【保護者】
 物事に対して、興味を持って一所懸命に吸収しようとする気持ちが芽生えてきたように感じる。【保護者】
 合唱を聞いて、文章力が多少感化されたように感じる。【保護者】
 現代っ子にもかかわらず、騒がしい音楽より古典的な音色にひかれる生徒が多くいた。【教職員】
 数名だが、未知の分野のことを知りたがる生徒が現れた。【教職員】

(3) 事業の効果に関する評価

以上の調査結果をもとに、当該事業の効果の発現状況について整理した。

①芸術文化に触れる機会の増加

「芸術文化に触れる機会の増加」の効果を測る指標について見ると、当該事業の体験がきっかけとなって、その後に機会が増えた児童生徒が3割弱であることから、当該事業の効果は高いものと考えられる。特に、当該事業の体験前には、文化・芸術に触れる機会がよくあった児童生徒が2割弱しかいなかったことを考慮すると、機会の増加に対する当該事業の効果や意義は非常に高いものと考えられる。

一方で、本物の文化・芸術に触れる機会を児童生徒に提供するような取組を、当該事業で初めて実施した学校の割合は1割弱と非常に低く、当該事業をきっかけに実施校を増やすという観点での効果はあまり見られておらず、対象校の選定について工夫の余地があると思料される。

図表Ⅱ－32 芸術文化に触れる機会の増加に関する代表的な評価指標と指標データ

評価指標	指標データ
当該事業をきっかけに文化・芸術に触れる機会が増えた児童生徒の割合（図表 - 16）	児童生徒自身の実感 26.2% （うち「かなり多くなった」は4.1%） 保護者の実感 17.3% （うち「かなり多くなった」は1.9%）
（参考）当該事業体験前の時点で、文化・芸術に触れる機会がよくあった児童生徒の割合（図表 - 14,15）	児童生徒自身の実感 16.5% 保護者の実感 13.5%
当該事業で初めて同種の取り組みを実施した学校の割合（図表 - 17）	学校の回答 6.3%

②芸術文化に対する関心の向上

「芸術文化に対する関心の向上」の効果を測る指標について見ると、基本的な指標としての事業に対する評価は、楽しいと感じた児童生徒が9割強、通常の授業にはない発見や楽しさが大いにあった児童生徒が9割強、同じような授業を是非また受けてみたい児童生徒が9割弱、是非受けさせてみたい教職員が9割強と、全般的に非常に高いものとなっている。また、当該事業の特徴の一つであるワークショップに対する評価や効果も非常に高いものとなっている。

図表Ⅱ－33 芸術文化に対する関心の向上に関する代表的な評価指標と指標データ①

評価指標	指標データ
当該事業を楽しみと感じた児童生徒の割合（図表 - 18）	児童生徒自身の実感 94.4% （うち「とても楽しかった」は57.6%）
通常の授業にはない発見や楽しさがあった児童生徒の割合（図表 - 18）	児童生徒自身の実感 95.3% （うち「多いにあった」は61.0%）

同様の授業をまた受けてみたい児童生徒・受けさせたい教職員の割合（図表 - 18）	児童生徒自身の実感 87.5% （うち「是非受けたい」は41.5%） 教職員の实感 97.9% （うち「是非受けさせたい」は64.9%）
ワークショップを受けたことで、その後の鑑賞が楽しみになった児童生徒の割合（図表 - 19）	児童生徒自身の実感 76.7% （うち「とても」は22.7%）

一方で、当該事業の体験がきっかけとなって、音楽、図画工作・美術、あるいは、日本の伝統・文化・歴史への興味が高まった児童生徒が、それぞれ5割弱、4割強、4割弱と、高い割合となっている。同じく、文化・芸術を習ったり取組んだりしたくなった児童生徒も8割程度であることとあわせて評価すると、関心の向上に対する当該事業の効果は非常に高いものと考えられる。

なお、自由回答の中では、国語や社会などの授業への児童生徒の興味が高まった効果、鑑賞した文化・芸術を真似したり、口ずさんだりする効果、ゲームや携帯電話、インターネットなどの情報機器ではなく人間自身が作り出すものの面白さに気づいた効果なども示された。

図表Ⅱ - 34 芸術文化に対する関心の向上に関する代表的な評価指標と指標データ②

評価指標	指標データ
当該事業をきっかけに音楽への関心が高まった児童生徒の割合（図表 - 20）	児童生徒自身の実感 48.3% （うち「とても高まった」は12.8%） 保護者の実感 25.6% （うち「高まった」は4.7%）
当該事業をきっかけに図画工作・美術への関心が高まった児童生徒の割合（図表 - 20）	児童生徒自身の実感 42.4% （うち「とても高まった」は12.4%） 保護者の実感 20.5% （うち「高まった」は4.2%）
当該事業をきっかけに日本の伝統・文化・歴史への関心が高まった児童生徒の割合（伝統芸能を鑑賞した児童生徒のみ）（図表 - 21）	児童生徒自身の実感 39.2% （うち「とても高まった」は7.8%） 保護者の実感 40.0% （うち「とても高まった」は0.0%）
当該事業をきっかけに文化・芸術活動への関心が高くなった児童生徒の割合（図表 - 22）	保護者の実感 37.1% （うち「とても高まった」は8.0%）
当該事業をきっかけに文化・芸術活動を実施したくなった児童生徒の割合（図表 - 24）	児童生徒自身の実感 81.1% （うち「今すぐに」は45.6%）

③「自分のアイデアを表現し、他人とコミュニケーションしたい」という意欲の増進

「自分のアイデアを表現し、他人とコミュニケーションしたいという意欲の増進」の効果を測る指標について見ると、当該事業をきっかけに、自分も文化・芸術活動を他の人に見てもらいたいと思った児童生徒が4割程度、同じく、自分も他の人と一緒に協力し合って文化・

芸術活動を行ってみたいと思った児童生徒が 5 割弱であり、アイデア表現やコミュニケーションの意欲増進に対する当該事業の効果は、一定程度確認されたと考えられる。

一方で、実際に、文化・芸術活動を行うようになった児童生徒は 2 割強であり、当該事業実施後の期間が短いことの影響もあって、文化・芸術活動の実践に至る効果については、現時点で多くは発現していないが、逆に言えば、この期間で 2 割強という数字は非常に高いとも評価できる（参照：4-5(3)今後への活かし方と課題 P-53,54）。

なお、自由回答の中では、児童生徒が事前に練習する過程で恥ずかしさを乗り越えて、鑑賞当日に人前で発表することを楽しいと感じたり、クラスや仲間と一緒に協力して取り組むことで一体感を覚えたり、役者の一所懸命な取組や表現方法に感心したりするなどの効果も示されている。

図表Ⅱ－35 「自分のアイデアを表現し、他人とコミュニケーションしたい」という意欲の増進に関する代表的な評価指標と指標データ

評価指標	指標データ
文化・芸術活動を他人に見てもらいたいと思うようになった児童生徒の割合(図表 - 26)	児童生徒自身の実感 40.2% (うち「強くそう思う」は6.6%)
他人と一緒に協力し合って文化・芸術活動をやってみたいと思うようになった児童生徒の割合(図表 - 26)	児童生徒自身の実感 47.5% (うち「強くそう思う」は10.9%)
実際に文化・芸術活動を行うようになった児童生徒の割合(図表 - 27)	児童生徒自身の実感 21.4%

④「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮

「創造性、コミュニケーション能力、感性の発揮」の効果を測る指標について見ると、当該事業をきっかけに、地域や学校の行事に進んで参加するようになった児童生徒が 3 割程度、同じく、自分の考えを進んで話すようになった児童生徒が 2 割弱、他人の考えや意見を良く聞くようになった児童生徒が 2 割程度であり、創造性やコミュニケーション能力の発揮の萌芽をもたらす効果はある程度確認されたが、当該事業からの経過期間が短いこともあって、少なくとも調査時点では、の関心やの意欲・行動に比べると、大きな変化には至っていないと考えられる。但し、1 回の事業で 2 割程度という数字は非常に高いとも評価できる（参照：4-5(3)今後への活かし方と課題 P-53,54）。

一方で、豊かな心や感性、創造性を育てるきっかけになると思う保護者、教職員が 8 割弱であり、現時点で効果が発現していないとしても、今後の発現に向けたきっかけとしての効果に対する評価は非常に高いものと考えられる。

なお、自由回答の中では、文化祭での演劇や合唱に児童生徒が積極的に取り組んだり、盛り上がるようになったり、地域の伝統的行事に積極的に参加するようになるなどの効果も示された。

図表Ⅱ－36 「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮に関する代表的な評価指標と指標データ

評価指標	指標データ
行事に進んで参加するようになった児童生徒の割合（図表 - 28）	児童生徒自身の実感 31.0% （うち「進んで参加」は5.1%）
自分の考えを進んで話すようになった児童生徒の割合（図表 - 29）	保護者の実感 15.1% （うち「よく話す」は2.5%） 教職員の実感 19.6% （うち「大半の児童生徒」は2.1%）
他人の考えや意見を良く聞くようになった児童生徒の割合（図表 - 29）	保護者の実感 20.9% （うち「とてもよく聞く」は1.9%） 教職員の実感 23.2% （うち「大半の児童生徒」は2.1%）
豊かな心や感性、創造性を育てるきっかけになったと思う保護者・教職員の割合（図表 - 30）	保護者の実感 78.0% （うち「強くそう思う」は32.1%） 教職員の実感 78.2% （うち「強くそう思う」は47.4%）

⑤総括

当該事業の体験をきっかけにして、「体験機会 関心 意欲・行動 感性・能力」というプロセスにおける当該事業の効果発現状況を総括すると、『芸術文化に触れる機会の増加』は一定程度の効果を示し、『関心の向上』に対しては非常に大きな効果が発現している。以降のプロセスも、事前に想定していた以上の効果の発現状況であるが、関心の向上プロセスに比べれば、『意欲・行動の増進』は若干低めの効果の発現状況で、『感性・能力の発揮』はさらに低くなる傾向が見られる。

つまり、当該事業の目的である「子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うこと」や達成目標「豊かな心や感性を育む」、アウトカム目標「創造性やコミュニケーション能力を育む」の実現に向けては、当該事業での1回の鑑賞で高まった関心を意欲・行動の増進、さらには、感性・能力の発揮につなげるような継続的な取組、あるいは、他のアプローチが求められると言える。

但し、繰り返しになるが、1回のみでの鑑賞の体験としては、意欲・行動の増進や感性・能力の発揮のプロセスについても、十分な効果の発現状況とみなすこともできる点には留意する必要がある。実際に、自由回答においては、保護者や教職員の多くから、「1回の体験で目に見える変化は期待できない（期待しない方がよい）ものの、将来的には必ず役に立つ」「全員でなくとも、一部の児童生徒にとって好影響が見られれば意義はある」という指摘が数多く示された。

図表Ⅱ－37 効果発現プロセス別の評価結果

①芸術文化に触れる機会の増加	一定程度の効果の発現(現状からの増加分としては高い効果の発現)
▼	
②芸術文化に対する関心の向上	非常に高い効果の発現
▼	
③「自分のアイデアを表現し、他人とコミュニケーションしたい」という意欲の増進	高い効果の発現(1回の事業であること及び事業後の経過期間の短さを考慮すると非常に高い効果)
▼	
④「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮	一定程度の効果の発現(1回の事業としての効果及び将来的なきっかけとしての効果は非常に高い)

なお、当該事業の政策目標には掲げられていないが、自由回答の中で示された効果として、芸術文化団体の方々の情熱やプロ意識に触れることで、児童生徒の将来のキャリアや生き方を意識したり、見つめなおすきっかけになったこと、日本の伝統文化に触れて詳しく知ることによって日本人としての誇りを感じるようになったこと、集中力が高まったことなどが挙げられている。

また、当該事業を実施することの意義として、「家庭では、保護者や本人の好みに偏った体験しかできなかったり、経済的な理由で体験できないことがあるため、学校で幅広い体験することは非常に重要」「地方部の場合に、本物の舞台芸術に触れる場が非常に限られていることから、国の事業として実施することは非常に重要」という指摘も多数示された。

さらに、当該事業の改善すべき点としては、「ワークショップで説明が長いと、児童生徒の関心が離れてしまうこと」「毎年1回継続したり、前後の授業で関連性を持った学習をすること」などが挙げられた。

4-5 評価指標及び開発手法としての妥当性

3-2 で検討した評価指標の体系、及び、試行的に行った開発手法としてのアンケート調査の妥当性について、アンケート調査の実施及び集計結果を踏まえて整理した。

(1) 評価指標の妥当性について

①機会の増加を示す指標

3章で検討した機会の増加を示す以下の指標のうち、1)と3)について試行的開発の対象とした。いずれも、当該事業の効果の発現状況を把握することができ、適切な指標であることが確認できたと考えられる。

当該事業の効果を計測する上で、1),2),3)いずれも必要性は高く、3)は特に高い。また、得られる回答の信頼性に関しては、1),2)は客観的な事実に関する指標であるため非常に高く、3)は事実に基づく主観的な判断が加わるため、判断基準が回答者によって若干ぶれる可能性はある。

図表Ⅱ－38 芸術文化に触れる機会の増加に関する評価指標の必要性・重要性

指標	必要性	信頼性
1)当該事業対象に選定されるまで同様の取り組みが無かった学校の割合(-1)		
2)1年の間に芸術文化を体験した児童生徒数のうち、当該事業だけで体験した割合(-1)		
3)当該事業を体験したことにより、その後、芸術文化に触れる機会が増えた児童生徒の割合(-1)		

②関心の向上を示す指標

3章で検討した関心の向上を示す以下の指標全てについて試行的開発の対象とした。いずれも、当該事業の効果の発現状況を把握することができ、適切な指標であることが確認できたと考えられる。

当該事業の効果を計測する上で、2),5),7)は不可欠な指標、4),6)は不可欠ではないが把握できれば良い指標、1),3)は必ずしも必要ではない指標である。また、得られる回答の信頼性に関しては、1)～7)いずれも気持ちに関する主観的な判断であるが、当該事業との関係性や判断基準が比較的明確であり、信頼性の高いものになると推察される。

図表Ⅱ－39 芸術文化に対する関心の向上に関する評価指標の必要性・重要性

指標	必要性	信頼性
1)ワークショップで聞いたことが理解できた児童生徒の割合(-1)		
2)同様の事業を再度受けたいと感じた児童生徒の割合(-2)		
3)当該事業でいつもの授業とは異なる発見や楽しさを発見した児童生徒の割合(-3)		
4)当該事業を楽しかったと感じた児童生徒の割合(-4, 5)		

5)当該事業を通じて芸術文化への興味が高まった児童生徒の割合(-6)		
6)興味の高まりの程度(芸術文化の楽しみ方[受動的か、能動的か]を聞くことを通じて捕捉)(-6)		
7)当該事業を通じて、芸術文化についてこれから習ったり身につけたりしたいと思うものができたと考える児童生徒の割合(-6)		

③意欲・行動の増進を示す指標

3章で検討した意欲の増進を示す以下の指標のうち、2),3),4)について試行的開発の対象とした。3章での指標の検討の際には、当該事業による1回の体験のみで、これらの指標に意欲の増進の効果が現れないことへの懸念もあったが、アンケート調査での回答結果からすると、当該事業の効果の発現状況を把握することができ、適切な指標であることが確認できたと考えられる。1)は試行的開発の対象外としたが、2)に近い内容の指標であり、2)のアンケート調査での回答結果を踏まえると、適切な指標となることが推定される。5)については、2)の結果としてコミュニケーションの頻度が増える面が強く、設問文の内容が難しいため、試行的開発の対象外としたが、子どものコミュニケーション意欲を測る設問としては妥当なものだと考えられる。

当該事業の効果を計測する上で、1) < 又は 2) > ,4)は不可欠な指標、3),5)は不可欠ではないが把握できれば良い指標である。また、得られる回答の信頼性に関しては、1)~3)は気持ちに関する主観的な判断であり、判断基準が回答者によってぶれる可能性はある。4)については、客観的な事実に関する指標であるため非常に高く、5)については、事実に基づく主観的な判断が加わるため、判断基準が回答者によって若干ぶれる可能性はある。

図表Ⅱ－40 「自分のアイデアを表現し、他人とコミュニケーションしたい」という意欲・行動の増進に関する評価指標の必要性・重要性

指標	必要性	信頼性
1) 当該事業を経験して、頭の中で考えていることを、作品などの創作を通じて、他の人に表現したいと思うようになった児童生徒の割合(-1)		
2) 当該事業を経験して、頭の中で考えていることを、(表現するだけでなく、)他の人に見てもらったり聞いてもらったりしたいと思うようになった児童生徒の割合(-2)		
3) 当該事業を経験して、自分も、他の人と一緒になって、なにか作品を作り上げたいと思うようになった児童生徒の割合(-3)		
4) 当該事業を経験したあと、芸術文化に関して、自分から進んで習ったり学んだりし始めたことのある児童生徒の割合(-1,2)		
5) 当該事業を経験したあと、家や学校で、友達や先生とよくコミュニケーションをとるようになった児童生徒の割合(-3)		

④創造性・コミュニケーション能力・感性の発揮を示す指標

3章で検討した創造性・コミュニケーション能力・感性の発揮を示す以下の指標全てについて試行的開発の対象とした。3章での指標の検討の際には、当該事業による1回の体験の効果として捉えるのは難しいのではないかと懸念もあったが、アンケート調査での回答結果からすると、当該事業としての効果の発現状況を把握可能であり、適切な指標であることが確認できたと考える。また、感性や能力の変化を直接的に測る指標を代替する指標として、「子どもの感性や能力の変化に対して、当該事業がきっかけになると思う割合」は効果的であったことも確認された。

当該事業の効果を計測する上で、1)は不可欠な指標、2),3)は不可欠ではないが把握できれば良い指標である。また、得られる回答の信頼性に関しては、1)~3)は、事実に基づく主観的な判断が加わるため、判断基準が回答者によって若干ぶれる可能性はある。

図表Ⅱ－41 「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮に関する評価指標の必要性・重要性

指標	必要性	信頼性
1)当該事業を経験したあと、学校や家庭で、自分の考えていることを自分から進んで話すようになった児童生徒の割合(-1, 2)		
2)当該事業を経験したあと、家の近所や学校でのイベント(お祭りや運動会など)に、自分から進んで参加するようになった児童生徒の割合(-3)		
3)当該事業を経験したあと、学校や家庭で、他の人の考えや意見をじっくりと聴くようになった児童生徒の割合(-3)		

(2) 開発手法(アンケート調査)の妥当性について

①実施方法

明確な基準を把握できたわけではないが、当該事業の効果を計測するためには、当該事業やその影響に関する記憶の観点から、事業実施後3ヶ月以内がぎりぎりの時期だと考えられる。一方で、意欲の増進や創造性・コミュニケーション能力・感性の発揮の効果を計測するためには、一定期間経過後である必要がある。よって、全ての指標を1回のアンケート調査で把握することを前提とすれば、事業から1~2ヵ月後に実施するのが妥当ではないかと考えられる。他方、想定される効果の発現時期によって、指標を分類し、2回に分けてアンケート調査を実施するという方法も考えられる。但し、学校の負担は大きくなる。保護者に対するアンケート調査が年々増えており、回答の負担感などの観点からも、必ずしも保護者を対象とせずとも、児童生徒と教職員から、当該事業の効果を計測可能であると考えられる。一方で、児童生徒や教職員は、効果を過大評価する傾向が出る可能性が考えられるため、より客観的、冷静に効果を評価可能な保護者を調査対象にすることのメリットもある。したがって、当該事業の評価を行う際の条件(目的、コスト、期間、時期、回答者への負担等)を踏まえて、保護者を対象にするかどうかの判断をしたり、一部の学校のみを保護者を対象にするなどが考えられる。

②設問

機会の増加を示す指標を把握する設問としては、いずれも、当該事業の効果の発現状況を把握可能であり、適切な設問であることが確認できたと考える。

関心の向上を示す指標を把握する設問としては、多くが、当該事業の効果の発現状況を把握可能であり、適切な設問であることが確認できたと考える。その中で、教職員に対する「児童生徒から「もう一度受けてみたい」という反応がありましたか」という設問については、児童生徒の回答結果との比較の必要性があまり高くないこと、及び「児童生徒にもう一度受けさせたいと思いますか」という設問があることから、設問の必要性が低いものと考えられる。

意欲の増進を示す指標を把握する設問としては、多くが、当該事業の効果の発現状況を把握可能であり、適切な設問であることが確認できたと考える。その中で、「当該事業に関する会話をしたか」という設問については、コミュニケーション能力やその意欲とは直接の関係性が低く、設問としての必要性は低いものと考えられる。

創造性・コミュニケーション能力・感性の発揮を示す指標を把握する設問としては、多くが、当該事業の効果の発現状況を把握可能であり、適切な設問であることが確認できたと考える。

③回答の信頼度

アンケート調査結果の全般的な傾向として、実施前に想定していたよりも高めの効果（前向きな回答）が得られており、回答結果の信頼性については考慮しておく必要がある。例えば、実際よりも高めに効果が出ているとした場合に、想定される要因としては、以下のようなものが想定される。

設問文に「当該事業を体験したことによって」という記述があっても、回答者の読み飛ばしや認識の間違いにより、当該事業以外の要素の影響が回答に現れている。

調査対象となった学校の多くが、過去3カ年に同種の事業を実施しているため、児童生徒の意識が他の学校より高く、その影響が回答に現れている。

当該事業に前向きに取り組んでいる学校が調査対象として抽出され、その影響が回答に現れている。 など

(3) 今後への活かし方と課題

本調査において妥当性の確認されたもののうち、必要最小限の指標を、次年度以降の当該事業の実施校で把握し、文化庁に報告する仕組みとして活用することが考えられる。具体的には、以下の指標が候補となる。

図表Ⅱ－42 次年度以降の継続的な活用が考えられる指標の候補一覧

芸術文化に触れる機会の増加	当該事業体験後に文化・芸術に触れる機会が増えた児童生徒の割合
芸術文化に対する関心の向上	当該事業と同様の授業をまた受けたいと思った児童生徒・また受けさせたいと思った教職員の割合 当該事業をきっかけに、音楽・図画工作・美術の授業

	への関心が高まった児童生徒の割合 当該事業をきっかけに、文化・芸術活動への興味が高まった児童生徒の割合 又は、習ったり身につけたりしたいと思う文化・芸術活動ができた児童生徒の割合
自己表現と他者との関わりに対する意欲の増進	当該事業をきっかけに、実際に文化・芸術活動を行うようになった児童生徒の割合 当該事業をきっかけに、自分の文化・芸術活動を他人に見てもらいたいと思うようになった児童生徒の割合
「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮	自分の考えを進んで話すようになった児童生徒の割合 豊かな心や感性、創造性を育てるきっかけになったと思う教職員の割合

また、当該事業での1回の体験のみで、行動及び能力の変化につながる効果は非常に限定的だと考えられる中で、変化率が低いデータをどのように評価するかは、非常に難しい課題である。例えば、今回のアンケート調査において、2割強の児童生徒が「当該事業をきっかけに文化・芸術を行うようになった」と回答し、また、2割弱の保護者が「当該事業後に子どもが自分の考えを進んで話すようになった」と回答している。4-4(3)では、当該事業が1回だけの体験であることや事業からの経過期間が短いことなども考慮して、高い効果あるいは一定の効果であると評価したが、これらの結果を「非常に限られた効果」とみなすか、「高い効果」とみなすかの判断基準に現時点で明確なものはない。十分な根拠にはならないが、以下に、こうした判断を補足する考え方について整理する。

まず、体験に伴う意識や行動の変化に関する類似の調査事例としては、次の表のようなものが挙げられる。いずれの事例も、大まかな傾向として『体験型の学習により、知識や意識・関心の変化が確認される場合は多いものの、実際の行動にはあまり大きな変化が確認されない』と言える。これらの類似調査事例とは、事業内容やアンケート調査項目、実施時期等が異なっており、単純な比較はできないものの、類似調査事例の傾向を踏まえると、当該事業によって、2割強の児童生徒が当該事業をきっかけに文化・芸術を行うようになったり、2割弱が当該事業後に自分の考えを進んで話すようになったりしたことは、比較的大きな効果とみなすことができるものと考えられる。

図表Ⅱ－43 体験に伴う意識や行動の変化に関する調査事例

調査の名称等	結果の概要
平成18年度「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」講座型学習活動・教員研修のアンケート調査票及び実施報告書に係る集計・分析業務報告書 / 三菱総合研究所 / 平成19年3月	・平成18年度に独立行政法人科学技術振興機構が支援した「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」講座型学習活動に参加した中学生に対する事後アンケート調査では、「理科・数学について知りたいことを自分で調べようと思うようになった割合44.1%」「研究者を身近に感じるようになった割合53.5%」「科学技術や理科・数学に対する興味・関心

	<p>が増加した割合 63.8%」で、<u>関心や意欲の高まりが見られた。</u></p>
<p>平成 18 年度スーパーサイエンスハイスクール意識調査報告書 / 野村総合研究所 / 平成 19 年 3 月</p>	<p>・文部科学省が実施するスーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業に参加した高校生に対する事後アンケート調査では、「科学技術に関する<u>興味・関心が向上した割合 70.0%</u>」「SSH への参加によって<u>志望分野が変わった割合 7.6%</u>」であった。</p>
<p>地域組織主導の「勤労体験学習」の実践と効果 (2) / 宮地孝宣 / 国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要, 第 4 号, 2004 年</p>	<p>・川崎市臨港中学校区地域教育会議が実施した夏休み体験学習 (福祉施設でのボランティアや商店等での勤労体験、町内会でのみこし担ぎ等) に参加した生徒への事前事後アンケート調査では、事前に期待していた「<u>地域社会に対する積極性及び協働志向な態度の増加</u>」という結果は見られなかった。</p>
<p>津波に関する体験的学習がもたらす災害意識の変化 / 東北大学大学院・安倍洋、今村文彦、牛山素行 / 2003 年</p>	<p>・仙台市科学館で実施される実験学習 (実験や映像を通して地震や津波について理解を深める体験的な学習) に参加した中学生への事前事後アンケート調査では、<u>知識や危機感が高まったものの、自然災害に対する備えには大きな変化が見られなかった。</u></p>
<p>中学生の「社会体験学習」の効果に関する研究 / 心の教育総合センター・高校教育研修課指導主事・小林宏 / 1999 年</p>	<p>・「トライやる・ウィーク」体験者の事前・事後得点の分析の結果、「働くことの意義や価値、大変さ (勤労観)」への理解が深まったり、「協働の大切さや自分が支えられていること (社会的協調)」の認識が高まったり、「家族の大切さやありがたさ」の認知度が高まったりという<u>心理面での変化が明らかになった。</u></p>

また、当該事業実施前の時点で、児童生徒の 16.5% が文化・芸術によく触れる機会があり、45.2% がたまに触れる機会があったのに対して、当該事業の実施後、児童生徒の 21.4% が文化・芸術を習ったり取り組んだりするようになったと回答している (いずれの割合も児童生徒本人の回答率)。つまり、文化・芸術に単に『触れている』児童生徒が 6 割であった状態から、当該事業による 1 回の体験によって、その 3 分の 1 の割合に相当する児童生徒が新たに『行う』ようになったことになる。文化・芸術を新たに習ったり取り組んだりすることは、通常、短期間で多くの児童生徒に広がるものではないことを考慮すれば、当該事業によるこの変化 (2 割程度の児童生徒が取り組み) は、大きな効果とみなすことができるものと考えられる。

こうした考え方に基づいて、当該事業による意欲・行動や感性・能力の変化を「高い効果」あるいは「一定程度の効果」とする判断の妥当性には、大きな問題はないものと考えられる。但し、文部科学省等が実施する体験型の事業について、体験から一定期間経過後の行動や能力の変容を把握する調査を継続的に実施して評価データの蓄積を図ることや、児童心理学等の専門的な知見から行動や能力の変容の効果分析を行うことなど、当該事業の効果を判断する際の基準に関するより詳細な検討については、今後の課題と言える。

5. 類似事業への応用

本調査研究では、対象政策である「本物の舞台芸術体験事業」の評価指標開発手法を、類似事業・施策に応用することも目的の一つとしている。対象政策の特徴と類似する事業・施策におけるロジックツリーや評価指標の検討に適用可能な視点を以下に整理した。

5-1 評価の方法の応用

「本物の舞台芸術体験事業」においては、ロジックツリーによる効果発現の把握と、児童生徒本人、教諭、保護者へのアンケート調査を用いた評価を行なった。その理由を整理すると、以下のようになる。

ロジックツリーによる効果発現の把握が有効である理由

- ・ 「体験型学習」は、効果の発現に長期間を要する
- ・ 「体験型学習」自体のみで十分な効果が現れるものではなく、それを契機として、その他の様々な外的環境や周囲の人たちとの関わりの中で、多様な価値（アウトカム）の相互作用・複合化を通じて目指す効果の発現が達成される

児童生徒本人、教諭、保護者へのアンケート調査を用いた評価が有効である理由

- ・ 「体験型学習」による児童生徒への効果は、人間の内面に係るものが多い（すなわち、顕示的なデータとして、外部から観測しやすい形で現れない）
- ・ 「体験型学習」による児童生徒への効果は、学校生活のみならず、家庭や地域等における日常生活にも及ぶ（児童生徒のみに対するアンケート調査では、全ての効果を網羅的に観測できない）

上記に挙げた事項と同様の特徴を有する事業については、それぞれロジックツリー、本検討における評価事例を参考に、児童生徒本人、教諭、保護者へのアンケート調査を用いることが有効である。

5-2 評価の視点の応用

「本物の舞台芸術体験事業」においては、『体験機会、関心、意欲・行動、感性・能力という変化プロセス』に基づき、芸術文化に触れる機会の増加、芸術文化に関する関心の向上、自己表現と他者との関わりに対する欲求、「創造性」「コミュニケーション能力」「感性」の発揮、という4段階の効果発現を設定し、評価を行なった。類似する他の事業においても、このような効果発現プロセスの段階に沿った指標の体系化、開発に取り組む必要がある。

なお、は意識レベルの効果であり、は行動や意識、能力面で発現するレベルの効果である。は、“文化芸術”という対象を、それぞれの体験学習型事業に相応しい対象に変更すれば、汎用的に適用可能な観点と考えられる。一方、に関しては、各々の事業の特徴や最終目標にしたがって変更することが必要な観点である。また、数少ない体験だけで、行動や感性、能力面で効果が発現することは稀であると考えられるため、行動や感性、能力面の向上自体を直接計測するものではなく、それらの兆しを捉える指標や意識変容を捉える指標が必要であると考えられる。

6. 「体験型学習」の効果測定マニュアルの作成

以上、「本物の舞台芸術体験事業」をケースとして実施した評価試行を一般化し、「体験型学習」の効果測定マニュアルを作成した。

以下のマニュアルは、効果測定の全体像を把握しやすくすることを目的とし、作業全体の流れを明確化することに注力した。各作業の詳細なイメージについては、上述における「本物の舞台芸術体験事業」の評価例を、各々の事業に読み替え、参考とされたい。

6-1 ロジックツリーを用いた評価の必要性

「体験型学習」の効果については、人間の内面に係るものや、また効果の発現に長期間を要するものなどが主となるため、それらの効果測定に関しては、例えば物理的なインフラ整備事業のような定量的な評価の実施は困難である。「体験型学習」実施の最上位目標の定量指標を直接定義し、“定量的に”把握することができれば最も好ましいが、現実的には、その評価は“質的に”行う必要がある。

また、「体験型学習」により期待される効果は、「体験型学習」を契機として、その後様々な外的環境や周囲の人たちとの関わりの中で、多様な価値（アウトカム）の相互作用・複合化を通じて達成される点にも留意が必要である。

以上より、「体験型学習」の“質的な”評価においては、事業が目指す最上位目標と、その最上位目標達成に至る効果波及過程の把握が必須となる。事業の最上位目標達成の過程で、事業に関係する様々な主体に帰着する価値（アウトカム）を、一つずつ位置付けて評価する方が、評価結果、ひいては事業の意義に対する理解度が高くなる。

この認識に基づき、本検討では、まず、事業の最上位目標達成の過程で、中間的に発現する価値（アウトカム）の構造化・可視化を行い、その上で、それら価値（アウトカム）を適切に評価できる指標を検討する。

6-2 評価の流れ

施策の最終目標を確実に達成するために、その達成に至るアウトカム（効果／価値）の連鎖を明確化し、これらアウトカムの現況を示す指標、すなわちアウトカム指標を参照することにより、施策全体の質の確保を目指す。この指標設定は、以下の手順に従い行う。

(1) 施策メニューの整理

評価しようとする事業に関する公式な文書等から、施策全体を構成する施策メニューを整理する。

(2) 施策の目指す最終目標の整理

評価しようとする施策に関する公式な文書等から、施策の最終目標として設定されている記述を整理する。

また、目標達成がいくつかの段階に分けられる場合、適宜「中間目標」を設定するなどして、段階的な目標の設定を検討する。

(3) アウトカムに係るキーワード・キーフレーズの抽出

評価しようとする事業に関する公式な文書等から、アウトカム（事業による便益を受ける者に帰着する効果や価値）に係ると考えられるキーワード、キーフレーズ等をリストアップする。

(4) ロジックツリーの作成

上で得た施策メニュー、施策の目指す中間目標・最上位目標、アウトカムを基に、ロジックツリーを作成する。施策メニューを始点、事業の中間目標を中間点、最上位目標を終点とし、始点から中間点、始点から終点に至る目標の発現過程を、アウトカムを用いて連結する。この作業においては、関係者との協議を経て実施、精査することが望ましい。このようなロジックツリーの作成により、評価しようとする事業が目指すストーリーを明確にすることができる。

1) 検討素材の準備

ロジックツリーの作成に当たり、次に示す素材を予め準備する。

① 施策メニュー

事業計画書等を基に、施策全体を構成する各施策メニューを整理する。

② 施策全体の最上位目標

公式文書等に記載されている理念、意義等をもとに、施策全体の最上位目標を整理する。

③ 効果（アウトカム）

以上で整理した施策メニューと、施策全体の最上位目標の間を連鎖する効果（アウトカム）を検討し、これらの因果関係を構造化・可視化する。

アウトカムの検討に当たっては、既存の書類、書物から、アウトカムに係ると考えられるキーワード、キーフレーズ、コンセプト等を抽出し、検討のたたき台とする。

2) ロジックツリーの作成

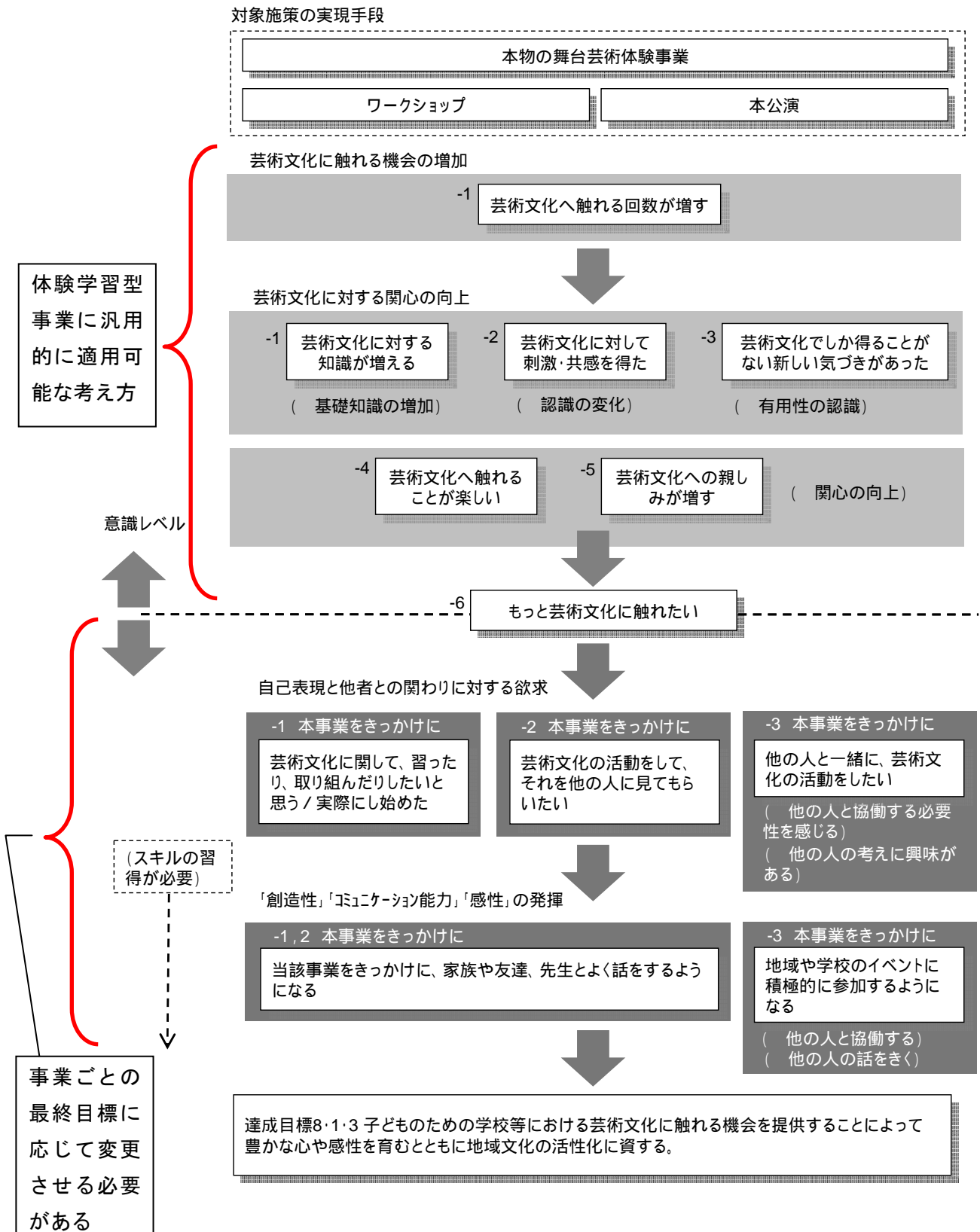
1)で準備したアウトカムに関するキーワードの抽出を用い、施策関係者を交えたブレインストーミング等による整理・体系化、有識者へのインタビューによる検証等を実施する。これらの作業の結果をもとに、施策メニューによるアウトカムの相互関係と施策全体の目標の因果関係を構造化し、ロジックツリーとして取りまとめる。

以下に、例として、「本物の舞台芸術体験事業」をケースとして作成したロジックツリーを示す。有識者や学校関係者のインタビューを通じた作成の中で、当該事業の効果の発現には、主に児童生徒における意識レベルでの効果にあたる「芸術文化に触れる機会の増加」、「芸術文化に関する関心の向上」、行動変容レベルでの効果にあたる「自己表現と他者との関わりに対する欲求」、「創造性」、「コミュニケーション能力」、「感性」の発揮」という4段階が存在するという仮説を得た。

意識レベルの効果（アウトカム）は、対象（本検討においては“芸術文化”）を変更すれば、

どのような体験学習型事業にも汎用的に適用可能な観点であると考えられる。一方、行動レベルの効果（アウトカム）は、各々の事業が最終的に達成を目指す目標に応じて変更させる必要がある。

図表Ⅱ－44 ロジックツリー例（「本物の舞台芸術体験事業」をケースとして）



3) アウトカム指標の設定

2) で構造化したアウトカムの大きさを計測するための具体的な指標(アウトカム指標)を検討・設定する。この検討において、必要に応じて、ロジックツリーへのフィードバック、改訂を行なう。

(5) 重点アウトカムの選別

以上によって作成されたロジックツリーには、考え得るアウトカムが全てリストアップされているはずである。この中から、特に優先して評価すべき重点アウトカムを選別するため、「文部科学省の貢献が大きいアウトカムの選別(他省庁の政策、景気等の社会環境といった外部要因の影響を大きく受けるアウトカムの排除)」、また後にそれらを定量化することを念頭に「定量的に評価可能であるアウトカムの選別」を実施する。

(6) 重点アウトカム指標の収集・計測

既存の調査・資料等から、以上で選別した重点アウトカムに関する指標を収集する。この際、「アウトカム指標名」、「活用可能性のある既存データ」、「(既存データにおける)母集団」、「出典・年次」等を同時に一覧表等で整理しておくこと、後々参照しやすくなる。

ただし、体験型学習については、既存データがほとんど存在しないことが考えられるため、指標の多くは、本検討で行ったように、各事業に応じたアンケート調査の実施により直接的に収集する。この際、体験型学習による効果は、児童生徒の学校生活のみならず、学校の外、すなわち家庭や地域における日常生活にも及ぶと考えられるため、アンケート調査は、児童生徒、教諭のみならず、保護者も対象に実施することが望ましい。また、アンケート項目を、体験型学習そのものに関するもの(体験型学習は楽しかったか、等)と、体験型学習を通じてもたらさる学校生活・日常生活における変化に関するもの(体験型学習を通じて芸術文化への興味が高まったか、等)とに明確に区分して設計しておくこと、どの項目を、どのアンケート対象者に、どのように問いかければよいか分かりやすくなる。

なお、教諭、保護者等の大人にもアンケート調査を実施することは、児童生徒の回答における主観バイアス(実際に感じたよりも、意図的に良く/悪く答えるなどの回答行動により生じる、評価値の誤差)を補完する役割ももつ。

また、調査時期については、まだ記憶の新しい、体験型学習実施の2ヶ月後程度までに実施することが理想的である。児童生徒の自己表現や他者との関わり方等に関する調査項目がある場合は、その効果が観察しやすい、運動会や文化祭、地域のお祭りなどイベントの直後にアンケートを実施できれば、なお望ましい。

(7) 施策の促進・阻害要因の把握

アウトカム指標の経年比較、諸外国との比較等により、施策全体の質の向上(最終目標の達成)における「促進・阻害要因」を検討する。質的な側面を取り扱うため、「促進・阻害要因」の客観的な抽出基準を示すことは困難であるが、まずは、ロジックツリー上において、重点アウトカムのうち、明らかに低いアウトカム指標値が示される箇所の洗い出しが必要である。

なお、アウトカム指標計測に係る母集団が小さかったり、偏りが存在したりする場合は、

経年変化、諸外国との比較等の際に十分留意することが必要である。

以上の作業は、施策の促進・阻害要因を解消し、施策の質改善に資する方策（追加的な施策メニュー等）の検討に役立てることができる。

(実施種目)に関するアンケート

【はじめに】

この調査は、 月 日と 月 日の授業で行なった、 (月 日は事前のワークショップ(説明会) 月 日は、) による) について、授業を受けたみなさんがどのように感じ、みなさんのこれからの成長にどのように役立つかを調べるためのものです。

【記入上の注意】

1. 次のページからの質問にしたがって、 (実施した種目) について、あなたが感じたこと、思ったことを教えてください。各質問について、答えとしてあてはまるものの番号に、 をつけてください。

回答例： ①とても楽しみになった

また、カッコ [] がある場合には、その中に思ったことを自由に書いてください。

2. お名前・学校名を書く必要はありません。
3. なお、このアンケートでは、「文化・芸術」という言葉が多く出てきます。そこで、このアンケートで言う「文化・芸術」とは、以下のようなものであると考えて、教えてください

文化・芸術とは、例えば・・・

○音楽

ピアノ、バイオリン、フルート、オーケストラによる演奏、オペラ、合唱、童謡など

○演劇

現代劇、児童劇、ミュージカル、歌舞伎、能、狂言、人形浄瑠璃など

○踊り

ダンス、バレエ、日本舞踊、民俗舞踊 (阿波踊りのような古くから地域に伝わるお祭りの時の踊り) など

○美術

絵画、工作、彫刻、版画、写真など

それでは、アンケートの始まりです。まず、あなたの性別に をつけて下さい。

性別	男	女
----	---	---

【この質問には全員答えてください。】

質問1 ○○（種目）は楽しかったですか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

- ① とても楽しかった
- ② まあまあ楽しかった
- ③ あまり楽しくなかった

【この質問には全員答えてください。】

質問2 ○○（種目）の授業の時間は、いつもの授業とはちがう楽しさがありましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

- ① おおいにあった
- ② 少しあった
- ③ なかった

【この質問には全員答えてください。】

質問3 ○○（種目）のワークショップ（説明会）で聞いたことは、どのくらい理解できましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

- ① とてもよく理解できた
- ② 少し理解できた
- ③ ほとんど理解できなかった

【この質問には全員答えてください。】

質問4 ワークショップ（説明会）があったことで、そのあとの○○（種目）の体験授業が楽しみになりましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

- ① とても楽しみになった
- ② 少し楽しみになった
- ③ 楽しみにはならなかった

【この質問には全員答えてください。】

質問5 もう一度、○○（種目）のような授業を受けたいと思いますか。そのように思う理由とともに、教えてください。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

- ① ぜひ受けたい { そう思う理由：}
- ② チャンスがあれば受けたい { そう思う理由：}
- ③ 受けたいと思わない { そう思う理由：}

【この質問には全員答えてください。】

質問6 ○○（種別）の授業を受ける前のころを思い出してください。そのころ、あなたは、文化・芸術（音楽、演劇、踊り、美術など）を、ふだんの授業以外に、どのくらい見たり聞いたりしていましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

注意：（文化・芸術をあなた自身が「すること（実際に歌を歌ったり、楽器をひいたり、演技をしたりすること）」については、あとの質問で聞きます。ここでは、「見たり聞いたりして楽しむ」ことだけについてお聞かせ下さい。）

- ① よく見たり聞いたりしていた } →質問7へ進んでください。
② たまに見たり聞いたりしていた }
③ 見たり聞いたりしていなかった } →質問8へ進んでください。

【質問6で「①よく見たり聞いたりしていた」「②たまに見たり聞いたりしていた」と答えた人への質問です。】

質問7 何を、見たり聞いたりしていましたか。あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

- ① 音楽（ピアノ、バイオリン、フルート、オーケストラによる演奏、オペラ、合唱、童謡など）
- ② 演劇（現代劇、児童劇、ミュージカル、歌舞伎、能、狂言、人形浄瑠璃など）
- ③ 踊り（ダンス、パレエ、日本舞踊、民俗舞踊（阿波踊りのような古くから地域に伝わるお祭りの時の踊り）など）
- ④ 美術（絵画、工作、彫刻、版画、写真など）
- ⑤ 歴史（歴史についての本を読んだり、テレビを見たりする）
- ⑥ その他[]

【この質問には全員答えてください。】

質問8 ○○（種目）を体験したことによって、文化・芸術（音楽、演劇、踊り、美術など）を見たり聞いたりすることが、前よりも多くなりましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

- ① 見たり聞いたりすることが、かなり多くなった } →質問9へ進んでください。
② 見たり聞いたりすることが、少し多くなった }
③ 見たり聞いたりすることは、前と変わらない } →質問11へ進んでください。
④ 見たり聞いたりすることが、少なくなった }

質問9、10へ

質問11へ

【質問8で「①かなり多くなった」「②少し多くなった」と答えた人への質問です。】

質問9 何を、見たり聞いたりすることが多くなりましたか。あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

- ① 音楽(ピアノ、バイオリン、フルート、オーケストラによる演奏、オペラ、合唱、童謡など)
- ② 演劇(現代劇、児童劇、ミュージカル、歌舞伎、能、狂言、人形浄瑠璃など)
- ③ 踊り(ダンス、バレエ、日本舞踊、民俗舞踊(阿波踊りのような古くから地域に伝わるお祭りの時の踊り)など)
- ④ 美術(絵画、工作、彫刻、版画、写真など)
- ⑤ 歴史(歴史についての本を読んだり、テレビを見たりする)
- ⑥ その他[]

【質問9で「①かなり多くなった」「②少し多くなった」と答えた人への質問です。】

質問10 何を通じて、見たり聞いたりすることが多くなりましたか。あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

- ① コンサートや劇場、美術館に行く
- ② 本を読む
- ③ テレビを見る、ラジオを聞く
- ④ CDを聞く、DVDを見る
- ⑤ インターネットを見る
- ⑥ その他[]

【この質問には全員答えてください。】

質問11 ○○(種目)を体験したことによって、文化・芸術(音楽、演劇、踊り、美術など)に関して、習ったり取り組んだりしたいと思うようになったものがありますか。それぞれについて、あてはまる[]の中に、○をつけてください。

	今すぐにも、 習ったり取り組 んだりしたい	もう少し大きく なったら、習っ たり取り組んだ りしたい	習ったり取り組 んだりしたいと は思わない
① 音楽(ピアノ、バイオリン、フルート、オーケストラによる演奏、オペラ、合唱、童謡など)	[]	[]	[]
② 演劇(現代劇、児童劇、ミュージカル、歌舞伎、能、狂言、人形浄瑠璃など)	[]	[]	[]
③ 踊り(ダンス、バレエ、日本舞踊、民俗舞踊(阿波踊りのような古くから地域に伝わるお祭りの時の踊り)など)	[]	[]	[]
④ 美術(絵画、工作、彫刻、版画、写真など)	[]	[]	[]
⑤ 歴史(博物館や古い建物・遺跡めぐりなど)	[]	[]	[]
⑥ その他 [具体的に:]	[]	[]	[]

【この質問には全員答えてください。】

質問 12 ○○（種目）の授業を受けてから、実際に、自分から進んで習ったり取り組んだりし始めたことはありますか。あてはまるものに、○をつけてください。

質問 13
へ進んで
くださ
い。

- ① ある →以下のうち、あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。
- ①-1 音楽（ピアノ、バイオリン、フルート、オーケストラによる演奏、オペラ、合唱、童謡など）
 - ①-2 演劇（現代劇、児童劇、ミュージカル、歌舞伎、能、狂言、人形浄瑠璃など）
 - ①-3 踊り（ダンス、バレエ、日本舞踊、民俗舞踊（阿波踊りのような古くから地域に伝わるお祭りの時の踊り）など）
 - ①-4 美術（絵画、工作、彫刻、版画、写真など）
 - ①-5 歴史（博物館や古い建物・遺跡めぐりなど）
 - ①-6 その他[]

② 習ったり取り組んだりし始めたことはない →質問 14へ進んでください。

【質問 12で「①ある」と答えた人への質問です。】

質問 13 どこで、習ったり取り組んだりしていますか。あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

- ① 習い事で
- ② 学校のクラブ活動で
- ③ 地域のクラブ活動で（学校以外のクラブ活動で）
- ④ 家族と一緒に
- ⑤ 自分ひとりで
- ⑥ その他[]

【この質問には全員答えてください。】

質問 14 ○○（種目）を体験したことによって、自分も、文化・芸術（音楽、演劇、踊り、美術など）の活動をして、それを他の人に見てもらいたいと思うようになりましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

- ① 強くそう思うようになった
- ② 少しそう思うようになった
- ③ 前と変わらない（もともと、そう思っていた）
- ④ 前と変わらない（もともと、そう思っていなかった）

【この質問には全員答えてください。】

質問 15 ○○（種目）を体験したことによって、自分も、他の人と一緒に、協力しあって、文化・芸術（音楽、演劇、踊り、美術など）の活動をしたいと思うようになりましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

- ① 強くそう思うようになった
- ② 少しそう思うようになった
- ③ 前と変わらない（もともと、そう思っていた）
- ④ 前と変わらない（もともと、そう思っていなかった）

【この質問には全員答えてください。】

質問 16 ○○（種目）の授業を受けてから、昨日までのあいだ、○○（種目）について、家族、学校の友達や先生とどのくらい話をしましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

- ① とてもよく話をした
- ② 少しだけ話をした
- ③ 特に話はしていない

【この質問には全員答えてください。】

質問 17 ○○（種目）を体験したことによって、家の近所や学校でのイベント（近所のお祭りや、学校の文化祭や学芸会、音楽会、運動会など）に、自分から進んで参加するようになりましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

- ① 進んで参加するようになった
- ② 少しは進んで参加するようになった
- ③ 前と変わらない（もともと、よく参加していた）
- ④ 前と変わらない（もともと、参加していなかった）

【この質問には全員答えてください。】

質問 18 ○○(種目)を体験したことによって、「音楽」や「図画工作(※中学は美術)」などの授業に対する興味が高まりましたか。(※体験種目によって「音楽」のみ、「図画工作」のみ、双方、と聞き方を変える)

【音楽の授業に対する興味】
 あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

【図画工作(※中学は美術)の授業に対する興味】
 あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

① とても興味が高まった

① とても興味が高まった

② 少し興味が高まった

② 少し興味が高まった

③ 前と変わらない(もともと興味があった)

③ 前と変わらない(もともと興味があった)

④ 前と変わらない(もともと興味がなかった)

④ 前と変わらない(もともと興味がなかった)

⑤ その他の教科について興味が高まった
 具体的な教科 []

⑤ その他の教科について興味が高まった
 具体的な教科 []

【この質問には全員答えてください。】(※邦楽・邦舞、能楽、人形浄瑠璃、歌舞伎のいずれかを見た人への質問)

質問 19 ○○(種目)を体験したことによって、日本の伝統、文化や歴史に対する興味が高まりましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

{ ① とても興味が高まった } → 質問 20へ進んでください。
 { ② 少し興味が高まった }
 { ③ 前と変わらない(もともと興味があった) } → 質問 21へ進んでください。
 { ④ 前と変わらない(もともと興味がなかった) }

【質問 19 で「① とても興味が高まった」「② 少し興味が高まった」と答えた人への質問です。】

質問 20 具体的には、日本の伝統、文化や歴史に関してどのようなことをするようになりましたか。あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

- ① 日本の伝統、文化や歴史についてのテレビ番組やDVDなどを見るようになった。
- ② 日本の伝統、文化や歴史について扱う本などを読むようになった。
- ③ 日本の伝統、文化や歴史についてインターネットで調べるようになった。
- ④ 日本の伝統、文化や歴史に関するイベント(お祭りや催し物など)に参加するようになった。
- ⑤ 日本の伝統、文化や歴史に関する博物館や文化財(古い建物や遺跡など)に行くようになった。
- ⑥ その他 []

【この質問には全員答えてください。】

質問 21 最後に、〇〇（種目）について、おもしろいと感じたことや、興味を持ったこと、つまらないと感じたことなど、あなたの感想を自由に書いてください。

質問は以上で終わりです。ありがとうございました。

「本物の舞台芸術体験事業」
(実施種目)に関するアンケート調査

アンケート調査協力へのお願い

保護者の皆様におかれましては、日頃より文部科学行政の推進にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

さて、文部科学省では、当省の所管する政策の評価を実施するにあたり、評価の客観性や信頼性の向上において、特に重要となる評価指標の開発を目的とした調査を行っています。

今年度は、文化庁が実施している「本物の舞台芸術体験事業」を題材に、本事業に参加頂いた学校の児童・生徒、教職員、保護者の皆様を対象に、(株)三菱総合研究所に委託し、アンケート調査を実施し、「子どもが芸術文化に親しむようになるという効果を把握するための指標」の開発を行う予定です。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、本アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。

なお、アンケート調査の結果は本調査研究及び、当該事業の継続・拡充を目的とするデータ分析以外には使用しませんので、ご安心ください。

【本件担当・問い合わせ先】

文部科学省 大臣官房政策課評価室 ●●
Tel : 03-5253-●●●●●
E-mail: ●●@mext.go.jp

株式会社 三菱総合研究所
社会システム研究本部・●●
Tel : 03-3277-●●●●●
E-mail: ●●@mri.co.jp
または 人間・生活研究本部・●●
Tel : 03-3277-●●●●●
E-mail: ●●@mri.co.jp

【はじめに】

この調査は、〇〇小（中）学校において、〇〇（●月●日は、事前のワークショップ（説明会）、〇月〇日は、△△による△△）について、授業を受けたお子様がどのように感じ、それが今後の成長にどのように役立つ可能性があるかを調査するためのものです。

【記入上の注意】

1. 次ページからの質問にしたがって、〇〇（※実施した種目）の前後において、あなたがお子様に関して感じたこと、思ったことをお答えください。各質問について、答えとしてあてはまるものの番号に○を付けてください。

回答例： ①とても興味を示していた

また、自由記入欄がある場合には、カッコ [] の中に、ご自由にご記入下さい。

2. 無記名のアンケートですので、氏名・学校名を記入する必要はありません。
3. 回答に際しては、お子様とご相談されても結構です。
4. なお、このアンケートでは、「文化・芸術」という言葉が多く出てきます。そこで、このアンケートで言う「文化・芸術」とは、以下のようなものであると考えて、ご回答ください。

文化・芸術とは、例え

○音楽

ピアノ、バイオリン、フルート、オーケストラによる演奏、オペラ、合唱、童謡など

○演劇

現代劇、児童劇、ミュージカル、歌舞伎、能、狂言、人形浄瑠璃など

○踊り

ダンス、バレエ、日本舞踊、民俗舞踊（阿波踊りのような古くから地域に伝わるお祭りの時の踊り）など

○美術

絵画、工作、彫刻、版画、写真など

それでは、アンケートにお答えください。

【この質問には全員ご回答ください。】

質問1 ○○（種目）を受ける以前のことについてお伺いします。あなたのお子様は、○○（種目）を受ける以前から、文化・芸術（音楽、演劇、踊り、美術など）を見たり聞いたりして楽しんでいましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

注意：文化・芸術活動を、お子様自身が実際に「やること」については、後ほどお伺いします。ここでは、「見たり聞いたりして楽しむ」ことについてお聞かせ下さい。）

- ① よくしていた } → 質問2へ進んでください。
② たまにしていた }
③ していなかった → 質問3へ進んでください。

【質問1で「①よくしていた」「②たまにしていた」と答えた方への質問です。】

質問2 お子様は、何を、見たり聞いたりしていましたか。あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

- ① 音楽（ピアノ、バイオリン、フルート、オーケストラによる演奏、オペラ、合唱、童謡など）
- ② 演劇（現代劇、児童劇、ミュージカル、歌舞伎、能、狂言、人形浄瑠璃など）
- ③ 踊り（ダンス、バレエ、日本舞踊、民俗舞踊（阿波踊りのような古くから地域に伝わるお祭りの時の踊り）など）
- ④ 美術（絵画、工作、彫刻、版画、写真など）
- ⑤ 歴史（歴史についての本を読んだり、テレビを見たりする）
- ⑥ その他[]

【この質問には全員ご回答ください。】

質問3 お子様は、○○（種目）を体験したことによって、文化・芸術（音楽、演劇、踊り、美術など）を見たり聞いたりすることが、前よりも多くなりましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

- ① かなり多くなった } → 質問4へ進んでください。
② 少し多くなった }
③ 前と変わらない（もともと、よく見たり聞いたりしていた） } → 質問5へ進んでください。
④ 前と変わらない（もともと、見たり聞いたりしていなかった） }

【質問3で「①かなり多くなった」「②少し多くなった」と答えた方への質問です。】

質問4 お子様は、何を通じて、見たり聞いたりすることが多くなりましたか。あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

- ① コンサートや劇場、美術館に行く
- ② 本を読む
- ③ テレビを見る、ラジオを聞く
- ④ CDを聞く、DVDを見る
- ⑤ インターネットを見る
- ⑥ その他[]

質問5へ

【この質問には全員ご回答ください。】

質問5 お子様は、〇〇（種目）の授業について、「楽しかった」「面白かった」など、興味を示していましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

- ① とても興味を示していた
- ② まあまあ興味を示していた
- ③ 興味を示していなかった
- ④ 分からない

【この質問には全員ご回答ください。】

質問6 お子様は、〇〇（種目）を体験したことによって、文化・芸術（音楽、演劇、踊り、美術など）に関して、興味が高まった様子が見られますか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

{ ① とても高まった様子である
② まあまあ高くなった様子である } →質問7へ進んでください。

{ ③ 前と変わらない（もともと、興味を持っていた）
④ 前と変わらない（もともと、興味は持っていなかった） } →質問8へ進んでください。

【質問6で「①とても高まった様子である」「②まあまあ高くなった様子である」と答えた方への質問です。】

質問7 お子様は、具体的に、どのような分野の文化・芸術（音楽、演劇、踊り、美術など）に関して、興味が高まった様子ですか。あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

- ① 音楽（ピアノ、バイオリン、フルート、オーケストラによる演奏、オペラ、合唱、童謡など）
- ② 演劇（現代劇、児童劇、ミュージカル、歌舞伎、能、狂言、人形浄瑠璃など）
- ③ 踊り（ダンス、バレエ、日本舞踊、民俗舞踊（阿波踊りのような古くから地域に伝わるお祭りの時の踊り）など）
- ④ 美術（絵画、工作、彫刻、版画、写真など）
- ⑤ 歴史（歴史についての、本を読んだり、テレビを見たりする）
- ⑥ その他[]

質問8へ

【この質問には全員ご回答ください。】

質問8 ○○（種目）に刺激を受け、お子様が、自分から進んで習ったり取り組んだりし始めたことはありますか。

質問9へ進んでください。

① ある

→ あてはまるものに、いくつでも○をつけてください

①-1 音楽（ピアノ、バイオリン、フルート、オーケストラによる演奏、オペラ、合唱、童謡など）

①-2 演劇（現代劇、児童劇、ミュージカル、歌舞伎、能、狂言、人形浄瑠璃など）

①-3 踊り（ダンス、バレエ、日本舞踊、民俗舞踊（阿波踊りのような古くから地域に伝わるお祭りの時の踊り）など）

①-4 美術（絵画、工作、彫刻、版画、写真など）

①-5 歴史（博物館や古い建物・遺跡めぐりなど）

①-6 その他[]

② ない → 質問10へ進んでください。

【質問8で「①ある」と答えた方への質問です。】

質問9 お子様は、どこで、習ったり取り組んだりしていますか。あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。

① 習い事で

② 学校のクラブ活動・部活動で

③ 学校以外のクラブ活動で

④ 家族と一緒に

⑤ 自分ひとりで

⑥ その他[]

【この質問には全員ご回答ください。】

質問10 お子様は、○○（種目）を体験したことで、家の近所や学校でのイベント（近所のお祭りや、文化祭や学芸会、音楽会、運動会など）に、自分から積極的に参加するようになりましたか。あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

① とても積極的になった

② 少し積極的になった

③ 前と変わらない（もともと、積極的である）

④ 前と変わらない（もともと、積極的ではない）

【この質問には全員ご回答ください。】

質問 11 このアンケート調査より以前、お子様は、〇〇（種目）の授業を受けたことについて、ご家庭でどのくらい話してくれましたか。あてはまるものに、一つだけ〇をつけてください。

- ① 詳しく話してくれた
- ② 少しだけ話してくれた
- ③ 〇〇（種目）の授業を受けたことについて、話してくれなかった

【この質問には全員ご回答ください。】

質問 12 お子様は、〇〇（種目）を体験したことで、日常生活の中で、自分の考えていることを自分から進んで話すようになりましたか。あてはまるものに、一つだけ〇をつけてください。

- ① よく話すようになった
- ② 少し話すようになった
- ③ 前と変わらない（もともと、よく話をするほうだ）
- ④ 前と変わらない（もともと、あまり話をするほうではない）

【この質問には全員ご回答ください。】

質問 13 お子様は、〇〇（種目）を体験したことで、日常生活の中で、他の人の考えや意見をよく聞くようになりましたか。あてはまるものに、一つだけ〇をつけてください。

- ① とてもよく聞くようになった
- ② 少しは聞くようになった
- ③ 前と変わらない（もともと、よく話を聞くほうだ）
- ④ 前と変わらない（もともと、あまり話を聞くほうではない）

【この質問には全員ご回答ください。】

質問 14 お子様は、〇〇（種目）を体験したことで、以前よりも、「音楽」や「図画工作（※中学は美術）」などの授業に積極的に取り組むようになった様子がありますか。（※体験種目によって「音楽」のみ、「図画工作」のみ、双方、と聞き方を変える）

【音楽の授業に対する興味】
あてはまるものに、一つだけ〇をつけてください。

- ① 高まった
- ② 少し高まった
- ③ 前と変わらない（もともと積極的であった）
- ④ 前と変わらない（もともと積極的ではなかった）
- ⑤ その他の教科について興味が高まった具体的な教科 []

【図画工作（※中学は美術）の授業に対する興味】
あてはまるものに、一つだけ〇をつけてください。

- ① 高まった
- ② 少し高まった
- ③ 前と変わらない（もともと積極的であった）
- ④ 前と変わらない（もともと積極的ではなかった）
- ⑤ その他の教科について興味が高まった具体的な教科 []

【この質問には全員ご回答ください。】

質問 18 以上の他に、特に〇〇（種目）の体験を通じて、お子様に見受けられる変化があれば、教えてください。

自由回答



質問 19 今後の「本物の舞台芸術体験事業」に対する、ご意見、ご要望、ご期待をお聞かせください。

自由回答



質問は以上で終わりです。ありがとうございました。

「本物の舞台芸術体験事業」
(実施種目)に関するアンケート調査

アンケート調査協力へのお願い

教職員の皆様におかれましては、日頃より文部科学行政の推進にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

さて、文部科学省では、当省の所管する政策の評価を実施するに当たり、評価の客観性や信頼性の向上において、特に重要となる評価指標の開発を目的とした調査を行っています。

今年度は、文化庁が実施している「本物の舞台芸術体験事業」を題材に、本事業に参加頂いた学校の児童・生徒、教職員、保護者の皆様を対象に、(株)三菱総合研究所に委託し、アンケート調査を実施し、「子どもが芸術文化に親しむようになるという効果を把握するための指標」の開発を行う予定です。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、本アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。

なお、アンケート調査の結果は本調査研究及び、当該事業の継続・拡充を目的とするデータ分析以外には使用しませんので、ご安心ください。

【本件担当・問い合わせ先】

文部科学省 大臣官房政策課評価室 ●●
Tel : 03-5253-●●●●●
E-mail: ●●@mext.go.jp

株式会社 三菱総合研究所
社会システム研究本部・●●
Tel : 03-3277-●●●●●
E-mail: ●●@mri.co.jp
または 人間・生活研究本部・●●
Tel : 03-3277-●●●●●
E-mail: ●●@mri.co.jp

【はじめに】

この調査は、〇〇小（中）学校において、〇〇（●月●日は、事前のワークショップ（説明会）、〇月〇日は、△△による△△）について、授業を受けた児童・生徒たちがどのように感じ、それが今後の成長にどのように役立つ可能性があるかを調査するためのものです。

【記入上の注意】

1. 次ページからの質問にしたがって、〇〇（※実施した種目）の前後において、あなたが児童・生徒たちに関して感じたこと、思ったことをお答えください。各質問について、答えとしてあてはまるものの番号に○を付けてください。

回答例：①大いに興味を示していた

また、自由記入欄がある場合には、カッコ [] の中に、ご自由にご記入下さい。

2. 無記名のアンケートですので、氏名・学校名を記入する必要はありません。
3. なお、このアンケートでは、「文化・芸術」という言葉が多く出てきます。そこで、このアンケートで言う「文化・芸術」とは、以下のようなものであると考えて、ご回答ください。

文化・芸術とは、例え

○音楽

ピアノ、バイオリン、フルート、オーケストラによる演奏、オペラ、合唱、童謡など

○演劇

現代劇、児童劇、ミュージカル、歌舞伎、能、狂言、人形浄瑠璃など

○踊り

ダンス、バレエ、日本舞踊、民俗舞踊（阿波踊りのような古くから地域に伝わるお祭りの時の踊り）など

○美術

絵画、工作、彫刻、版画、写真など

それでは、以下をご記入のうえ、アンケートにお答えください。

あなたは、「音楽」または「図画工作（もしくは美術）」の専科（中学はトル）
教員ですか。専科（中学はトル）教員である場合は、あてはまる方にをつけて
ください。

「音楽」の専科（中学はトル）教員である

「図画工作（中学は美術）」の専科（中学はトル）教員である

上記以外 []

あなたは、今回調査対象となっているクラスの担任ですか。

はい

いいえ

質問1 児童（中学は生徒）は、〇〇（種目）の授業について、「楽しかった」「面白かった」など、興味を示していましたか。あてはまるものに、一つだけ〇を付けてください。

- ① 大半の児童（中学は生徒）が、興味を示していた
- ② 興味を示していた児童（中学は生徒）もいたし、興味を示さなかった児童（中学は生徒）もいた
- ③ 大半の児童（中学は生徒）が、興味を示さなかった
- ④ 分からない

質問2 〇〇（種目）の際、児童（中学は生徒）から、いつもの授業のときとは異なる積極的な反応（楽しさや好奇心の表現など）が感じられましたか。あてはまるものに、一つだけ〇を付けてください。

- ① 大半の児童（中学は生徒）から、感じられた
- ② 感じられた児童（中学は生徒）もいたし、感じられなかった児童（中学は生徒）もいた
- ③ 大半の児童（中学は生徒）から、感じられなかった
- ④ 分からない

質問3 〇〇（種目）の事前のワークショップ（説明会）の内容は、どのくらい理解できていた様子ですか。あてはまるものに、一つだけ〇を付けてください。

- ① 大半の児童（中学は生徒）が、理解していた
- ② 理解していた児童（中学は生徒）もいたし、理解できていない児童（中学は生徒）もいた
- ③ 大半の児童（中学は生徒）が、理解できていなかった
- ④ 分からない

質問4 ワークショップの開催は、その後の体験授業に対する、児童（中学は生徒）の興味や関心の高まりに役立っていましたか。あてはまるものに、一つだけ〇を付けてください。

- ① 大半の児童（中学は生徒）にとって、役立っていた
- ② 役立っていた児童（中学は生徒）もいたし、役立っていない児童（中学は生徒）もいた
- ③ 大半の児童（中学は生徒）にとって、役立っていなかった
- ④ 分からない

質問5 〇〇（種目）のあと、児童（中学は生徒）から、「もう一度、〇〇（種目）のような授業を受けたい」といった反応がありましたか。あてはまるものに、一つだけ〇を付けてください。

- ① 大半の児童（中学は生徒）から、反応があった
- ② 反応があった児童（中学は生徒）もいたし、反応がなかった児童（中学は生徒）もいた
- ③ 大半の児童（中学は生徒）から、反応はなかった
- ④ 分からない

質問6 児童（中学は生徒）に、もう一度、〇〇（種目）のような、本物の文化芸術を体験させる授業を受けさせたいと思いますか。また、そう思う理由をお聞かせ下さい。あてはまるものに、一つだけ〇を付けてください。

① ぜひ受けさせたい

そう思う理由：

② チャンスがあれば受けさせたい

そう思う理由：

③ 受けさせたいと思わない

そう思う理由：

質問7 〇〇（種目）を体験したことで、学校におけるイベント（文化祭や学芸会、音楽会、運動会など）等に対する児童（中学は生徒）の積極性について、変化は見られましたか。あてはまるものに、一つだけ〇を付けてください。

① 大半の児童（中学は生徒）が、よい方向に変化した

② 一部の児童（中学は生徒）が、よい方向に変化した

③ 前と変わらない（もともと、大半の児童（中学は生徒）が積極的である）

④ 前と変わらない（もともと、大半の児童（中学は生徒）が積極的ではない）

⑤ その他 []

質問8 〇〇（種目）を体験したことで、児童（中学は生徒）は、学校生活の中で、自分の考えていることを自分から進んで話すようになりましたか。あてはまるものに、一つだけ〇を付けてください。

① 大半の児童（中学は生徒）が、よく話すようになった

② 一部の児童（中学は生徒）が、よく話すようになった

③ 前と変わらない（もともと、大半の児童（中学は生徒）がよく話すほうである）

④ 前と変わらない（もともと、大半の児童（中学は生徒）がよく話すほうではない）

⑤ その他 []

質問9 〇〇（種目）を体験したことで、児童（中学は生徒）は、学校生活の中で、他の人の考えや意見をよく聞くようになりましたか。あてはまるものに、一つだけ〇を付けてください。

① 大半の児童（中学は生徒）が、話をよく聞くようになった

② 一部の児童（中学は生徒）が、話をよく聞くようになった

③ 前と変わらない（もともと、大半の児童（中学は生徒）が話をよく聞くほうである）

④ 前と変わらない（もともと、大半の児童（中学は生徒）が話をよく聞かない）

⑤ その他 []

【この質問には「音楽」または「図画工作（※中学は美術）」の専科（※中学はトル）教員の方のみご回答下さい。】

質問 10 ○○（種目）を体験したことで、児童（中学は生徒）は、「音楽」や「図画工作（※中学は美術）」などの授業に対する積極性が高まりましたか。（※体験種目によって「音楽」のみ、「図画工作」のみ、双方、と聞き方を変える）

【音楽の授業に対する興味】→ あてはまるものに、一つだけ○を付けてください。

- ① とても高まった
- ② 少し高まった
- ③ 前と変わらない（もともと積極的であった）
- ④ 前と変わらない（もともと積極的ではなかった）
- ⑤ その他の教科について興味が高まった具体的な教科 []

【図画工作（※中学は美術）の授業に対する興味】→ あてはまるものに、一つだけ○を付けてください。

- ① とても高まった
- ② 少し高まった
- ③ 前と変わらない（もともと積極的であった）
- ④ 前と変わらない（もともと積極的ではなかった）
- ⑤ その他の教科について興味が高まった具体的な教科 []

【この質問には、邦楽・邦舞、能楽、人形浄瑠璃、歌舞伎のいずれかを見た学校の教職員の方のみご回答ください。】

質問 11 ○○（種目）を体験したことで、児童（中学は生徒）は、日本の伝統、文化や歴史に対する興味が高まった様子ですか。あてはまるものに、一つだけ○を付けてください。

- ① 大半の児童（中学は生徒）が、興味が高まった様子である
- ② 一部の児童（中学は生徒）が、興味が高まった様子である
- ③ 前と変わらない（もともと、大半の児童（中学は生徒）が興味を持っていた）
- ④ 前と変わらない（もともと、大半の児童（中学は生徒）が興味を持っていなかった）
- ⑤ その他 []

質問 12 ○○（種目）は、児童（中学は生徒）の豊かな心や感性、創造性を育むきっかけになると思いませんか。あてはまるものに、一つだけ○を付けてください。

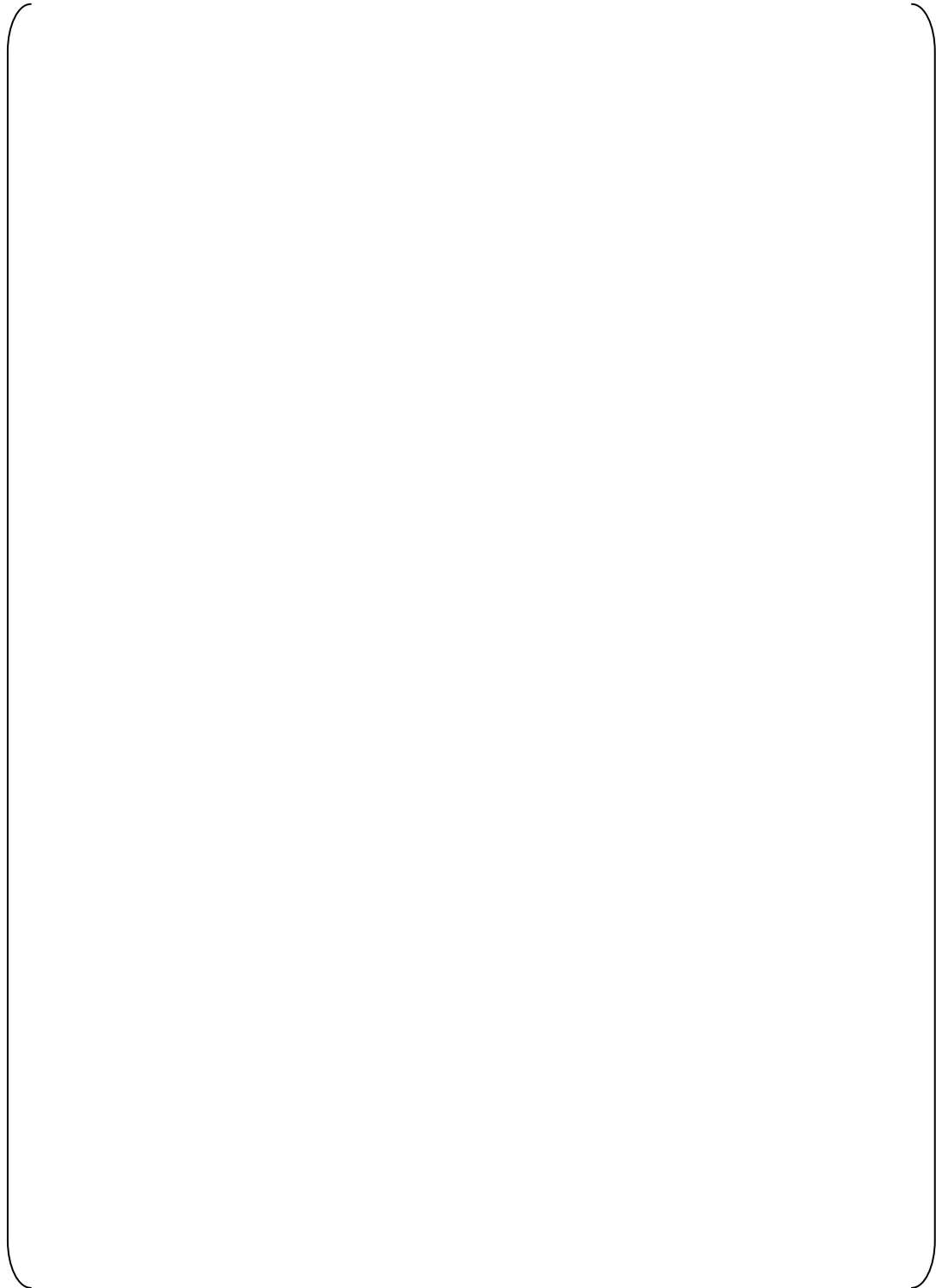
- ① 強くそう思う
- ② まあまあそう思う
- ③ そう思わない
- ④ 分からない

質問 13 以上の他に、特に〇〇（種目）の体験を通じて、児童（中学は生徒）に見受けられる変化があれば、教えてください。

自由回答

質問 14 今後の「本物の舞台芸術体験事業」に対する、ご意見、ご要望、ご期待をお聞かせください。

自由回答



質問は以上で終わりです。ありがとうございました。

「本物の舞台芸術体験事業」

〇〇（実施種目）による鑑賞の授業に関するアンケート

※以下の質問は、貴校の教諭のうち、当該事業の担当の方など、代表のお一人がお答え下さい。

最近3年（平成17～19年度）で、学校の授業における同様の取組（音楽家や芸術家を招いて、実演や授業を行なってもらい、児童生徒が、本物の舞台や芸術に直接触れることができる取組）の経験はありますか。

① 今回初めて →質問は以上です。

② 2回目

③ 3回目

④ 4回目

⑤ 5回以上

→質問2へ進んでください。

【0で「②2回目」「③3回目」「④4回目」「⑤5回以上」と答えた方への質問です。】

最近3年（平成17～19年度）で、取り組まれた分野とその回数を教えてください。

- | | | | | |
|-------------------|---|-----|---|---|
| ① 合唱を | [|] | 回 | |
| ② オーケストラを | [|] | 回 | |
| ③ 邦楽を | [|] | 回 | |
| ④ オペラを | [|] | 回 | |
| ⑤ 現代劇、児童劇、ミュージカルを | [|] | 回 | |
| ⑥ 歌舞伎、能楽、人形浄瑠璃を | [|] | 回 | |
| ⑦ 洋舞を | [|] | 回 | |
| ⑧ 邦舞を | [|] | 回 | |
| ⑨ その他[|] | を [|] | 回 |

以上

参考2. 集計表

1) 児童生徒

質問1 授業は楽しかったですか。

	調査数	とても楽しかった	まあまあ楽しかった	あまり楽しくなかった	無回答
全体	467 100.0	269 57.6	172 36.8	24 5.1	2 0.4
小学校	226 100.0	157 69.5	64 28.3	4 1.8	1 0.4
中学校	241 100.0	112 46.5	108 44.8	20 8.3	1 0.4

地域別

都市部	240 100.0	134 55.8	94 39.2	12 5.0	- -
地方部	227 100.0	135 59.5	78 34.4	12 5.3	2 0.9

質問2 いつもの授業とはちがう楽しさがありましたか。

	調査数	おおいにあった	少しあった	なかった	無回答
全体	467 100.0	285 61.0	160 34.3	19 4.1	3 0.6
小学校	226 100.0	140 61.9	83 36.7	2 0.9	1 0.4
中学校	241 100.0	145 60.2	77 32.0	17 7.1	2 0.8

地域別

都市部	240 100.0	145 60.4	82 34.2	12 5.0	1 0.4
地方部	227 100.0	140 61.7	78 34.4	7 3.1	2 0.9

質問3 ワークショップ(説明会)で聞いたことは、どのくらい理解できましたか。

	調査数	とてもよく理解できた	少し理解できた	ほとんど理解できなかった	無回答
全体	467 100.0	106 22.7	260 55.7	41 8.8	60 12.8
小学校	226 100.0	76 33.6	114 50.4	8 3.5	28 12.4
中学校	241 100.0	30 12.4	146 60.6	33 13.7	32 13.3

地域別

都市部	240 100.0	41 17.1	145 60.4	24 10.0	30 12.5
地方部	227 100.0	65 28.6	115 50.7	17 7.5	30 13.2

質問4 ワークショップ(説明会)があったことで、そのあとの体験授業が楽しみになりましたか。

	調査数	とても楽しみになった	少し楽しみになった	楽しみにはならなかった	無回答
全体	467 100.0	174 37.3	184 39.4	50 10.7	59 12.6
小学校	226 100.0	107 47.3	82 36.3	8 3.5	29 12.8
中学校	241 100.0	67 27.8	102 42.3	42 17.4	30 12.4

地域別

都市部	240 100.0	84 35.0	98 40.8	30 12.5	28 11.7
地方部	227 100.0	90 39.6	86 37.9	20 8.8	31 13.7

質問5 もう一度、授業を受けたいと思いますか。そのように思う理由とともに、教えてください。

	調査数	ぜひ受けたい	いチャンスがあれば受けた	受けたいと思わない	無回答
全体	467 100.0	194 41.5	215 46.0	55 11.8	3 0.6
小学校	226 100.0	106 46.9	104 46.0	15 6.6	1 0.4
中学校	241 100.0	88 36.5	111 46.1	40 16.6	2 0.8

地域別

都市部	240 100.0	93 38.8	116 48.3	30 12.5	1 0.4
地方部	227 100.0	101 44.5	99 43.6	25 11.0	2 0.9

質問6 授業を受ける前、文化・芸術(音楽、演劇、踊り、美術など)を、ふだんの授業以外に、どのくらい見たり聞いたりしていましたか。

	調査数	いよく見たり聞いたりして	てたいたに見たり聞いたりし	が見たり聞いたりしていな	無回答
全体	467 100.0	77 16.5	211 45.2	161 34.5	18 3.9
小学校	226 100.0	38 16.8	131 58.0	53 23.5	4 1.8
中学校	241 100.0	39 16.2	80 33.2	108 44.8	14 5.8

地域別

都市部	240 100.0	42 17.5	111 46.3	74 30.8	13 5.4
地方部	227 100.0	35 15.4	100 44.1	87 38.3	5 2.2

質問7 何を、見たり聞いたりしてましたか。(複数回答)

	調査数	ラ、トラによる演奏、童謡など)	音楽(ピアノ、バイオリン、オーケストラ)	能(狂言、人形浄瑠璃など)	演劇(現代劇、児童劇)	日本舞踊、民俗舞踊など)	踊り(ダンス、バレエ)	美術(絵画、写真など)	刻、版画、工作、彫	歴史(歴史についての本)	その他	無回答
全体	288 100.0	168 58.3	88 30.6	69 24.0	99 34.4	115 39.9	12 4.2	5 1.7				
小学校	169 100.0	113 66.9	53 31.4	40 23.7	66 39.1	74 43.8	7 4.1	1 0.6				
中学校	119 100.0	55 46.2	35 29.4	29 24.4	33 27.7	41 34.5	5 4.2	4 3.4				

地域別

都市部	153 100.0	92 60.1	45 29.4	41 26.8	52 34.0	58 37.9	8 5.2	4 2.6
地方部	135 100.0	76 56.3	43 31.9	28 20.7	47 34.8	57 42.2	4 3.0	1 0.7

質問8 授業を体験したことによって、文化・芸術(音楽、演劇、踊り、美術など)を見たり聞いたりすることが、前よりも多くなりましたか。

	調査数	見たり聞いたりすることが多くなった	見たり聞いたりすることが少し多くなった	見たり聞いたりすることが変わらなかった	見たり聞いたりすることが少なくなった	無回答
全体	467 100.0	19 4.1	103 22.1	295 63.2	12 2.6	38 8.1
小学校	226 100.0	8 3.5	59 26.1	137 60.6	3 1.3	19 8.4
中学校	241 100.0	11 4.6	44 18.3	158 65.6	9 3.7	19 7.9

地域別

都市部	240 100.0	12 5.0	55 22.9	138 57.5	10 4.2	25 10.4
地方部	227 100.0	7 3.1	48 21.1	157 69.2	2 0.9	13 5.7

質問9 何を、見たり聞いたりすることが多くなりましたか。(複数回答)

	調査数	ラ、トラによる演奏、童謡など)	音楽(ピアノ、バイオリン、オーケストラ)	能(狂言、人形浄瑠璃など)	演劇(現代劇、児童劇)	日本舞踊、民俗舞踊など)	踊り(ダンス、バレエ)	美術(絵画、写真など)	刻、版画、工作、彫	歴史(歴史についての本)	その他	無回答
全体	122 100.0	69 56.6	38 31.1	30 24.6	44 36.1	46 37.7	2 1.6	1 0.8				
小学校	67 100.0	46 68.7	21 31.3	15 22.4	28 41.8	29 43.3	2 3.0	-				
中学校	55 100.0	23 41.8	17 30.9	15 27.3	16 29.1	17 30.9	-	1 1.8				

地域別

都市部	67 100.0	36 53.7	19 28.4	21 31.3	24 35.8	23 34.3	1 1.5	-
地方部	55 100.0	33 60.0	19 34.5	9 16.4	20 36.4	23 41.8	1 1.8	1 1.8

質問 1 0 何を通じて、見たり聞いたりすることが多くなりましたか。(複数回答)

	調査数	館コン に行サ ークト や劇場 美術	本を 読む	聞テ レビ を見る 、ラ ジオを	るC Dを 聞く 、D VDを 見	イン ター ネッ トを 見る	そ 他	無 回 答
全 体	122 100.0	32 26.2	48 39.3	83 68.0	50 41.0	26 21.3	4 3.3	1 0.8
小学校	67 100.0	21 31.3	28 41.8	50 74.6	30 44.8	14 20.9	1 1.5	1 1.5
中学校	55 100.0	11 20.0	20 36.4	33 60.0	20 36.4	12 21.8	3 5.5	- -

地域別

都市部	67 100.0	18 26.9	27 40.3	44 65.7	30 44.8	18 26.9	1 1.5	- -
地方部	55 100.0	14 25.5	21 38.2	39 70.9	20 36.4	8 14.5	3 5.5	1 1.8

質問 1 1 授業を体験したことによって、文化・芸術（音楽、演劇、踊り、美術など）に関して、習ったり取り組んだりしたいと思うようになったものがありますか。

音楽

	調査数	取今 りす 組ぐ ん だ り で も 、 習 つ た り	りら し た い 習 つ た り 大 き く 取 り 組 ん だ り	た習 い と た は り 思 取 わ り 組 ん だ り し	無 回 答
全 体	467 100.0	91 19.5	153 32.8	193 41.3	30 6.4
小学校	226 100.0	51 22.6	87 38.5	82 36.3	6 2.7
中学校	241 100.0	40 16.6	66 27.4	111 46.1	24 10.0

地域別

都市部	240 100.0	54 22.5	83 34.6	83 34.6	20 8.3
地方部	227 100.0	37 16.3	70 30.8	110 48.5	10 4.4

演劇

	調査数	取今 りす 組ぐ ん だ り で も 、 習 つ た り	りら し た い 習 つ た り 大 き く 取 り 組 ん だ り	た習 い と た は り 思 取 わ り 組 ん だ り し	無 回 答
全 体	467 100.0	34 7.3	105 22.5	292 62.5	36 7.7
小学校	226 100.0	16 7.1	52 23.0	147 65.0	11 4.9
中学校	241 100.0	18 7.5	53 22.0	145 60.2	25 10.4

地域別

都市部	240 100.0	15 6.3	51 21.3	149 62.1	25 10.4
地方部	227 100.0	19 8.4	54 23.8	143 63.0	11 4.8

踊り

	調査数	取り組んだりしても、習ったり	り、習ったり大きくなりなっただ	ら、習ったり大きくなりなっただ	た習ったりは思われないんだりし	無回答
全体	467 100.0	52 11.1	107 22.9	272 58.2	36 7.7	
小学校	226 100.0	29 12.8	45 19.9	141 62.4	11 4.9	
中学校	241 100.0	23 9.5	62 25.7	131 54.4	25 10.4	

地域別

都市部	240 100.0	34 14.2	50 20.8	132 55.0	24 10.0
地方部	227 100.0	18 7.9	57 25.1	140 61.7	12 5.3

美術

	調査数	取り組んだりしても、習ったり	り、習ったり大きくなりなっただ	ら、習ったり大きくなりなっただ	た習ったりは思われないんだりし	無回答
全体	467 100.0	92 19.7	159 34.0	182 39.0	34 7.3	
小学校	226 100.0	54 23.9	90 39.8	73 32.3	9 4.0	
中学校	241 100.0	38 15.8	69 28.6	109 45.2	25 10.4	

地域別

都市部	240 100.0	44 18.3	74 30.8	98 40.8	24 10.0
地方部	227 100.0	48 21.1	85 37.4	84 37.0	10 4.4

歴史

	調査数	取り組んだりしても、習ったり	り、習ったり大きくなりなっただ	ら、習ったり大きくなりなっただ	た習ったりは思われないんだりし	無回答
全体	467 100.0	95 20.3	157 33.6	182 39.0	33 7.1	
小学校	226 100.0	48 21.2	85 37.6	82 36.3	11 4.9	
中学校	241 100.0	47 19.5	72 29.9	100 41.5	22 9.1	

地域別

都市部	240 100.0	37 15.4	82 34.2	97 40.4	24 10.0
地方部	227 100.0	58 25.6	75 33.0	85 37.4	9 4.0

その他

	調査数	取り組んだりし 今すぐにも、習 たり	り、習つたり したい	もう少し大き なつた	習ったり思 わぬ	無回答
全 体	467 100.0	7 1.5	13 2.8	83 17.8	364 77.9	
小学校	226 100.0	4 1.8	6 2.7	31 13.7	185 81.9	
中学校	241 100.0	3 1.2	7 2.9	52 21.6	179 74.3	

地域別

都市部	240 100.0	4 1.7	9 3.8	52 21.7	175 72.9
地方部	227 100.0	3 1.3	4 1.8	31 13.7	189 83.3

質問 1 2 授業を受けてから、実際に、自分から進んで習ったり取り組んだりし始めたことはありますか。

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	467 100.0	100 21.4	272 58.2	95 20.3
小学校	226 100.0	56 24.8	138 61.1	32 14.2
中学校	241 100.0	44 18.3	134 55.6	63 26.1

地域別

都市部	240 100.0	70 29.2	112 46.7	58 24.2
地方部	227 100.0	30 13.2	160 70.5	37 16.3

	調査数	ラ、合 トラ、 合唱、 童謡 など	音楽 (ピアノ、 オル ガネ スリ ド)	能 狂言 人形 浄瑠 璃伎 な	演劇 (現代 劇、 歌 舞 劇、 ミ ュ ジ カ ル、 歌 舞 劇、 ど)	日本 舞踊、 民俗 舞踊 な	踊り (ダン ス、 バレ エ、 刻、 美術 (絵画、 写真 など)	歴史・ 遺跡 (博物 館や 古い 建 物)	その他	無回答
全 体	100 100.0	50 50.0	7 7.0	16 16.0	31 31.0	19 19.0	3 3.0	1 1.0		
小学校	56 100.0	29 51.8	5 8.9	6 10.7	20 35.7	12 21.4	2 3.6	1 1.8		
中学校	44 100.0	21 47.7	2 4.5	10 22.7	11 25.0	7 15.9	1 2.3	- -		

地域別

都市部	70 100.0	37 52.9	6 8.6	11 15.7	22 31.4	14 20.0	2 2.9	1 1.4
地方部	30 100.0	13 43.3	1 3.3	5 16.7	9 30.0	5 16.7	1 3.3	- -

質問 1 3 どこで、習ったり取り組んだりしていますか。(複数回答)

	調査数	習い事で	学校のクラブ活動で	地域以外のクラブ活動で(学校)	家族と一緒に	自分ひとりで	その他	無回答
全体	100 100.0	35 35.0	17 17.0	8 8.0	24 24.0	30 30.0	14 14.0	6 6.0
小学校	56 100.0	23 41.1	10 17.9	5 8.9	14 25.0	16 28.6	8 14.3	1 1.8
中学校	44 100.0	12 27.3	7 15.9	3 6.8	10 22.7	14 31.8	6 13.6	5 11.4

地域別

都市部	70 100.0	27 38.6	14 20.0	5 7.1	19 27.1	19 27.1	11 15.7	2 2.9
地方部	30 100.0	8 26.7	3 10.0	3 10.0	5 16.7	11 36.7	3 10.0	4 13.3

質問 1 4 授業を体験したことによって、自分も、文化・芸術(音楽、演劇、踊り、美術など)の活動をして、それを他の人に見てもらいたいと思うようになりましたか。

	調査数	た強くそう思うようになった	た少しそう思うようになった	と前と変わらない(もとも)	た)と前と変わらない(もなか)つも	無回答
全体	467 100.0	31 6.6	157 33.6	94 20.1	169 36.2	16 3.4
小学校	226 100.0	14 6.2	88 38.9	52 23.0	68 30.1	4 1.8
中学校	241 100.0	17 7.1	69 28.6	42 17.4	101 41.9	12 5.0

地域別

都市部	240 100.0	17 7.1	83 34.6	48 20.0	82 34.2	10 4.2
地方部	227 100.0	14 6.2	74 32.6	46 20.3	87 38.3	6 2.6

質問 1 5 授業を体験したことによって、自分も、他の人と一緒に、協力しあって、文化・芸術(音楽、演劇、踊り、美術など)の活動をしたと思うようになりましたか。

	調査数	た強くそう思うようになった	た少しそう思うようになった	と前と変わらない(もとも)	た)と前と変わらない(もなか)つも	無回答
全体	467 100.0	51 10.9	171 36.6	93 19.9	146 31.3	6 1.3
小学校	226 100.0	23 10.2	90 39.8	52 23.0	60 26.5	1 0.4
中学校	241 100.0	28 11.6	81 33.6	41 17.0	86 35.7	5 2.1

地域別

都市部	240 100.0	24 10.0	91 37.9	50 20.8	71 29.6	4 1.7
地方部	227 100.0	27 11.9	80 35.2	43 18.9	75 33.0	2 0.9

質問 16 授業を受けてから、昨日までのあいだ、授業について、家族、学校の友達や先生とどのくらい話をしましたか。

	調査数	とてもよく話をした	少しだけ話をした	特に話はしていない	無回答
全体	467 100.0	80 17.1	252 54.0	130 27.8	5 1.1
小学校	226 100.0	43 19.0	128 56.6	55 24.3	- -
中学校	241 100.0	37 15.4	124 51.5	75 31.1	5 2.1

地域別

都市部	240 100.0	46 19.2	135 56.3	56 23.3	3 1.3
地方部	227 100.0	34 15.0	117 51.5	74 32.6	2 0.9

質問 17 授業を体験したことによって、家の近所や学校でのイベント（近所のお祭りや、学校の文化祭や学芸会、音楽会、運動会など）に、自分から進んで参加(さんか)するようになりましたか。

	調査数	な進ったで参加するように	う少しは進んで参加するよ	しと前と比べてよかった（もともとも）	たと前と比べて変わらない（もともとも）	無回答
全体	467 100.0	24 5.1	121 25.9	171 36.6	147 31.5	4 0.9
小学校	226 100.0	14 6.2	64 28.3	93 41.2	55 24.3	- -
中学校	241 100.0	10 4.1	57 23.7	78 32.4	92 38.2	4 1.7

地域別

都市部	240 100.0	16 6.7	58 24.2	85 35.4	78 32.5	3 1.3
地方部	227 100.0	8 3.5	63 27.8	86 37.9	69 30.4	1 0.4

質問 18 授業を体験したことによって、「音楽」や「図画工作」などの授業に対する興味が高まりましたか。

【音楽の授業に対する興味】

	調査数	とても興味が高まった	少し興味が高まった	と前と比べて変わらない（もともとも）	と前と比べて変わらない（もともとも）	味その高他のまつたにうて興	具体的な教科
全体	467 100.0	60 12.8	166 35.5	130 27.8	100 21.4	2 0.4	9 1.9
小学校	226 100.0	34 15.0	87 38.5	62 27.4	39 17.3	2 0.9	2 0.9
中学校	241 100.0	26 10.8	79 32.8	68 28.2	61 25.3	- -	7 2.9

地域別

都市部	240 100.0	35 14.6	87 36.3	64 26.7	47 19.6	2 0.8	5 2.1
地方部	227 100.0	25 11.0	79 34.8	66 29.1	53 23.3	- -	4 1.8

【図画工作・美術の授業に対する興味】

	調査数	とても興味が高まった	少し興味が高まった	と前と変わらない(もともと興味があつた)	と前と変わらない(もともと興味があつた)	味その他の教科について興味が高まつた	無回答
全体	378 100.0	47 12.4	106 28.0	107 28.3	100 26.5	1 0.3	17 4.5
小学校	137 100.0	22 16.1	42 30.7	49 35.8	22 16.1	-	2 1.5
中学校	241 100.0	25 10.4	64 26.6	58 24.1	78 32.4	1 0.4	15 6.2

地域別

都市部	181 100.0	25 13.8	50 27.6	47 26.0	49 27.1	-	10 5.5
地方部	197 100.0	22 11.2	56 28.4	60 30.5	51 25.9	1 0.5	7 3.6

質問 19 授業を体験したことによって、日本の伝統、文化や歴史に対する興味が高まりましたか。

	調査数	とても興味が高まった	少し興味が高まった	と前と変わらない(もともと興味があつた)	と前と変わらない(もともと興味があつた)	無回答
全体	102 100.0	8 7.8	32 31.4	26 25.5	31 30.4	5 4.9
小学校	50 100.0	5 10.0	17 34.0	16 32.0	10 20.0	2 4.0
中学校	52 100.0	3 5.8	15 28.8	10 19.2	21 40.4	3 5.8

地域別

都市部	32 100.0	4 12.5	13 40.6	6 18.8	8 25.0	1 3.1
地方部	70 100.0	4 5.7	19 27.1	20 28.6	23 32.9	4 5.7

質問 20 具体的には、日本の伝統、文化や歴史に関してどのようなことをするようになりましたか。(複数回答)

	調査数	なつDに日本 たVつ日本の Dのい伝 たなて統 Dのの統 なての Dの伝 たな統 をの統 見レ文化 るレ化 よう番 にや組 や歴史	むに日本 よつ本の うのい に伝 な投 つ統 た本文 な化 どや を歴史 読	でに日本 調つ本の べい伝 るて統 よイン うン文 にな化 つたネ たッ 歴史	すりに日本 り関の や催す のうし うにイ になン た)ト に(文化 参加おや 祭祭歴史	行へに日本 く古関 よいすの う建る に物博 な遺物 跡館文 たなや た)化 に)史	その他	無回答
全体	40 100.0	17 42.5	15 37.5	6 15.0	5 12.5	4 10.0	4 10.0	3 7.5
小学校	22 100.0	8 36.4	10 45.5	5 22.7	3 13.6	2 9.1	2 9.1	2 9.1
中学校	18 100.0	9 50.0	5 27.8	1 5.6	2 11.1	2 11.1	2 11.1	1 5.6

地域別

都市部	17 100.0	6 35.3	6 35.3	4 23.5	2 11.8	2 11.8	1 5.9	2 11.8
地方部	23 100.0	11 47.8	9 39.1	2 8.7	3 13.0	2 8.7	3 13.0	1 4.3

2) 保護者

質問1 授業を受ける以前から、文化・芸術（音楽、演劇、踊り、美術など）を見たり聞いたりして楽しんでいましたか。

	調査数	よくしていた	たまにしていた	していません	無回答
全体	364 100.0	49 13.5	137 37.6	163 44.8	15 4.1
小学校	192 100.0	27 14.1	78 40.6	79 41.1	8 4.2
中学校	172 100.0	22 12.8	59 34.3	84 48.8	7 4.1

地域別

都市部	182 100.0	30 16.5	66 36.3	80 44.0	6 3.3
地方部	182 100.0	19 10.4	71 39.0	83 45.6	9 4.9

質問2 何を、見たり聞いたりしていましたか。（複数回答）

	調査数	音楽（ピアノ、バイオリン、トランペット、ドラム、合唱による演奏、童謡など）	演劇（現代劇、児童劇、ミュージカル、歌謡浄瑠璃など）	踊り（ダンス、民舞、バレエ、日本舞踊）	美術（絵画、写真など）	歴史（歴史、歴史に関するテレビの本）	その他	無回答
全体	186 100.0	114 61.3	55 29.6	55 29.6	59 31.7	61 32.8	8 4.3	2 1.1
小学校	105 100.0	65 61.9	32 30.5	36 34.3	39 37.1	36 34.3	4 3.8	-
中学校	81 100.0	49 60.5	23 28.4	19 23.5	20 24.7	25 30.9	4 4.9	2 2.5

地域別

都市部	96 100.0	66 68.8	27 28.1	29 30.2	32 33.3	29 30.2	5 5.2	2 2.1
地方部	90 100.0	48 53.3	28 31.1	26 28.9	27 30.0	32 35.6	3 3.3	-

質問3 授業を体験したことによって、文化・芸術（音楽、演劇、踊り、美術など）を見たり聞いたりすることが、前よりも多くなりましたか。

	調査数	かなり多くなった	少し多くなった	しど前と変わらなかつた	しど前と変わった	無回答
全体	364 100.0	7 1.9	56 15.4	118 32.4	154 42.3	29 8.0
小学校	192 100.0	2 1.0	38 19.8	70 36.5	72 37.5	10 5.2
中学校	172 100.0	5 2.9	18 10.5	48 27.9	82 47.7	19 11.0

地域別

都市部	182 100.0	5 2.7	24 13.2	69 37.9	70 38.5	14 7.7
地方部	182 100.0	2 1.1	32 17.6	49 26.9	84 46.2	15 8.2

質問4 何を通じて、見たり聞いたりすることが多くなりましたか。(複数回答)

	調査数	コンサートや劇場、美術館に行く	本を読む	テレビを見る、ラジオを聞く	CDを聞く、DVDを見る	インターネットを見る	その他	無回答
全体	63 100.0	15 23.8	18 28.6	33 52.4	41 65.1	12 19.0	2 3.2	1 1.6
小学校	40 100.0	10 25.0	13 32.5	19 47.5	21 52.5	5 12.5	1 2.5	1 2.5
中学校	23 100.0	5 21.7	5 21.7	14 60.9	20 87.0	7 30.4	1 4.3	- -

地域別

都市部	29 100.0	10 34.5	6 20.7	17 58.6	19 65.5	6 20.7	1 3.4	1 3.4
地方部	34 100.0	5 14.7	12 35.3	16 47.1	22 64.7	6 17.6	1 2.9	- -

質問5 授業について、「楽しかった」「面白かった」など、興味を示していましたか。

	調査数	とても興味を示していた	まあまあ興味を示していた	興味を示していなかった	分からない	無回答
全体	364 100.0	97 26.6	165 45.3	52 14.3	36 9.9	14 3.8
小学校	192 100.0	66 34.4	95 49.5	14 7.3	14 7.3	3 1.6
中学校	172 100.0	31 18.0	70 40.7	38 22.1	22 12.8	11 6.4

地域別

都市部	182 100.0	47 25.8	89 48.9	28 15.4	9 4.9	9 4.9
地方部	182 100.0	50 27.5	76 41.8	24 13.2	27 14.8	5 2.7

質問6 授業を体験したことによって、文化・芸術(音楽、演劇、踊り、美術など)に関して、興味が高まった様子が見られますか。

	調査数	とても高まった様子である	まあまあ高まった様子である	と前と興味を持っていない(もともと興味を持っていない)	か、前と興味は変わらない(もともと興味は変わらない)	無回答
全体	364 100.0	29 8.0	106 29.1	97 26.6	130 35.7	2 0.5
小学校	192 100.0	18 9.4	70 36.5	53 27.6	51 26.6	- -
中学校	172 100.0	11 6.4	36 20.9	44 25.6	79 45.9	2 1.2

地域別

都市部	182 100.0	15 8.2	56 30.8	54 29.7	57 31.3	- -
地方部	182 100.0	14 7.7	50 27.5	43 23.6	73 40.1	2 1.1

質問7 お子様は、具体的に、どのような分野の文化・芸術（音楽、演劇、踊り、美術など）に関して、興味が高まった様子ですか。（複数回答）

	調査数	ラ、ト、音 ラ、フ、音 合、ラ、フ、音 唱、ル、ピ、ア 童、よ、ア、ノ 謡、る、ト、バ など、イ、オ、 ス	ど、能、ミ、演 ど、狂、ユ、劇 言、ジ、（現 人、カ、代 形、ル、劇 浄、人、児 瑠、形、童 璃、瑠、舞 な、璃、伎、 な	ど、日、踊 ど、本、り 舞、（ダ 踊、ン 、ス 民、ス 俗、バ 舞、レ 踊、エ、 な	刻、美、 、版、術 画、（絵 写、画、 真、工 など、作、 彫	た、を、歴 り、読、史 す、ん、（ る、だ、り ）	そ、の、他	無 回 答
全 体	135 100.0	62 45.9	49 36.3	32 23.7	20 14.8	30 22.2	1 0.7	6 4.4
小学校	88 100.0	45 51.1	28 31.8	20 22.7	12 13.6	21 23.9	1 1.1	3 3.4
中学校	47 100.0	17 36.2	21 44.7	12 25.5	8 17.0	9 19.1	- -	3 6.4

地域別

都市部	71 100.0	34 47.9	19 26.8	23 32.4	10 14.1	13 18.3	- -	3 4.2
地方部	64 100.0	28 43.8	30 46.9	9 14.1	10 15.6	17 26.6	1 1.6	3 4.7

質問8 授業に刺激を受け、お子様が、自分から進んで習ったり取り組んだりし始めたことはありますか。

	調査数	あ る	な い	無 回 答
全 体	364 100.0	54 14.8	292 80.2	18 4.9
小学校	192 100.0	27 14.1	158 82.3	7 3.6
中学校	172 100.0	27 15.7	134 77.9	11 6.4

地域別

都市部	182 100.0	34 18.7	139 76.4	9 4.9
地方部	182 100.0	20 11.0	153 84.1	9 4.9

	調査数	ラ、ト、音 ラ、フ、音 合、ラ、フ、音 唱、ル、ピ、ア 童、よ、ア、ノ 謡、る、ト、バ など、イ、オ、 ス	ど、能、ミ、演 ど、狂、ユ、劇 言、ジ、（現 人、カ、代 形、ル、劇 浄、人、児 瑠、形、童 璃、瑠、舞 な、璃、伎、 な	ど、日、踊 ど、本、り 舞、（ダ 踊、ン 、ス 民、ス 俗、バ 舞、レ 踊、エ、 な	刻、美、 、版、術 画、（絵 写、画、 真、工 など、作、 彫	た、を、歴 り、読、史 す、ん、（ る、だ、り ）	そ、の、他	無 回 答
全 体	54 100.0	31 57.4	3 5.6	12 22.2	9 16.7	7 13.0	3 5.6	3 5.6
小学校	27 100.0	14 51.9	1 3.7	5 18.5	4 14.8	4 14.8	3 11.1	2 7.4
中学校	27 100.0	17 63.0	2 7.4	7 25.9	5 18.5	3 11.1	- -	1 3.7

地域別

都市部	34 100.0	23 67.6	3 8.8	9 26.5	6 17.6	3 8.8	- -	1 2.9
地方部	20 100.0	8 40.0	- -	3 15.0	3 15.0	4 20.0	3 15.0	2 10.0

質問9 お子様は、どこで、習ったり取り組んだりしていますか。(複数回答)

	調査数	習い事で	学校外のクラブ活動・部活	学校以外のクラブ活動で	家族と一緒に	自分ひとりで	その他	無回答
全体	54 100.0	29 53.7	5 9.3	3 5.6	14 25.9	12 22.2	2 3.7	3 5.6
小学校	27 100.0	14 51.9	3 11.1	1 3.7	8 29.6	6 22.2	2 7.4	- -
中学校	27 100.0	15 55.6	2 7.4	2 7.4	6 22.2	6 22.2	- -	3 11.1

地域別

都市部	34 100.0	21 61.8	1 2.9	2 5.9	8 23.5	8 23.5	1 2.9	2 5.9
地方部	20 100.0	8 40.0	4 20.0	1 5.0	6 30.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0

質問10 お子様は、授業を体験したことで、家の近所や学校でのイベント(近所のお祭りや、文化祭や学芸会、音楽会、運動会など)に、自分から積極的に参加するようになりましたか。

	調査数	とても積極的に なった	少し積極的に なった	と前と 変わら ない(も とも)	と前と 積極的 でない(も とも)	無回答
全体	364 100.0	7 1.9	44 12.1	140 38.5	160 44.0	13 3.6
小学校	192 100.0	4 2.1	26 13.5	83 43.2	73 38.0	6 3.1
中学校	172 100.0	3 1.7	18 10.5	57 33.1	87 50.6	7 4.1

地域別

都市部	182 100.0	2 1.1	20 11.0	66 36.3	86 47.3	8 4.4
地方部	182 100.0	5 2.7	24 13.2	74 40.7	74 40.7	5 2.7

質問11 このアンケート調査より以前、お子様は、授業を受けたことについて、ご家庭でどのくらい話してくれましたか。

	調査数	詳しく話 してくれた	少しだけ話 してくれた	授業形を 浄瑠璃 受けて 鑑賞 などの 授業 たいの	無回答
全体	364 100.0	88 24.2	200 54.9	71 19.5	5 1.4
小学校	192 100.0	65 33.9	105 54.7	19 9.9	3 1.6
中学校	172 100.0	23 13.4	95 55.2	52 30.2	2 1.2

地域別

都市部	182 100.0	46 25.3	101 55.5	33 18.1	2 1.1
地方部	182 100.0	42 23.1	99 54.4	38 20.9	3 1.6

質問 1 2 お子様は、授業を体験したことで、日常生活の中で、自分の考えていることを自分から進んで話すようになりましたか。

	調査数	よく話すようになった	少し話すようになった	だ、と、前とよく話を するようになった	ではない、と、前とあまり話を するようになった	無回答
全体	364 100.0	9 2.5	46 12.6	206 56.6	94 25.8	9 2.5
小学校	192 100.0	7 3.6	27 14.1	114 59.4	39 20.3	5 2.6
中学校	172 100.0	2 1.2	19 11.0	92 53.5	55 32.0	4 2.3

地域別

都市部	182 100.0	4 2.2	16 8.8	111 61.0	47 25.8	4 2.2
地方部	182 100.0	5 2.7	30 16.5	95 52.2	47 25.8	5 2.7

質問 1 3 お子様は、授業を体験したことで、日常生活の中で、他の人の考えや意見をよく聞くようになりましたか。

	調査数	なとてよく聞くようになった	少しは聞くようになった	だ、と、前とよく話を 聞くようになった	ではない、と、前とあまり話を 聞くようになった	無回答
全体	364 100.0	7 1.9	69 19.0	195 53.6	83 22.8	10 2.7
小学校	192 100.0	5 2.6	38 19.8	103 53.6	41 21.4	5 2.6
中学校	172 100.0	2 1.2	31 18.0	92 53.5	42 24.4	5 2.9

地域別

都市部	182 100.0	2 1.1	28 15.4	105 57.7	43 23.6	4 2.2
地方部	182 100.0	5 2.7	41 22.5	90 49.5	40 22.0	6 3.3

質問 1 4 お子様は、授業を体験したことで、以前よりも、「音楽」や「図画工作」などの授業に積極的に取り組むようになった様子がありますか。

【音楽の授業に対する興味】

	調査数	高まった	少し高まった	と前と積極的に であつた(もとも と)	と前と積極的に ではない(もとも と)	味その高他の まつの教料につ いて興	無回答
全体	364 100.0	17 4.7	76 20.9	149 40.9	109 29.9	1 0.3	12 3.3
小学校	192 100.0	10 5.2	45 23.4	86 44.8	43 22.4	-	8 4.2
中学校	172 100.0	7 4.1	31 18.0	63 36.6	66 38.4	1 0.6	4 2.3

地域別

都市部	182 100.0	11 6.0	35 19.2	79 43.4	53 29.1	-	4 2.2
地方部	182 100.0	6 3.3	41 22.5	70 38.5	56 30.8	1 0.5	8 4.4

【図画工作・美術の授業に対する興味】

	調査数	高まった	少し高まった	と前と積極的ではない(もともと積極的であった)	と前と積極的ではない(もともと積極的であった)	味その他の教科について興味が高まった	無回答
全体	289 100.0	12 4.2	47 16.3	121 41.9	83 28.7	1 0.3	25 8.7
小学校	117 100.0	7 6.0	18 15.4	58 49.6	20 17.1	-	14 12.0
中学校	172 100.0	5 2.9	29 16.9	63 36.6	63 36.6	1 0.6	11 6.4

地域別

都市部	135 100.0	2 1.5	23 17.0	56 41.5	40 29.6	1 0.7	13 9.6
地方部	154 100.0	10 6.5	24 15.6	65 42.2	43 27.9	-	12 7.8

質問 1 5 お子様は、授業を体験したことで、以前よりも、日本の伝統、文化や歴史に対する興味が高まった様子ですか。

	調査数	とても高まった様子である	少し高まった様子である	と前と興味を保持していない(もともと興味を保持していた)	と前と興味がわからない(もともと興味を保持していた)	無回答
全体	70 100.0	-	28 40.0	16 22.9	22 31.4	4 5.7
小学校	37 100.0	-	21 56.8	10 27.0	4 10.8	2 5.4
中学校	33 100.0	-	7 21.2	6 18.2	18 54.5	2 6.1

地域別

都市部	19 100.0	-	9 47.4	6 31.6	2 10.5	2 10.5
地方部	51 100.0	-	19 37.3	10 19.6	20 39.2	2 3.9

質問 1 6 具体的には、日本の伝統、文化や歴史に関してどのようなことをするようになりましたか。(複数回答)

	調査数	日本の伝統、文化や歴史に関するもの(テレビ番組、雑誌、新聞、インターネット、博物館、図書館、文化財など)	日本の伝統、文化や歴史に関するもの(テレビ番組、雑誌、新聞、インターネット、博物館、図書館、文化財など)	日本の伝統、文化や歴史に関するもの(テレビ番組、雑誌、新聞、インターネット、博物館、図書館、文化財など)	日本の伝統、文化や歴史に関するもの(テレビ番組、雑誌、新聞、インターネット、博物館、図書館、文化財など)	日本の伝統、文化や歴史に関するもの(テレビ番組、雑誌、新聞、インターネット、博物館、図書館、文化財など)	その他	無回答
全体	28 100.0	15 53.6	7 25.0	2 7.1	3 10.7	3 10.7	3 10.7	3 10.7
小学校	21 100.0	11 52.4	6 28.6	1 4.8	2 9.5	2 9.5	2 9.5	2 9.5
中学校	7 100.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3

地域別

都市部	9 100.0	5 55.6	-	1 11.1	-	2 22.2	1 11.1	2 22.2
地方部	19 100.0	10 52.6	7 36.8	1 5.3	3 15.8	1 5.3	2 10.5	1 5.3

質問 17 授業は、お子様の豊かな心や感性、創造性を育てるきっかけになると思いますか。

	調査数	強く そう 思う	まあ まあ そう 思う	そう 思わ ない	分 か ら ない	無 回 答
全 体	364 100.0	117 32.1	167 45.9	20 5.5	44 12.1	16 4.4
小学校	192 100.0	76 39.6	84 43.8	5 2.6	16 8.3	11 5.7
中学校	172 100.0	41 23.8	83 48.3	15 8.7	28 16.3	5 2.9

地域別

都市部	182 100.0	55 30.2	87 47.8	14 7.7	22 12.1	4 2.2
地方部	182 100.0	62 34.1	80 44.0	6 3.3	22 12.1	12 6.6

3) 教職員

質問1 児童は、授業について、「楽しかった」「面白かった」など、興味を示していましたか。

	調査数	大半の児童が、興味を示した	興味を示した児童もいたが、興味を示さなかった児童もいた	大半の児童が、興味を示さなかった	分からない	無回答
全体	194 100.0	150 77.3	39 20.1	1 0.5	3 1.5	1 0.5
小学校	97 100.0	70 72.2	23 23.7	-	3 3.1	1 1.0
中学校	97 100.0	80 82.5	16 16.5	1 1.0	-	-

地域

都市部	101 100.0	79 78.2	20 19.8	1 1.0	1 1.0	-
地方部	93 100.0	71 76.3	19 20.4	-	2 2.2	1 1.1

専科教員

「音楽」の専科教員である	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-
「図画工作」の専科教員である	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	-	-
上記以外	155 100.0	122 78.7	30 19.4	-	3 1.9	-

担任

はい	53 100.0	41 77.4	11 20.8	-	1 1.9	-
いいえ	130 100.0	101 77.7	26 20.0	1 0.8	2 1.5	-

質問2 授業の際、児童から、いつもの授業のときとは異なる積極的な反応（楽しさや好奇心の表現など）が感じられましたか。

	調査数	れた大半の児童から、感じら	童し感じられた児童も感じた児童も感じた児童	れな大半の児童から、感じら	分らない	無回答
全体	194 100.0	111 57.2	79 40.7	- -	3 1.5	1 0.5
小学校	97 100.0	54 55.7	39 40.2	- -	3 3.1	1 1.0
中学校	97 100.0	57 58.8	40 41.2	- -	- -	- -

地域

都市部	101 100.0	52 51.5	47 46.5	- -	2 2.0	- -
地方部	93 100.0	59 63.4	32 34.4	- -	1 1.1	1 1.1

専科教員

「音楽」の専科教員である	6 100.0	2 33.3	4 66.7	- -	- -	- -
「図画工作」の専科教員である	6 100.0	4 66.7	2 33.3	- -	- -	- -
上記以外	155 100.0	90 58.1	62 40.0	- -	3 1.9	- -

担任

はい	53 100.0	26 49.1	27 50.9	- -	- -	- -
いいえ	130 100.0	79 60.8	48 36.9	- -	3 2.3	- -

質問3 授業の事前のワークショップ（説明会）の内容は、どのくらい理解できていた様子ですか。

	調査数	いた大半の児童が、理解して	童し理解していた児童も理解していた児童も理解していた児童	て大半の児童が、理解でき	分らない	無回答
全体	194 100.0	62 32.0	58 29.9	10 5.2	38 19.6	26 13.4
小学校	97 100.0	27 27.8	22 22.7	5 5.2	22 22.7	21 21.6
中学校	97 100.0	35 36.1	36 37.1	5 5.2	16 16.5	5 5.2

地域

都市部	101 100.0	27 26.7	34 33.7	9 8.9	19 18.8	12 11.9
地方部	93 100.0	35 37.6	24 25.8	1 1.1	19 20.4	14 15.1

専科教員

「音楽」の専科教員である	6 100.0	3 50.0	3 50.0	- -	- -	- -
「図画工作」の専科教員である	6 100.0	3 50.0	1 16.7	- -	1 16.7	1 16.7
上記以外	155 100.0	47 30.3	47 30.3	8 5.2	34 21.9	19 12.3

担任

はい	53 100.0	20 37.7	15 28.3	4 7.5	9 17.0	5 9.4
いいえ	130 100.0	41 31.5	37 28.5	6 4.6	29 22.3	17 13.1

質問4 ワークショップの開催は、その後の体験授業に対する、児童の興味や関心の高まりに役立っていましたか。

	調査数	大 半 の 児 童 に と つ て	も し 、 立 っ た 役 立 て た 児 童 も い た	大 半 の 児 童 に と つ て	分 か ら な い	無 回 答
全 体	194 100.0	70 36.1	53 27.3	11 5.7	34 17.5	26 13.4
小学校	97 100.0	28 28.9	21 21.6	5 5.2	22 22.7	21 21.6
中学校	97 100.0	42 43.3	32 33.0	6 6.2	12 12.4	5 5.2

地域

都市部	101 100.0	36 35.6	27 26.7	8 7.9	17 16.8	13 12.9
地方部	93 100.0	34 36.6	26 28.0	3 3.2	17 18.3	13 14.0

専科教員

「音楽」の専科教員である	6 100.0	4 66.7	2 33.3	- -	- -	- -
「図画工作」の専科教員である	6 100.0	2 33.3	2 33.3	- -	1 16.7	1 16.7
上記以外	155 100.0	53 34.2	44 28.4	10 6.5	29 18.7	19 12.3

担任

はい	53 100.0	20 37.7	15 28.3	5 9.4	8 15.1	5 9.4
いいえ	130 100.0	45 34.6	35 26.9	6 4.6	26 20.0	18 13.8

質問5 授業のあと、児童から、「もう一度、授業を受けたい」といった反応がありましたか。

	調査数	大 半 の 児 童 か ら 、 反 応 が	も し 、 反 応 あ つ た 児 童 も い た	大 半 の 児 童 か ら 、 反 応 は	分 か ら な い	無 回 答
全 体	194 100.0	71 36.6	83 42.8	16 8.2	20 10.3	4 2.1
小学校	97 100.0	38 39.2	37 38.1	7 7.2	13 13.4	2 2.1
中学校	97 100.0	33 34.0	46 47.4	9 9.3	7 7.2	2 2.1

地域

都市部	101 100.0	38 37.6	43 42.6	10 9.9	9 8.9	1 1.0
地方部	93 100.0	33 35.5	40 43.0	6 6.5	11 11.8	3 3.2

専科教員

「音楽」の専科教員である	6 100.0	2 33.3	4 66.7	- -	- -	- -
「図画工作」の専科教員である	6 100.0	- -	4 66.7	- -	2 33.3	- -
上記以外	155 100.0	60 38.7	62 40.0	14 9.0	16 10.3	3 1.9

担任

はい	53 100.0	18 34.0	27 50.9	6 11.3	2 3.8	- -
いいえ	130 100.0	46 35.4	53 40.8	10 7.7	18 13.8	3 2.3

質問6 もう一度、授業を受けさせたいと思いますか。また、そう思う理由をお聞かせ下さい。

	調査数	ぜひ受けさせたい	せよたいんすがあれば受けさせたいと思わない	無回答
全体	194 100.0	126 64.9	64 33.0	2 1.0
小学校	97 100.0	58 59.8	36 37.1	2 2.1
中学校	97 100.0	68 70.1	28 28.9	1 1.0

地域

都市部	101 100.0	69 68.3	30 29.7	1 1.0	1 1.0
地方部	93 100.0	57 61.3	34 36.6	1 1.1	1 1.1

専科教員

「音楽」の専科教員である	6 100.0	6 100.0	- -	- -	- -
「図画工作」の専科教員である	6 100.0	5 83.3	1 16.7	- -	- -
上記以外	155 100.0	99 63.9	55 35.5	1 0.6	- -

担任

はい	53 100.0	34 64.2	19 35.8	- -	- -
いいえ	130 100.0	84 64.6	44 33.8	2 1.5	- -

質問7 授業を体験したことで、学校におけるイベント（文化祭や学芸会、音楽会、運動会など）等に対する児童の積極性について、変化は見られましたか。

	調査数	に大変半 化のし 児童が、 よい方 向	に一 変部 化のし 児童が、 よい方 向	でと前 あると 大変わ 半わら ない 児童が （も積 極的も ）	でと前 は大 変わら ない 児童が （も積 極的も ）	その他	無回答
全体	194 100.0	16 8.2	51 26.3	75 38.7	15 7.7	36 18.6	1 0.5
小学校	97 100.0	11 11.3	25 25.8	43 44.3	7 7.2	10 10.3	1 1.0
中学校	97 100.0	5 5.2	26 26.8	32 33.0	8 8.2	26 26.8	- -

地域

都市部	101 100.0	8 7.9	28 27.7	40 39.6	9 8.9	16 15.8	- -
地方部	93 100.0	8 8.6	23 24.7	35 37.6	6 6.5	20 21.5	1 1.1

専科教員

「音楽」の専科教員である	6 100.0	- -	2 33.3	2 33.3	- -	2 33.3	- -
「図画工作」の専科教員である	6 100.0	- -	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	- -
上記以外	155 100.0	10 6.5	42 27.1	59 38.1	13 8.4	31 20.0	- -

担任

はい	53 100.0	2 3.8	14 26.4	24 45.3	4 7.5	9 17.0	- -
いいえ	130 100.0	11 8.5	34 26.2	49 37.7	10 7.7	26 20.0	- -

質問 8 授業を体験したことで、児童は、学校生活の中で、自分の考えていることを自分から進んで話すようになりましたか。

	調査数	よ大半の児童が、よく話す	よ一部の児童が、よく話す	すと前とほとんど変わらない児童がほとんど話す	すと前とほとんど変わらない児童がほとんど話す	その他	無回答
全体	194 100.0	4 2.1	34 17.5	85 43.8	38 19.6	30 15.5	3 1.5
小学校	97 100.0	1 1.0	13 13.4	52 53.6	11 11.3	18 18.6	2 2.1
中学校	97 100.0	3 3.1	21 21.6	33 34.0	27 27.8	12 12.4	1 1.0

地域

都市部	101 100.0	4 4.0	19 18.8	43 42.6	17 16.8	17 16.8	1 1.0
地方部	93 100.0	- -	15 16.1	42 45.2	21 22.6	13 14.0	2 2.2

専科教員

「音楽」の専科教員である	6 100.0	- -	2 33.3	3 50.0	- -	1 16.7	- -
「図画工作」の専科教員である	6 100.0	- -	- -	4 66.7	2 33.3	- -	- -
上記以外	155 100.0	3 1.9	29 18.7	63 40.6	33 21.3	26 16.8	1 0.6

担任

はい	53 100.0	- -	7 13.2	27 50.9	13 24.5	6 11.3	- -
いいえ	130 100.0	2 1.5	25 19.2	54 41.5	25 19.2	22 16.9	2 1.5

質問 9 授業を体験したことで、児童は、学校生活の中で、他の人の考えや意見をよく聞くようになりましたか。

	調査数	聞大半の児童が、話をよく聞く	聞一部の児童が、話をよく聞く	くと前とほとんど変わらない児童がほとんどよも	くと前とほとんど変わらない児童がほとんどよも	その他	無回答
全体	194 100.0	4 2.1	41 21.1	82 42.3	39 20.1	24 12.4	4 2.1
小学校	97 100.0	1 1.0	20 20.6	56 57.7	7 7.2	11 11.3	2 2.1
中学校	97 100.0	3 3.1	21 21.6	26 26.8	32 33.0	13 13.4	2 2.1

地域

都市部	101 100.0	3 3.0	17 16.8	44 43.6	22 21.8	13 12.9	2 2.0
地方部	93 100.0	1 1.1	24 25.8	38 40.9	17 18.3	11 11.8	2 2.2

専科教員

「音楽」の専科教員である	6 100.0	- -	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7
「図画工作」の専科教員である	6 100.0	- -	- -	2 33.3	3 50.0	1 16.7	- -
上記以外	155 100.0	3 1.9	32 20.6	66 42.6	33 21.3	20 12.9	1 0.6

担任

はい	53 100.0	1 1.9	12 22.6	21 39.6	15 28.3	3 5.7	1 1.9
いいえ	130 100.0	2 1.5	26 20.0	58 44.6	23 17.7	19 14.6	2 1.5

質問 10 授業を体験したことで、児童は、「音楽」や「図画工作・美術」などの授業に対する積極性が高まりましたか。

【音楽の授業に対する興味】

	調査数	とても高まった	少し高まった	と前と変わらない(もともと積極的であった)	と前と変わらない(もともと積極的ではなかった)	味その他の教科について興味が高まった
全体	6 100.0	- -	5 83.3	1 16.7	- -	- -
小学校	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -
中学校	5 100.0	- -	4 80.0	1 20.0	- -	- -

地域

都市部	3 100.0	- -	3 100.0	- -	- -	- -
地方部	3 100.0	- -	2 66.7	1 33.3	- -	- -

専科教員

「音楽」の専科教員である	6 100.0	- -	5 83.3	1 16.7	- -	- -
「図画工作」の専科教員である	- -	- -	- -	- -	- -	- -
上記以外	- -	- -	- -	- -	- -	- -

担任

はい	3 100.0	- -	3 100.0	- -	- -	- -
いいえ	2 100.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -

【図画工作・美術の授業に対する興味】

	調査数	とても高まった	少し高まった	と前と変わらない(もともと積極的であった)	と前と変わらない(もともと積極的ではなかった)	味その他の教科について興味が高まった
全体	6 100.0	- -	- -	5 83.3	1 16.7	- -
小学校	- -	- -	- -	- -	- -	- -
中学校	6 100.0	- -	- -	5 83.3	1 16.7	- -

地域

都市部	3 100.0	- -	- -	3 100.0	- -	- -
地方部	3 100.0	- -	- -	2 66.7	1 33.3	- -

専科教員

「音楽」の専科教員である	- -	- -	- -	- -	- -	- -
「図画工作」の専科教員である	6 100.0	- -	- -	5 83.3	1 16.7	- -
上記以外	- -	- -	- -	- -	- -	- -

担任

はい	- -	- -	- -	- -	- -	- -
いいえ	6 100.0	- -	- -	5 83.3	1 16.7	- -

質問 1 1 授業を体験したことで、児童は、日本の伝統、文化や歴史に対する興味が高まった様子ですか。

	調査数	大 ま っ た の 様 子 で あ る 興 味 が 高	一 ま っ た の 様 子 で あ る 興 味 が 高	と 持 っ て い た 大 半 の 児 童 が 興 味 を も と も	と 前 と 変 わ ら な い 大 半 の 児 童 が 興 味 を も と も	と 持 っ て い な か つ た 大 半 の 児 童 が 興 味 を も と も	そ の 他	無 回 答
全 体	40 100.0	9 22.5	21 52.5	1 2.5	1 2.5	3 7.5	5 12.5	
小学校	16 100.0	4 25.0	8 50.0	1 6.3	1 6.3	2 12.5	-	
中学校	24 100.0	5 20.8	13 54.2	-	-	1 4.2	5 20.8	

地域

都市部	8 100.0	2 25.0	5 62.5	-	1 12.5	-	-
地方部	32 100.0	7 21.9	16 50.0	1 3.1	-	3 9.4	5 15.6

専科教員

「音楽」の専科教員である	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-
「図画工作」の専科教員である	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-
上記以外	31 100.0	6 19.4	16 51.6	1 3.2	1 3.2	2 6.5	5 16.1

担任

はい	18 100.0	3 16.7	9 50.0	1 5.6	1 5.6	2 11.1	2 11.1
いいえ	22 100.0	6 27.3	12 54.5	-	-	1 4.5	3 13.6

質問 1 2 授業は、児童の豊かな心や感性、創造性を育むきっかけになるとおもいますか。

	調査数	強 く そ う 思 う	ま あ ま あ そ う 思 う	そ う 思 わ な い	分 か ら な い	無 回 答
全 体	194 100.0	92 47.4	60 30.9	1 0.5	2 1.0	39 20.1
小学校	97 100.0	44 45.4	34 35.1	1 1.0	2 2.1	16 16.5
中学校	97 100.0	48 49.5	26 26.8	-	-	23 23.7

地域

都市部	101 100.0	50 49.5	27 26.7	-	1 1.0	23 22.8
地方部	93 100.0	42 45.2	33 35.5	1 1.1	1 1.1	16 17.2

専科教員

「音楽」の専科教員である	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-
「図画工作」の専科教員である	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-
上記以外	155 100.0	71 45.8	43 27.7	1 0.6	2 1.3	38 24.5

担任

はい	53 100.0	19 35.8	21 39.6	-	1 1.9	12 22.6
いいえ	130 100.0	69 53.1	34 26.2	1 0.8	1 0.8	25 19.2

4) 学校

質問 1 学校の授業における同様の取組の経験はありますか。

	調査数	今回初めて	2回目	3回目	4回目	5回以上
全体	15 100.0	1 6.7	2 13.3	8 53.3	2 13.3	2 13.3
小学校	8 100.0	- -	- -	5 62.5	2 25.0	1 12.5
中学校	7 100.0	1 14.3	2 28.6	3 42.9	- -	1 14.3

地域別

都市部	7 100.0	1 14.3	- -	3 42.9	2 28.6	1 14.3
地方部	8 100.0	- -	2 25.0	5 62.5	- -	1 12.5

質問 2 取り組まれた分野とその回数を教えてください。

合唱

	調査数	1回	2回	3回以上	無回答
全体	14 100.0	2 14.3	- -	- -	12 85.7
小学校	8 100.0	1 12.5	- -	- -	7 87.5
中学校	6 100.0	1 16.7	- -	- -	5 83.3

地域別

都市部	6 100.0	- -	- -	- -	6 100.0
地方部	8 100.0	2 25.0	- -	- -	6 75.0

オーケストラ

	調査数	1回	2回	3回以上	無回答
全体	14 100.0	4 28.6	- -	- -	10 71.4
小学校	8 100.0	3 37.5	- -	- -	5 62.5
中学校	6 100.0	1 16.7	- -	- -	5 83.3

地域別

都市部	6 100.0	1 16.7	- -	- -	5 83.3
地方部	8 100.0	3 37.5	- -	- -	5 62.5

邦楽

	調査数	1回	2回	3回以上	無回答
全体	14 100.0	1 7.1	-	1 7.1	12 85.7
小学校	8 100.0	-	-	-	8 100.0
中学校	6 100.0	1 16.7	-	1 16.7	4 66.7

地域別

都市部	6 100.0	1 16.7	-	-	5 83.3
地方部	8 100.0	-	-	1 12.5	7 87.5

オペラ

	調査数	1回	2回	3回以上	無回答
全体	14 100.0	-	-	-	14 100.0
小学校	8 100.0	-	-	-	8 100.0
中学校	6 100.0	-	-	-	6 100.0

地域別

都市部	6 100.0	-	-	-	6 100.0
地方部	8 100.0	-	-	-	8 100.0

現代劇、児童劇、ミュージカル

	調査数	1回	2回	3回以上	無回答
全体	14 100.0	5 35.7	3 21.4	2 14.3	4 28.6
小学校	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0
中学校	6 100.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	2 33.3

地域別

都市部	6 100.0	2 33.3	2 33.3	-	2 33.3
地方部	8 100.0	3 37.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0

歌舞伎、能楽、人形浄瑠璃

	調査数	1回	2回	3回以上	無回答
全体	14 100.0	2 14.3	- -	- -	12 85.7
小学校	8 100.0	- -	- -	- -	8 100.0
中学校	6 100.0	2 33.3	- -	- -	4 66.7

地域別

都市部	6 100.0	- -	- -	- -	6 100.0
地方部	8 100.0	2 25.0	- -	- -	6 75.0

洋舞

	調査数	1回	2回	3回以上	無回答
全体	14 100.0	2 14.3	- -	- -	12 85.7
小学校	8 100.0	1 12.5	- -	- -	7 87.5
中学校	6 100.0	1 16.7	- -	- -	5 83.3

地域別

都市部	6 100.0	2 33.3	- -	- -	4 66.7
地方部	8 100.0	- -	- -	- -	8 100.0

邦舞

	調査数	1回	2回	3回以上	無回答
全体	14 100.0	- -	- -	- -	14 100.0
小学校	8 100.0	- -	- -	- -	8 100.0
中学校	6 100.0	- -	- -	- -	6 100.0

地域別

都市部	6 100.0	- -	- -	- -	6 100.0
地方部	8 100.0	- -	- -	- -	8 100.0

その他

	調査数	1回	2回	3回以上	無回答
全体	14 100.0	5 35.7	4 28.6	- -	5 35.7
小学校	8 100.0	4 50.0	2 25.0	- -	2 25.0
中学校	6 100.0	1 16.7	2 33.3	- -	3 50.0

地域別

都市部	6 100.0	2 33.3	3 50.0	- -	1 16.7
地方部	8 100.0	3 37.5	1 12.5	- -	4 50.0

参考3. 主な自由回答

以下は、アンケート調査票の自由回答欄に記載のあったコメントから主な内容を抜粋したものである。回答内容をそのままではなく、編集した上で掲載している点に留意いただきたい。

【児童生徒】

小学生

●事業に対する感想、意見

- ・普通の授業と違って、次に何があるのかわくわくして楽しかった。
- ・最初は全然興味が無かったが、やってみると難しかったけど、楽しかった。
- ・あまり面白いとは思わなかったけど、下校途中には、友達と熱唱していた。
- ・今まで見たことが無かった。貴重な経験。
- ・いろいろな楽器の音が面白かった。多くの音が重なって一つのメロディーになっているのが面白かった。
- ・ワークショップでバレエをやってみて面白かった。
- ・オーケストラの演奏に感動した。
- ・日本の伝統に感動した。
- ・いつも歌っている校歌がとても素敵になってびっくりした。
- ・歌いながらの劇（オペラ）はすごい。
- ・役者の方々の頑張り、テクニックがすごい。
- ・言葉ではなく、動きで表現するのはすごいと思った。
- ・言葉の意味が難しかったが説明があってよかった。
- ・日本の文化の長い歴史に気づいた。
- ・自分も人形を動かしたかった。
- ・言葉の意味が難しい。
- ・興味が無い。
- ・合唱は興味が無い、演劇の方が面白い。
- ・ワークショップでの説明が長く、つまらなかった。
- ・子どもが知っている曲も演奏してほしかった。

●事業の体験をきっかけにした関心や行動の変化

- ・オーケストラの演奏や合唱を聴いてから音楽にすごく興味がわいた。
- ・人形劇を見たおかげで、音楽が好きになった。
- ・自分でも演奏をしていて、関心がさらに高まった。音楽がさらに好きになった。
- ・音楽の授業が前より好きになった。
- ・人形劇を見て、国語の本読みがとても楽しみになった。
- ・前よりも、楽器や演奏に興味を持つようになった。
- ・人形劇を見て図工に興味を持った。小道具に興味を持った。
- ・劇よりも、影絵の仕方や道具の作り方の方に興味を持った。
- ・自分でダンスをやっているが、バレエを見て、もっとダンスを頑張りたいと思った。
- ・合唱を聞いた後、何曲かひけるようになりたくなったので、家でオルガンの練習をしている。
- ・他の歴史を知りたくなった
- ・合唱を体験して、文化に興味を持った。文化芸術が音楽につながるということを知った。

- ・合唱を体験後、お母さんと「今度オペラを見に行こう」という会話をするようになった。
- ・みんなで一緒に歌いたいと思った。
- ・美術に関心があるが、バレエを見て、美術（色）のすごさを改めて感じた。

●その他

- ・いつもうるさい子が、演奏中静かにまじめに聞いていて驚いた。
- ・みんなで一緒に歌って盛り上がった。みんなと協力できて楽しかった。
- ・実際に人形劇を発表するときには、緊張したけど、うまく行ってよかった。自分で作ったものを劇に出すことができ面白かったし、うれしかった。
- ・劇団員が普段どういう練習をして大きな声が出るのか気になった。

中学生

●事業に対する感想、意見

- ・もっとつまらないと思っていたけど、意外に面白かった。
- ・初めて演劇鑑賞をしてドキドキした。
- ・とても感動した。いろんな人たちに教えたいと思った。
- ・以前とは違う演劇の感じ方を覚えた。演劇がいろいろなことを表現するものだと知った。
- ・水芸を鑑賞して、日本の文化を感じる事ができた。
- ・体験をするまでは、狂言がこんなに面白いものとは思わなかった。話の内容も聞いてみると、昔に聞いたことがあったりして、思い出しながら見ることもできた。
- ・ワークショップで説明を受けたり体験したことが、鑑賞でき、わかりやすかった。
- ・能楽に関する知識が増えた。能楽の言葉の意味を知ると面白かった。
- ・劇の裏側が面白かった。舞台のセッティングや照明のことがわかった。
- ・演劇をやってみて、はじめはこんなことできないと思っていたが、練習をやっていくうちに、できるようになり、恥ずかしさもどこかに飛んでいって、胸を張って、演劇ができた。
- ・ダンスと一緒にやらせてもらって、やる前は恥ずかしいと思って緊張していたが、やってみたら、楽しかった。
- ・役者の集中力はさすがだと思った。
- ・一人ひとりの劇に対する思いや役に真剣に取り組んでいる姿が伝わってきた。感情移入があって、迫力があって、怖さも感じたけど、劇に入り込んでいる自分がいた。
- ・演劇を見て、今まで感じたことのないような感動があった。伝えたいことが分かったような気がしてうれしかった。団員の思いが見た人を感動させているのだと思った。
- ・つまらなかったけど、日本の文化のことが分かった。
- ・つまらなかった。
- ・体験するのが少なく、あきた。
- ・見ていて何も感じなかった。
- ・言葉が分かりにくかった。

●事業の体験をきっかけにした関心や行動の変化

- ・もっとバレエのことを知りたくなった。
- ・水芸を自分もやってみたいと思った。
- ・水芸を見て美術に興味があった。
- ・水芸を見て、昔の楽器にちょっと興味を持った。

- ・今まで興味の無かった、音楽や踊りなどに、少しだけ興味を持つことができた。
- ・能楽を鑑賞して、演劇に少し興味を持つことができた。
- ・演劇を鑑賞して、演劇、美術、音楽への興味がすごく高まった。
- ・演劇に使われていた道具や楽器に興味を持った。
- ・役者の表現の仕方に興味を持った。
- ・他のテーマの能楽も見たくなった。
- ・機会があれば、将来劇をやってみたいと思った。
- ・機会があったらまた見たいし、テレビでも見ようと思った。

●その他

- ・バレエを鑑賞したが、裏の仕事がとても楽しそうだった。
- ・音楽には何か大きな力があると思った。
- ・どのくらい練習をして何年くらいたって水芸ができるようになったか教えてほしい。
- ・昔の人も能楽を見て楽しんでいると思うとうれしかった。

【保護者】

子どもの様子

●事業に対する反応

- ・前日は、「面倒くさい」と言っていたのに、帰ってきたら、コンサートの話を楽しそうにしてくれた。帰宅するなり「今日の演奏はすごかった。特にバイオリンの演奏はすごかった」と興奮気味に話をしてくれた。
- ・劇のストーリーを詳しく話をしてくれてとても感動した様子。
- ・合唱の鑑賞後に、詳細な感想を話してくれた。
- ・表情豊かに歌う姿が心に残っているようである。
- ・どうやって人形を動かすのか、感情を表現するのか興味深く見た様子。
- ・みんなで一つの音楽を作り出すことに少し心が動いたように感じた。
- ・自分のパートを専門に歌って、一つの音楽を生み出すプロのテクニックに感動した模様。
- ・エキストラに立候補したが、途中で、恥ずかしくなってやめようかなと言い出したが、本番前のワークショップで劇団の方々とおわせてもらって、頑張ってみようかと思ったようである。
- ・日本人としての誇りを感じたように思う。当日は、帰ってくるなり「かっこよかった」と興奮して話しをしてくれた。
- ・男子なので、バレエではなく、ミュージカルや狂言だと興味が少しはわくと思う。

●事業の体験をきっかけにした関心や行動の変化

- ・他の日本の伝統芸能にも関心が広がった。歴史に興味を持つようになった。
- ・自分でも演奏をしていて、感心がさらに高まった様子。
- ・運動一本やりで、楽器の演奏が得意でなかったのに、家で合奏の練習をするなど、態度に変化が見られた。スポーツだけでなく、音楽もいいかなというようになった。
- ・ピアノの練習時間が前より長くなり、歌もよく歌っている。歌を口ずさむようになった。
- ・音楽やオーケストラに対する興味や親しみが深まった。
- ・音楽にあまり積極的ではなかった子どもが、少し頑張ってみようかなという気持ちになったように見受けられる。

- ・自宅でも音楽・ラジオを聴いたり、音楽番組を見るようになった。
- ・テレビで能楽が放送されているときなどは熱心に見るようになった。
- ・指揮者にも興味を持つようになった。
- ・鑑賞後数日は、指揮者のまねをしたり、歌ったりしていた。
- ・元々美術館めぐり、遺跡めぐり、音楽にも、興味を持っていたが、合唱の体験で、知識が増え、新しい興味も芽生えたように見える。
- ・オペラという言葉によく反応する。違うオペラを見てみたいという気持ちもあるよう。
- ・テレビでオペラの話になると、自分の知っていることを話してくれる。
- ・急な著しい変化は見られないが、随分経ってから、ポツリポツリと話したり、他の演劇等のCMをテレビで見ると関心を示したりと、多かれ少なかれ視野が広がっていると思う。
- ・歴史にとっても興味を持つようになり、親に対していろいろなことを教えられることが多くなった。両親とのコミュニケーションも増えている。
- ・美術の授業の話は、ニコニコしながら面白いというれしそうに話をするようになった。
- ・児童演劇鑑賞後、影絵など、人間による工夫や創作で生まれた文化をテレビで見ると興味を示すようになった。
- ・芸術に対する恥ずかしさ・偏見が少しなくなったと思う。
- ・日本文化に興味を持つようになり、伝統的な地域の行事にも熱心になった。
- ・歴史が元々好きだったが、演劇鑑賞後、音楽の歴史や狂言など好きな歴史の幅が広がった様子。
- ・合唱を聞いて、文章力が多少感化されたように感じる。
- ・歌の意味を考えるようになった。
- ・物事に対して、興味を持って一所懸命に吸収しようとする気持ちが芽生えてきたように感じる。
- ・「興味が無いこと」と「知らないこと」の違いを感じ取った様子。
- ・いろいろな角度でものを見たり考えたりすることができるようになったと思う。
- ・言葉遣いや物事を考えて行動するようになった。
- ・会話の表現などで少しやわらかさが出てきたような気がする。
- ・あまり変化なし
- ・内容が少し幼稚すぎで退屈だったよう。

事業に対する感想、意見

●内容について

- ・日本史や世界史の背景と結びつくような歌舞伎、オーケストラなどにも期待する。
- ・歌舞伎や能などの日本文化にも触れてもらいたい。今回は合唱だったが、演劇（能、狂言）の鑑賞機会を要望する。バレエ、演劇、オーケストラなど多くの体験をさせてやりたい。
- ・大人でも理解が難しいので、1回ではなく、何回も続けていけば理解が深まるのではないかと。日ごろの授業でも少しずつ取り組んでいくなど。
- ・普段の音楽でも、伝統芸能を教えてほしい。
- ・大勢でなくとも、「ようこそ先輩」のように一人の方にきていただいて説明をしてもらっただけでも十分。
- ・子どもの心の感性や創造力を豊かにする体験事業を増やしてもらいたい。
- ・日本の伝統芸能の成り立ちや舞台裏の話に興味を持てるように解説して見せてもらえるとよい。
- ・保護者の参加しにくい平日開催で残念。親も体験できれば、親子間での会話が増えるのではな

いか。

- ・可能ならば、学校の体育館ではなく、ホールや劇場だとなおよい。

●効果・評価について

- ・今は小さな変化でも、成長するにつれて関心が高まるかもしれない。すぐに効果が出なくとも、今後の人生に役立つ。
- ・質問のような変化はすぐには見られるものではないが、何らかの影響はあるので、事業は続けてもらいたい。
- ・1回や2回で目に見える変化を期待するのは難しく、体験を重ねて、少しでも心に残っていくものである。短期で結果を期待しないでほしい。
- ・少数かもしれないが、体験をきっかけに、何かを始める子どももいると思う。
- ・何かの結果を求めて、子どもに体験をさせるのは、芸術的ではない。中学生にとっては、いろいろなことを経験し、感じて、その感動を心の中にためていく時期で、文化・芸術ではなく、照明に興味を持つということも一つの経験で、それはそれで有意義。
- ・自分の子どもについては特に興味を持たなかったようであるが、記憶は後々までも残り、大人になってからも何かしらの影響を受けることもあるので、決して簡単に興味のあるなしだけで判断できることではないと思う。
- ・普段体験できないことを学校で体験できることはありがたい。本物の体験は素晴らしい。
- ・本物に触れることで、感受性が豊かになると期待。
- ・学芸会や音楽会などの行事に役立つ。
- ・体験をきっかけに、子ども自身が詳しく調べたりでき、良い勉強になる。
- ・切れる子どもが多いといわれる中、このような情操教育は不可欠。
- ・ゲームでのバーチャルな世界での刺激が多い中、本物の人間が作ったり、動いたりしたものによる刺激を意識的にとるようにしないと、人間らしさ、日本人らしさが少なくなる。
- ・心が伝わるもの、息遣いが感じられるもの、温かみを感じるものにどんどん係ってほしいと思う。そのなかで、自分がどういう人間なのか、どう生きるべきなのかを模索できる。
- ・自分も一緒に鑑賞し、また、本物の劇場で見せてあげたいと思うようになった。
- ・親自身も文化・芸術に関心を持たないと、子どもの感情を豊かにすることはできないと反省した。
- ・地理的に、本物に触れることが少ないので、1年に一度ぐらい体験を続けてもらいたい。
- ・家庭では親の興味や本人の興味によって選択の幅が狭くなるので、学校では広くいろいろな本物に触れさせてもらえるとうれしい。
- ・何事も食わず嫌いにならないように学校行事の中で体験させてもらうことはとても意味がある。
- ・自分の興味が無いことには足を運ばないので、学校で体験できる機会が増えれば感受性が育つ。
- ・授業時数が少ない中、体験授業は必要ない。

【教職員】

子どもの様子

●事業に対する反応

- ・芸術を間近で見ることで、子どもたちに新たな発見や驚きがあった様子。
- ・小学校1年生なので、楽器の大きさ、数の多さ、識者に合わせたの演奏に驚いていた。

- ・小学校1年生には難しいと予想していたが、能の美しさ、面白さを心で感じていたようである。
- ・感想に、様々な視点で自分の感じ取ったことが記されていた。
- ・普段は、集中力にかけられる場面が見られるが、とても集中して聞いていた。
- ・特別支援学級の児童の場合すぐの変化は難しいが、音に対して「すごい」という反応があった。
- ・アルトやソプラノ、テノールなどの言葉を知って、「難しいけどうれしい」という気持ちを持ったよう。
- ・演奏のときに子ども同士で話しをしていて、興味を持った様子が見られた。
- ・発声や姿勢に興味を持ってまねをしようとする児童が見られた。
- ・表現することのパワーを強く感じていると思った。
- ・スピーディーでハイテク化したものだけが面白いのではなく、人が成す、伝統芸能にも面白さがあることを実感していた。
- ・テレビで見ているマジックと似ているようで違う手妻に接することによって、日本の伝統的な立居振舞の上に完成されている芸に対して多に感じる場所があった様子。
- ・劇のストーリーにも深く考えさせられた生徒が多く良かった。
- ・道徳性のある内容の演劇だったので、生徒の心が揺り動かされ、考える場ができた。
- ・ストーリーだけでなく、演技や音響、照明などについて感動した生徒も多かった。
- ・バックステージツアーで、舞台裏の見学をさせてもらったことへの興味も高かった。
- ・事前のワークショップを受けてから、本番を楽しみにしている生徒が多く、国語の資料集などで関連ページを開いて内容を探ってみたり、両親・祖父母から情報を得ようとするなど、強い関心を示していた。
- ・本番も、本人たちが思っていた以上に面白かったようであった。想像以上の面白さに驚き、目の輝きが見る見る変わっていくのが良く分かった。
- ・とても感動していて、翌日の生活ノートにはその感想が多く書かれていた。
- ・現代っ子にもかかわらず、騒がしい音楽より古典的な音色にひかれる生徒が多くいた。
- ・子どもたちの学習態度が、しっかり聴くことができていなかった。反応も鈍かった。

●事業の体験をきっかけにした関心や行動の変化

- ・伝統文化に関心を深めた子どもが多い。
- ・鑑賞の際に意識が高くなった子どもが多く見られた。
- ・合唱に対する姿勢が前向きになった。
- ・声楽家の仕事について考える子もいた。
- ・音楽の授業で、楽器の名前が多く出るようになった。
- ・授業での音楽鑑賞が熱心・積極的になった。
- ・国語の古典に興味を持ったり、知識になった。
- ・授業で、和楽器が教科書に掲載されているのを見て、鑑賞会の話が出て盛り上がる。生で鑑賞して得た感動は大変大きい。
- ・歴史でも室町文化の学習として出てきたこともあり、能楽の雰囲気味わうことができ、ますます興味、関心が高まった様子。
- ・歴史の授業で、これまでにない良い反応がかえってきた。
- ・伝統芸能を見ることで、歴史の授業に興味を持つことができている。
- ・それまでの道徳の授業などで考えさせた日本固有の文化の継承をさらに意識するようになった。

- ・教科書には無い文化に興味を持ったように見える。
- ・体験がすぐに変化には行かないように思うが、大半の子どもが興味を持ち、初めて目にする能楽の世界に引き込まれていった様子であり、体験を繰り返すことによって、少しずつ変化が生まれるのではないかと思う。
- ・劇の発表会の練習に取り組んでいるところだったので、体験後は、声の大きさをさらに意識するようになった。
- ・文化祭での学級の演劇や合唱コンクールが例年に無く盛り上がった。
- ・クラス全員参加させてもらったので、学級に一体感が生まれた。
- ・最初はあまり興味を示していなかった子どもが、前で作ってみる役に立候補をすればよかったなど積極的な面が見られるようになった。
- ・数名だが、未知の分野のことを知りたがる生徒が現れた。
- ・後世に、日本の文化を伝えようとする気持ちの芽生えが見られた。
- ・劇の本を読んだことのある生徒がいて、あまり話しをすることが好きではない生徒であったが、この演劇についてはとても喜んで話をしていて。
- ・普段あまり話さない生徒が、あの演劇は感動したよと、自ら話しかけてきてくれた。
- ・心の落ち着きが出てきた。
- ・劇団員の情熱や職業人としてのプロ意識に触れ、生き方やキャリアビジョンの形成の面でも響くものがあつたと思われる。
- ・「とてもまねできない」「やっぱりプロってすごい」などの意見があつた。進路学習の中で自分の生き方について考えさせているが、今後の生き方、今しなければならぬ努力のあり方についてよい影響を与えたと思う。
- ・表現することの素晴らしさを学んだ。
- ・こうあるべきだという押し付けは、今の子どもにとって反発を招くだけだが、演劇を見ながら、一人ひとりが自分の心を静かに見つめ、生き方を問うことができ、素晴らしい体験になった。
- ・本物の体験はとても有意義であるが、自由に発想する、創造するというのは、大人が考えている以上に子どもにとっては難しいようである。今の教育現場では、子どもが自由にとらえるという発想が難しく、「～であってほしい」「～であるべきだ」ということを教える段階であるし、子どもたちもそれを待ってしまっている。
- ・はっきりとした変化は無い。

事業に対する感想、意見

●内容について

- ・参加型の体験事業は、出演した生徒自身の自信にもつながるし、保護者の参加も増えてよかった。また、周囲の生徒も、すーっと劇の中に入っていった。
- ・家庭で経験できないことを体験できるのは良い。
- ・日本の伝統文化を体験できる数少ない機会である。
- ・バックステージツアーはとてもよかった。プロの仕掛けにふれられた体験は大きい。
- ・校歌の四部合唱は素晴らしかった。
- ・事前の打合せは大変だが、得るものは大きい。
- ・他の文化・芸術に触れる機会もほしい。
- ・ワークショップが限られたクラスだったので残念。

- ・音そのものが苦手な子どもにとっては、やや苦痛な様子もあった。
- ・低学年には話が難しいところもあった。
- ・セリフが中学生にはやや難しかったかもしれない。
- ・高学年向けの内容もあると良い。
- ・もっとたくさん歌えると、子どもも楽しんでいられる。
- ・舞台と観客の一体感がほしかった。
- ・今回は1月末だったが、秋に演劇鑑賞できるとよい。時期的にちょっと寒い。
- ・手続きの簡素化と機会の増加をお願いしたい。アンケートを含めて事前事後の書類が多すぎる。

●効果・評価について

- ・本物体験で、生涯にわたる文化的生活が豊かになる。豊かな心を育む体験をできるだけ多くの子どもたちにさせてあげたい。
- ・本物の世界に触れることによって、中には、その世界に足を踏み入れようと思う生徒もいるはずである。
- ・大勢で共通の体験をすることで共感できることが大事。
- ・一部の学校だけではもったいないくらい有意義な体験。
- ・子どもの感性を引き出せるし、芸術に対しての意欲も高まり、その子の個性や才能の発揮につながる。
- ・すぐに、授業に変化が見られるものではないと思うが、生徒の感性を揺さぶるものである。
- ・生徒に見受けられる変化がどんなに小さなものでも鑑賞したことの意義はある。
- ・興味を持っている生徒にとっては、本物の体験は大きなプラスになるが、全員を大きく変える力になるということにあまり期待しない方がよい。
- ・世界に出て行く中で、自国の文化を知るとはとても重要である。

●その他

- ・事前にダンスの練習を積極的に参加する生徒がいたことは素晴らしいし、いろいろな機会を作り、表現していく場が必要だと感じた。
- ・踊っている生徒たちの躍動感と目の輝きに、いろんな表現をする場の設定の大切さを感じた。
- ・本物の芸術に触れることは大切だが、日常生活から子どもたちの感性は磨かれると思うので、我々大人もしっかり反省したい。
- ・担任が一番興奮していた。担任もはじめて見て感動した。
- ・アンケートはもっと簡単な方がよい。
- ・アンケートの時期も、鑑賞後すぐの方がよい。